

## PanelView Plus 7 Performance ターミナル

Cat.No. 2711P-T7C22D9P(-B), 2711P-T7C22A9P(-B), 2711P-B7C22D9P(-B), 2711P-B7C22A9P(-B), 2711P-T9W22D9P(-B), 2711P-T9W22A9P(-B), 2711P-T10C22D9P(-B), 2711P-T10C22A9P(-B), 2711P-B10C22D9P(-B), 2711P-B10C22A9P(-B), 2711P-T12W22D9P(-B), 2711P-T12W22A9P(-B), 2711P-T15C22D9P(-B), 2711P-T15C22A9P(-B), 2711P-B15C22D9P(-B), 2711P-B15C22A9P(-B), 2711P-T19C22D9P(-B), 2711P-T19C22A9P(-B)



## お客様へのご注意

本装置の設置、構成および操作について、本マニュアルおよび参考資料に記載された資料に目を通してから、本製品の設置、構成、操作、メンテナンスを行なってください。ユーザは、適用されるすべての条例、法律、規格要件に加えて、設置、配線指示に熟知している必要があります。

設置、調整、供用開始、使用、組立、分解、メンテナンスを含めた作業は、適切な実施基準に従って適切な訓練を受けた作業員しか実施しないでください。

本装置を製造メーカーの指定した方法以外で使用した場合、装置の保護機能が低下する可能性があります。

Rockwell Automation, Inc. は、いかなる場合も、本機器の使用または適用により発生した間接的または派生的な損害について一切の責任を負いません。

本書で使用した図表やプログラム例は内容を理解しやすくするためのものであり、その結果としての動作を保証するものではありません。個々の用途については数値や条件が変わることが多いため、当社では図表やプログラム例に基づいて実際に使用した場合の結果については責任を負いません。

本書に記載されている情報、回路、機器、装置、ソフトウェアの利用に関して特許上の問題が発生しても、当社は一切責任を負いません。製品改良のため、仕様などを予告なく変更することがあります。

Rockwell Automation, Inc. の書面による許可なく本書の全部または一部を複製することは禁じられています。

本書を通じて、特定の状況下で起こりうる人体または装置の損傷に対する警告および注意を示します。



**警告：**人身傷害または死亡、物的損害、または経済的損失の原因となる可能性がある、危険な環境での爆発を引き起こす可能性のある操作や状況に関する情報を示します。



**注意：**人身傷害または死亡、物的損害、または経済的損失の原因となる可能性がある操作や状況に関する情報を示します。危険を示し、危険を防止し、結果を認識する助けとなるよう注意を促します。

### 重要

製品を正しく使用および理解するために特に重要な事項を示します。

装置上、または装置内にあるラベルは、特別な注意事項に関するものです。



**感電の危険：**危険な電圧が発生する恐れがあることを警告するために、ドライブやモータなどの機器または機器の内部にラベルを貼っています。



**やけどの危険：**表面が危険な温度に達する恐れがあることを警告するために、ドライブやモータなどの機器または機器の内部にラベルを貼っています。



**アーク閃光の危険：**モータ・コントロール・センタなどの装置上、または装置内にあるラベルは、閃光アークなどが発生する可能性があることを警告します。アーク閃光は重傷または死亡にいたる恐れがあります。適切な保護具 (PPE) を装着してください。作業の安全と保護具 (PPE) に必要な規制要件を順守してください。

<b>はじめに</b>	参考資料.....	7
	パッケージの内容.....	7
	製品のリリースノート.....	8
<b>概要</b>	<b>第 1 章</b>	
	PanelView Plus 7 Performance ターミナルについて.....	9
	ハードウェアの機能.....	10
	オペレータコントロール.....	11
	タッチジェスチャ.....	12
	ソフトウェアのサポート.....	12
	Windows CE オペレーティングシステム.....	13
	オープンシステムとクローズドシステム.....	14
	デスクトップアクセス.....	14
	起動オプション.....	14
	EtherNet/IP 通信.....	14
	標準的な構成.....	15
	カタログ番号の構成.....	15
	製品の選択.....	15
	アクセサリ.....	16
	イーサネットケーブル.....	16
	<b>第 2 章</b>	
<b>PanelView Plus 7 Performance</b>	危険な領域.....	19
<b>ターミナルの取付け</b>	USB 周辺機器に必要な回路ポートパラメータ.....	19
	取付けに関する注意事項.....	21
	取付け間隔.....	21
	パネルに関するガイドライン.....	22
	パネルカットアウト寸法.....	22
	パネル取付けの準備.....	22
	ターミナルをパネルに取付け.....	26
	電源端子台の取り外しと交換.....	29
	DC 電源への接続.....	30
	AC 電源への接続.....	31
	ネットワークの接続.....	32
	イーサネットポート.....	32
	デバイス・レベル・リング (DLR) ネットワークトポロジ.....	34
	リニア・ネットワーク・トポロジ.....	35
	スター・ネットワーク・トポロジ.....	36
	初回起動時.....	36
	ターミナルのリセット.....	37
	<b>第 3 章</b>	
<b>ターミナル設定の構成</b>	FactoryTalk View ME Station.....	39
	ターミナル設定.....	41
	ソフトキーボード.....	42
	アプリケーションのロードと実行.....	43

デスクトップアクセス .....	44
デスクトップへのアクセスの有効.....	44
デスクトップへのアクセスの無効.....	45
デスクトップのパスワードの設定.....	46
デスクトップのパスワードの再設定 .....	47
起動オプションの構成.....	48
起動時の FactoryTalk View ME Station の無効 .....	48
起動時の構成モードの実行.....	49
起動時のロード済みアプリケーションの実行 .....	50
コントローラアドレスの構成.....	51
イーサネット設定の構成.....	51
ターミナルのイーサネットアドレスの設定 .....	52
イーサネットリンク速度の設定 .....	53
ネーム・サーバ・アドレスの定義.....	54
イーサネットポートの構成.....	54
ネットワーク診断データの表示 .....	55
ターミナルのデバイス名の変更.....	56
ターミナルでのファイルのコピー .....	56
ターミナルからのファイルの削除 .....	58
ログファイルの削除 .....	58
ディスプレイ設定.....	59
ディスプレイの輝度の調節.....	59
スクリーンセーバの構成.....	59
画面上のカーソルの無効.....	60
入力機器の設定 .....	60
キーボードまたはキーパッド設定の構成.....	60
タッチスクリーンのキャリブレーション.....	61
タッチスクリーンのダブルタップの感度の設定.....	62
文字列入力用のポップアップの変更 .....	62
印刷オプションの構成.....	63
診断の構成.....	65
アプリケーションファイルの整合性チェック .....	66
システム・イベント・ログの表示とクリア .....	67
アラームディスプレイの有効/無効 .....	68
システム情報の表示 .....	68
ターミナル情報の表示 .....	68
FactoryTalk View ME Station 情報 .....	70
時刻と日付の設定.....	71
ターミナルのタイムゾーンの変更.....	71
ターミナルの現在の日付の変更 .....	72
ターミナルの現在の時刻の変更 .....	72
地域の設定.....	73
小数点記号の変更.....	73
言語の時刻形式の変更 .....	74
言語の短い日付形式の変更.....	75
言語の長い日付形式の変更.....	75



## Windows オペレーティング システム

### 第 4 章

オペレーティングシステムの機能	77
アプリケーションのサポート	78
スクリプトのサポート	78
ネットワークのサポート	78
サーバのサポート	79
拡張機能	79
Windows Explorer	80
タスクバー	80
ソフト入力パネル	80
Windows のコントロールパネル	81
バックアップおよび復元	82
バックアップの実行	82
バックアップイメージの復元	84
Display プロパティ	85
デスクトップの背景	85
デスクトップの外観	86
バックライトの輝度	86
スクリーンセーバ	86
カーソル	87
画面の回転	87
ハードウェアモニタ	88
プロセス	88
システム・イベント・ログ	88
モニタ	89
ロゴマネージャ	90
ユーザアカウント	92
サービス	93
ネットワークサーバ構成	94
VNCサーバ構成	94
Webサーバ構成	101
FTPサーバ構成	102
ファイルサーバ	106
KEP Server 構成	107
システム情報	107
全般情報	107
スタートアップオプション	108
デバイス名	111
タッチプロパティ	111
キャリブレーション	111
ダブルタップ	111
PDF リーダ	112
コマンド・プロンプト・パラメータ	113

<b>コンポーネントの 取付けおよび交換</b>	<b>第 5 章</b>	
	USBポートへの接続 .....	116
	USBケーブル .....	116
	USBプリンタのインストール .....	117
	プラグ & プレイインストール .....	117
	プリンタの手動インストール .....	119
	SDカードの挿入 .....	119
	スピーカの接続 .....	121
	バッテリーの交換 .....	122
	保護オーバーレイの取付け .....	124
	オーバーレイの清掃 .....	125
	オーバーレイの除去 .....	125
<b>ファームウェアの アップデート</b>	<b>第 6 章</b>	
	ターミナルのファームウェア .....	127
	ファームウェアファイルのダウンロード .....	128
	ファームウェア・アップグレード・ウィザード .....	129
	記憶装置からのターミナルファームウェアのアップグレード ...	129
	ファームウェア・アップデート・カードの作成 .....	129
	ファームウェア・アップデート・カードを使用する	
	ターミナルファームウェアのアップデート .....	132
	ネットワークを介するターミナルファームウェアの アップデート .....	133
<b>トラブル シューティング</b>	<b>第 7 章</b>	
	システム情報の表示 .....	137
	ステータスインジケータ .....	138
	ネットワークのステータス情報の表示 .....	139
	ターミナルが起動しない .....	140
	ターミナルの断続的な再起動 .....	140
	タッチスクリーンに関する問題 .....	141
	ディスプレイに関する問題 .....	141
	イーサネットに関する問題 .....	142
	パフォーマンスが遅い .....	142
	化学物質に対する耐性 .....	143
	ディスプレイの清掃 .....	143
	塗料およびグリースの拭き取り .....	143
	機器の水洗い .....	144
	ターミナルの発送 .....	144
	メンテナンスモードでの操作 .....	144
<b>ターミナルの 常駐フォント</b>	<b>付録 A</b>	
	TrueType フォント .....	147
<b>索引</b>	.....	149

本マニュアルでは、PanelView™ Plus 7 Performance ターミナルの取付け、構成、操作、およびトラブルシューティング方法について解説します。本マニュアルには、ターミナル上で動作するアプリケーションまたはコントローラで動作するラダーロジックの作成手順は記載していません。

実行する必要があるその他のタスクは以下の通りです。

- FactoryTalk® View Machine Edition (ME) ソフトウェアのバージョン 8.x 以降を使用して、ターミナル用のヒューマン・マシン・インターフェイス (HMI) アプリケーションを作成する。
- Studio 5000 Logix Designer® アプリケーションを使用してコントローラのラダーロジックを作成する。

## 参考資料

以下の資料には、当社の関連製品に関する追加情報が記載されています。

マニュアル名	説明
『PanelView Plus 7 Performance Specifications』 (Pub. No. <a href="#">2711P-TD009</a> )	PanelView Plus 7 Performance ターミナルの高性能モデルの技術仕様、環境条件、および認可について説明する。
『EtherNet/IP 内蔵スイッチテクノロジーアプリケーションガイド』 (Pub. No. <a href="#">ENET-AP005</a> )	スイッチ・テクノロジーが内蔵されているロックウェル・オートメーションのEtherNet/IPデバイスを使用したリニアおよびデバイス・レベル・リング (DLR) ネットワークの設置、構成、および保守方法について説明する。
『配線および接地に関するガイドライン』 (Pub. No. <a href="#">1770-4.1</a> )	ロックウェル・オートメーションの産業用システムを取付ける際の一般的なガイドライン。
『Guidelines for Handling Lithium Batteries Technical Data』 (Pub. No. <a href="#">AG-5.4</a> )	リチウムバッテリーの保管、取り扱い、取付け、および廃棄に関するガイドライン。
製品認証についての Web サイト : <a href="http://www.ab.com">http://www.ab.com</a>	適合宣言書 (DoC)、認可、および他の認可の詳細

これらの資料は <http://www.rockwellautomation.com/literature/> で閲覧したり、またはダウンロードすることができます。技術資料をハードコピーでお求めの場合は、当社または当社代理店までお問い合わせください。

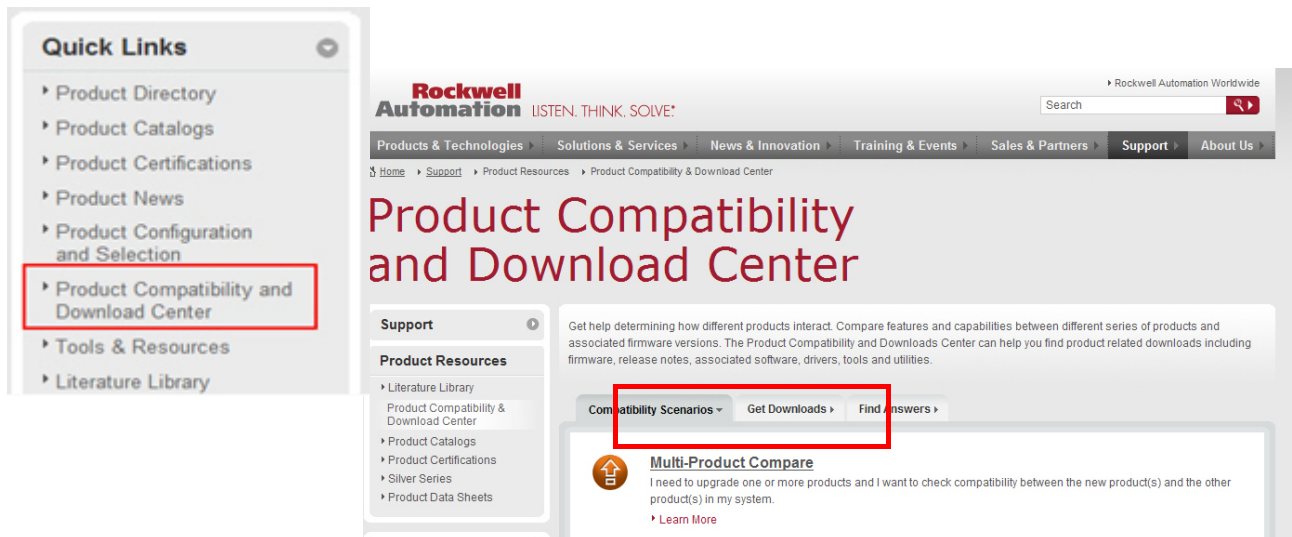
## パッケージの内容

この製品には以下のものが付属しています。

- FactoryTalk View ME Station ランタイムソフトウェアがインストールされアクティブバージョンされている PanelView Plus 7 Performance ターミナル
- パネル取付け用のレバー
- 脱着式電源端子台
- 製品情報
- カットアウト用テンプレート

**製品のリリースノート** 製品のリリースノートは、Product Compatibility and Download Center 内からオンラインで入手できます。

1. <http://www.ab.com> の Quick Links リストから Product Compatibility and Download Center を選択します。



2. Compatibility Scenarios タブまたは Get Downloads タブから製品を検索して選択します。

### Start by selecting products

Product Search:

search by name or description	All Categories	All Families	Go
-------------------------------	----------------	--------------	----

*Example: 1756-L61, L65, Logix, Ethernet*      *You can also filter by product category or family.*

3. ダウンロードアイコン  をクリックして製品のリリースノート入手します。

## 概要

項目	参照ページ	項目	参照ページ
PanelView Plus 7 Performance ターミナルについて	13	起動オプション	14
ハードウェアの機能	10	EtherNet/IP 通信	14
オペレータコントロール	11	標準的な構成	15
ソフトウェアのサポート	12	カタログ番号の構成	15
Windows CE オペレーティングシステム	13	製品の選択	15
オープンシステムとクローズドシステム	14	アクセサリ	16
デスクトップアクセス	14	イーサネットケーブル	16

## PanelView Plus 7 Performance ターミナルについて



PanelView Plus 7 Performance ターミナルはオペレータインターフェイス装置です。このターミナルでは、EtherNet/IP ネットワーク上の ControlLogix® および CompactLogix™ 5370 コントローラに接続されているデバイスのモニタと制御を行ないます。オペレータは、アニメーショングラフィックやテキスト表示によって、マシンまたはプロセスの動作状態を確認できます。オペレータはタッチスクリーンまたはキーパッド入力を使用して制御システムと情報をやり取りします。

以下のような機能があります。

- HMI アプリケーションを作成するための使い慣れた環境を提供する FactoryTalk View Machine Edition ソフトウェアのバージョン 8
- 構成およびサードパーティのアプリケーションのデスクトップへのアクセスを備えた Windows CE オペレーティングシステム
- デバイス・レベル・リング (DLR)、リニア、またはスター・ネットワーク・トポロジをサポートできるイーサネット通信
- ターミナルデスクトップの Web ブラウザ、Microsoft ファイルビューア、テキストエディタ、PDF ビューア、リモートデスクトップ接続、およびメディアプレイヤー

## ハードウェアの機能

PanelView Plus 7 Performance ターミナルは、さまざまなディスプレイサイズの固定ハードウェア構成とオペレータ入力オプションを備えています。

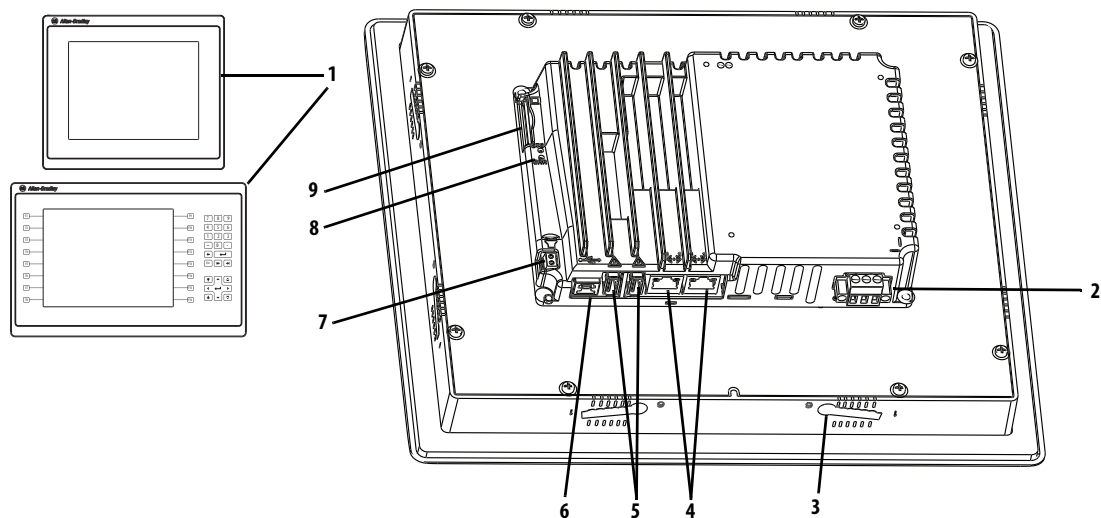


表 1-ハードウェアの機能

項目	機能	説明
1	ディスプレイ / キーボード	タッチスクリーンや移動ボタンを備えたさまざまなサイズのTFTカラー・グラフィックス・ディスプレイ。一部のモデルには、その他のオペレータ入力オプションを備えたキーボードおよびファンクションキーもあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 6.5 インチ、タッチスクリーンまたはキーボード付きタッチスクリーン</li> <li>• 9 インチ、タッチスクリーン付きワイド型</li> <li>• 10.4 インチ、タッチスクリーンまたはキーボード付きタッチスクリーン</li> <li>• 12.1 インチ、タッチスクリーン付きワイド型</li> <li>• 15 インチ、タッチスクリーンまたはキーボード付きタッチスクリーン</li> <li>• 19 インチ、タッチスクリーン</li> </ul>
2	電源	AC または DC 電源入力 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DC18 ~ 30V (絶縁)</li> <li>• 公称 AC100 ~ 240V (AC85 ~ 264V)</li> </ul>
3	取付けスロット	ターミナルの上面、底面、および側面のスロットは、デバイスをパネルまたはエンクロージャに取付けるための取付けレバー用です。スロットの数は、ターミナルのサイズによって異なります。
4	イーサネットポート	デバイス・レベル・リング (DLR) ネットワークプロトコルをサポートするコントローラ通信の 10/100Base-T、Auto MDI/MDI-X、イーサネットポート x2
5	USB ホストポート	USB 2.0 高速 (タイプ A) ホストポート x2
6	USB デバイスポート	重要: デバイスポートは機能しません。このポートは使用しないでください。
7	音声出力 <sup>(1)</sup>	4Ω または 8Ω のスピーカまたはアンプへの接続をサポートする音声出力ポート x1
8	ステータスインジケータ	ターミナル背面にあるステータスやフォルト状態を示す LED
9	セキュアデジタル (SD) カードスロット	ホットスワップ可能な外付けストレージ向け SD カード (Cat. No. 1784-SDx) をサポートする SD カードスロット x1

(1) スピーカは Windows CE オペレーティングシステム (Windows Media Player) では機能しますが、FTView ME Station ソフトウェアではサポートされていません。



## オペレータ コントロール

すべてのターミナルにはカラーディスプレイがあり、タッチスクリーン、またはオペレータコントロール用のキーパッドとタッチスクリーンが搭載されています。

- アナログ抵抗のタッチスクリーンには、産業用途の正確で耐久性のあるタッチコントロールが搭載されています。
- キーパッドモデルは、ディスプレイの左右のファンクションキーの数以外は同じです。大きなモデルになるほどキーの数も増えます。



**注意:** キーパッドおよびタッチスクリーンは、指やスタイラス、または乾燥または湿潤環境での操作の手袋を着用した手で入力できます。プラスチック製のスタイラスには、半径1.3mm (0.051 インチ) 以上のチップが必要です。これら以外の物体またはツールを使用すると、キーパッドまたはタッチスクリーンを傷つける可能性があります。



**注意:** 複数の操作を同時に実行しないでください。意図しない操作が実行される場合があります。

- タッチスクリーン上の操作要素に、一度に1つだけ1本の指で触れてください。
- ターミナルのキーは、一度に1つだけ押してください。

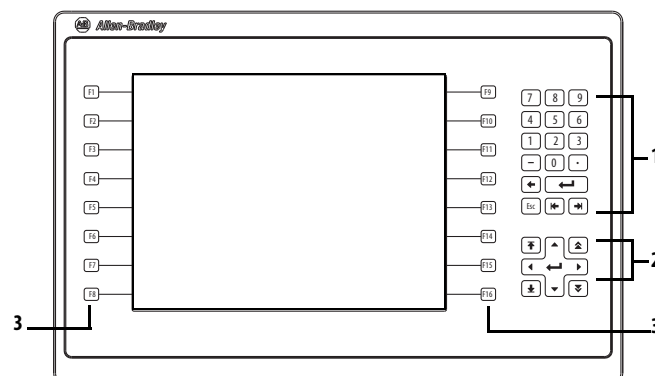
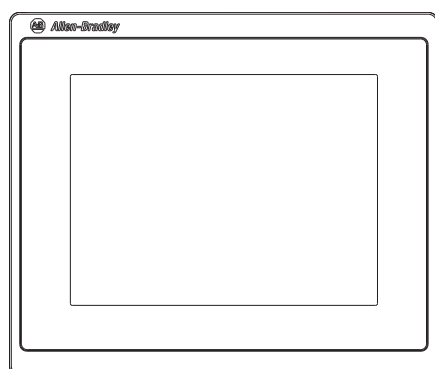


表 2- ターミナルキーパッド

項目	機能	説明
1	数値キーパッド	<p>数値、小数点記号、およびマイナス記号の他に以下のキーがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Backspace — 挿入ポイントの左側の文字を削除します。</li> <li>• Enter — 現在強調表示されているキーを入力します。挿入ポイントが仮想キーボードのテキストボックス内にある場合は空白行を入力します。</li> <li>• 左タブ、右タブ — 前または次のコントロールや入力要素を選択します。</li> <li>• Esc — ダイアログをキャンセルまたは消去します。</li> </ul>
2	移動キー	<p>移動を制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 矢印キー — 仮想キーボード上で選択されているキーの上下左右にあるキーを選択します。テキストボックス内ではカーソルを選択した方向に移動します。</li> <li>• Home/End — 挿入ポイントをテキストまたは数値入力フィールドの先頭または末尾に移動します。</li> <li>• Page up/Page down — リストの次ページまたは前ページに移動します。</li> </ul>
3	<p>ファンクションキー</p> <p>6.5 インチのターミナル 10 インチのターミナル 15 インチのターミナル</p>	<p>イベントが画面用またはそのグラフィック要素用に構成されている場合に、特定のコマンドを実行します。例えば、別の画面に移動するように L1 キーを設定することなどが可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• F1 ~ F6 および F7 ~ F12</li> <li>• F1 ~ F8 および F9 ~ F16</li> <li>• F1 ~ F10 および F11 ~ F20</li> </ul>

## タッチジェスチャ

タッチスクリーンは、実行時に画面要素と情報をやり取りするためのタッチジェスチャをサポートしています。一般的なタッチジェスチャには以下のものがあります。

- **タップ** – 画面上のターゲットを指先で軽くタッチします。
- **ダブルタップ** – 画面上のターゲットを指先で軽く 2 回タッチします。
- **ドラッグ** – ターゲットをタッチしたら、そのまま指先を離さずに画面上を滑らせます。
- **長押し** – 画面上のターゲットを数秒間タッチし続けます。

## ソフトウェアのサポート

---

**重要**      インストールされているサードパーティのソフトウェア、更新、パッチ、またはファームウェアからの悪意のあるバグやスパイウェアなどの除去は、お客様の責任のもと必ず行なってください。

---




表 3 - PanelView Plus 7 Performance でのソフトウェアのサポート

ソフトウェア	説明	バージョン
FactoryTalk View Machine Edition (ME) Station	ターミナルのランタイム環境: <ul style="list-style-type: none"> <li>FactoryTalk View ME アプリケーションを実行する。</li> <li>ターミナル設定の表示および構成のオプションを提供する。</li> </ul> Machine Edition Station は各ターミナルにあらかじめ組み込まれており、アクティベーションは必要ない。	8.x 以降
FactoryTalk View Studio for Machine Edition	ターミナル上で動作する HMI アプリケーションを開発するためのソフトウェア。RSLinx ソフトウェアは FactoryTalk View Studio ソフトウェアに含まれており、インストール時にロードされる。	8.x 以降
FactoryTalk ViewPoint	インターネットブラウザを使用することで、リモートユーザがターミナルで動作する HMI アプリケーションにアクセスし制御できるようにする Web サーバアプリケーション。  ターミナルごとに、ターミナルへの 1 つのクライアント接続をサポートする 1 つのライセンスが含まれている。	1.2 以降

## Windows CE オペレーティング システム

ターミナルでは Windows CE オペレーティングシステムを実行します。ターミナルは HMI アプリケーションを実行し、拡張機能およびファイルビューアを使用したデスクトップへのアクセスを提供します。

表 4 - オペレーティングシステムの機能

機能	アイコン
標準機能	
FTP サーバ	-
VNC クライアントサーバ	-
ActiveX コントロール <sup>(1) (2)</sup>	-
サードパーティのデバイスのサポート	-
PDF リーダ	
拡張機能	
Internet Explorer Web ブラウザ	
リモートデスクトップ接続	
メディアプレイヤー	
Microsoft Office ファイルビューア	<ul style="list-style-type: none"> <li>PowerPoint</li> <li>Excel</li> <li>Word</li> <li>画像ビューア</li> </ul> 
ワードパッド・テキスト・エディタ	

(1) ActiveX コントロールの全リストについては、<http://www.rockwellautomation.com/knowledgebase> にアクセスし、ナレッジベースで「ActiveX Support for PanelView Plus Terminals」というキーワード入力して検索してください。

(2) ターミナルにインストールされている ActiveX コントロールのリストについては、70 ページの「FactoryTalk View ME Station 情報」を参照してください。

## オープンシステムと クローズドシステム

オープンまたはクローズドなデスクトップ環境を実現するようターミナルを構成することができます。

- オープンシステムでは、スタートアップ時に Windows デスクトップが起動されます。
- クローズドシステムでは、スタートアップ時に FactoryTalk View Machine Edition アプリケーションまたは FactoryTalk View Machine Edition Station が起動されます。デスクトップアクセスは制限されます。

ターミナルはすべて、デスクトップへのアクセスが制限されるクローズドシステムとして出荷されます。システムを初めて起動すると、ターミナルの構成モードである FactoryTalk View ME Station が起動します。この時点で、起動オプションを変更し、デスクトップへのアクセスを許可することができます。

## デスクトップ アクセス

ターミナルで Windows デスクトップへのアクセスを許可または制限することができます。デスクトップでは、システムやコントロールパネルの操作、Microsoft ファイルビューアの使用、サードパーティのアプリケーションの実行、Web ブラウザの起動を行なうことができます。また、特定のタスクを実行するために一時的にアクセスを許可した後で、許可されていない変更を防ぐためにデスクトップへのアクセスを無効にすることもできます。

**ヒント** ターミナルはすべて、最初は、デスクトップへのアクセスが無効な状態で出荷されます。

デスクトップへのアクセスの変更方法に関する詳細は、[44 ページの「デスクトップアクセス」](#)を参照してください。

## 起動オプション

ターミナルではスタートアップ時に以下の3つの動作のうち、いずれか1つを実行できます。

- FactoryTalk View Machine Edition HMI アプリケーションを起動する。
- FactoryTalk View Machine Edition Station を構成モードで起動する。このモードでは、ターミナル設定および起動オプションの構成、実行するアプリケーションのロード、およびデスクトップへのアクセスの有効化と無効化を行なうことができます。
- Windows デスクトップを起動する。

工場出荷時の設定状態とファームウェアアップデート後の起動オプションでは、ターミナルが構成モードで起動します。起動オプションの変更方法の詳細は、[48 ページの「起動オプションの構成」](#)を参照してください。

タッチジェスチャで実行できる動作のリストについては、FactoryTalk View Machine Edition のヘルプを参照してください。

## EtherNet/IP 通信

PanelView Plus 7 Performance ターミナルでは EtherNet/IP 内蔵スイッチを使用します。これらのターミナルは、DLR、リニア、またはスター・ネットワーク・トポロジを使用するイーサネット接続で、ControlLogix および CompactLogix コントローラと通信します。

ターミナルは、パフォーマンスに影響を与えずに、統合モーションおよび CIP Sync アプリケーションが動作する EtherNet/IP ネットワーク上に設置することができます。ターミナルは CIP Sync またはモーションパケットのコンシューマでもプロデューサでもありません。

## 標準的な構成

従来の DLR、リニア、またはスター・ネットワーク・トポロジがサポートされています。例として、以下の項目を参照してください。

- [34 ページの「デバイス・レベル・リング \(DLR\) ネットワークトポロジ」](#)
- [35 ページの「リニア・ネットワーク・トポロジ」](#)
- [36 ページの「スター・ネットワーク・トポロジ」](#)

## カタログ番号の構成

Bulletin	入力 タイプ	ディスプレイ サイズ	ディスプレイ タイプ	ネットワーク	電源	オペレー ティング システム	モデル <sup>(1)</sup>	オプション
2711P-	T= タッチ スクリーン B= キーパッドおよび タッチスクリーン	7= 6.5 インチ 9= 9 インチ 10= 10.4 インチ 12= 12.1 インチ 15= 15 インチ 19= 19 インチ	C= カラー W= ワイドアスペ クト比のカラー	22= イーサ ネット DLR ポート	A= AC D= DC	9= Windows CE	P= 高性能	B= ブランド アイデンティなし

(1) 高性能モデルは、Web ブラウザ、リモートデスクトップ接続、メディアプレイヤー、Microsoft Office ファイルビューア、ワードパッド・テキスト・エディタなどの拡張機能を備えた Windows CE 6.0 オペレーティングシステムをサポートしています。

## 製品の選択

表 5 - PanelView Plus 7 Performance ターミナル製品の選択

Cat.No. <sup>(1)</sup>		ディスプレイ		イーサ ネット	電源	メモリ	
タッチ スクリーン	キーパッド およびタッチ スクリーン	サイズ	タイプ	DLR	AC または DC	RAM	ユーザ <sup>(2)</sup>
2711P-T7C22D9P	2711P-B7C22D9P	6.5 インチ	VGA	Yes	DC	1 GB	512 MB
2711P-T7C22A9P	2711P-B7C22A9P		TFT カラー		AC		
2711P-T9W22D9P	-	9 インチ (ワイド)	WVGA		DC		
2711P-T9W22A9P	-		TFT カラー		AC		
2711P-T10C22D9P	2711P-B10C22D9P	10.4 インチ	SVGA		DC		
2711P-T10C22A9P	2711P-B10C22A9P		TFT カラー		AC		
2711P-T12W22D9P	-	12.1 インチ (ワイド)	WXGA		DC		
2711P-T12W22A9P	-		TFT カラー		AC		
2711P-T15C22D9P	2711P-B15C22D9P	15 インチ	XGA		DC		
2711P-T15C22A9P	2711P-B15C22A9P		TFT カラー		AC		
2711P-T19C22D9P	-	19 インチ	SXGA		DC		
2711P-T19C22A9P	-		TFT カラー		AC		

(1) アレン・ブラドリーのロゴと製品識別情報のないターミナルを注文する場合は、カタログ番号の末尾に B を付加してください (例: 2711P-T9W22D9P-B)。

(2) ユーザがアプリケーションの保存に使用できるメモリ。

## アクセサリ

表 6 ～ 表 10 に、PanelView Plus 7 Performance ターミナル用のアクセサリを示します。

表 6-保護オーバーレイ

Cat.No. <sup>(1)</sup>	ディスプレイサイズ	オペレータ入力	
		タッチスクリーン	キーボードおよびタッチスクリーン
2711P-RGT7SP	6.5 インチ	•	
2711P-RGB7P			•
2711P-RGT9SP	9 インチ(ワイド)	•	
2711P-RGT10SP	10.4 インチ	•	
2711P-RGB10P			•
2711P-RGT12SP	12.1 インチ(ワイド)	•	
2711P-RGT15SP	15 インチ	•	
2711P-RGB15P			•
2711P-RGT19P	19 インチ	•	

(1) カタログ番号ごとに3つのオーバーレイが同梱されます。

表 7-電源および電源端子台

Cat. No.	説明	数量
1606-XLP95E	DIN レール電源、DC24 ~ 28V 出力電圧、95W	1
1606-XLP100E	DIN レール電源、DC24 ~ 28V 出力電圧、100W	1
2711P-RSACDIN	DIN レール電源、AC-DC、AC85 ~ 265V、47 ~ 63Hz	1
2711P-RTBAP	3ピン AC 電源端子台(灰色、L1、L2N、および $\ominus$ の黒色のラベル付き)	10
2711P-RTBDSP	3ピン DC 電源端子台(黒色、+、-、および GND の白色のラベル付き)	10

表 8-取付け具

Cat. No.	説明	数量
2711P-RMCP <sup>(1)</sup>	取付けレバー(黒色)	16

(1) Cat. No. 2711P-RMCP の取付けレバーは、PanelView Plus 7 Performance ターミナルで使用されます。灰色の取付けレバーは使用しないでください。PanelView Plus 7 Performance ターミナルとの互換性はありません。

表 9-セキュアデジタル (SD) カード

Cat. No.	説明
1784-SD1	1GB SD カード
1784-SD2	2GB SD カード
2711C-RCSD	SD カード用 USB/SD アダプタ

表 10-交換用バッテリー

Cat. No.	説明	数量
2711P-RY2032	CR2032 と同等のコイン型リチウムバッテリー	1

## イーサネット ケーブル

推奨するイーサネットケーブルおよびメディアソリューションについては、『Industrial Ethernet Media Brochure』(Pub. No. [1585-BR001B](#))を参照してください。

USB/シリアル・ポート・アダプタについては、『USB to Serial Adapter Quick Start Guide』(Pub. No. [GMSC10-QS003](#))を参照してください。



## PanelView Plus 7 Performance ターミナルの取付け

項目	参照ページ
危険な領域	19
取付けに関する注意事項	21
取付け間隔	21
パネルに関するガイドライン	22
パネルカットアウト寸法	22
パネル取付けの準備	22
ターミナルをパネルに取付け	26
電源端子台の取り外しと交換	29
DC 電源への接続	30
AC 電源への接続	31
ネットワークの接続	32
初回起動時	36
ターミナルのリセット	37



**注意** : PanelView Plus 7 Performance ターミナルを、非常停止または作業員や機器の安全に不可欠な他の制御のために使用しないでください。ソリッド・ステート・エレクトロニクスに依存しない別のハード配線のオペレータインターフェイス装置を使用してください。

**注意：環境およびエンクロージャ**

この装置は、過電圧カテゴリ II アプリケーション (IEC 60664-1 に定義)、高度 2000m (6561 フィート) までディレーティングなし、汚染度 2 の産業用環境での使用を意図しています。

このターミナルは、プログラマブル・ロジック・コントローラと共に使用されることを前提としています。AC 電源のターミナルは、絶縁トランスの 2 次側に接続する必要があります。

この装置は、IEC/CISPR Pub. No.11 に準拠したグループ 1、クラス A 産業用装置とみなされます。適切な予防策を講じないと、伝導性と放射性の外乱のため、住居や他の環境で電磁妨害波の影響を防ぐことが困難になります。

**韓国電磁波適合登録**— 装置にマークが付けられている場合、この装置は家庭用機器ではなく、業務用機器 (A) として電磁波適合登録されています。販売者および使用者は、この点に注意する必要があります。

この装置は、「開放型」装置として出荷されています。特定の環境条件に適合し、帯電部への接触による人体への危険を防ぐように適切に設計されたエンクロージャ内に取付ける必要があります。また、何らかのツールを使用しなければエンクロージャの内部にアクセスできないような構造が必要です。これらのターミナルは、対応する定格のパネルまたはエンクロージャに取付けられた場合にのみ、特定の NEMA/UL タイプおよび IEC 定格を満たします。以降のセクションには、特定の製品の安全要件を満たすのに必要な特定のエンクロージャタイプの定格に関する追加情報が記載されています。

他の参考文献：

- その他の取付け要件については、『配線および接地に関するガイドライン』 (Pub. No. [1770-4.1](#)) を参照してください。
- エンクロージャのタイプによって異なる保護レベルの説明については、対応する NEMA 規格 250 および IEC60529 を参照してください。

**注意：配線および安全に関するガイドライン**



デバイスの配線を行なう場合は、NFPA 70E 『Electrical Safety Requirements for Employee Workplaces』、IEC 60364 『Electrical Installations in Buildings』、または設置する国の他の適合する配線の安全要件を参照して使用してください。NFPA ガイドラインの他に、以下の点にもご注意ください。

- デバイスの配線は資格のある電気技師のみが地域および国の法令に従って行ないます。
- デバイスおよび他の類似する電子装置は固有の分岐回路に接続します。
- 入力電源は定格 15 A 以下のヒューズまたはブレーカで保護します。
- 入力電源は、通信とは異なる経路でデバイスまで配線してください。
- 電力線および通信線を交差しなければならないときは、垂直交差になるようにしてください。
- 通信線は、低レベル DC I/O 回線 (10V 未満) と同じ配線管に入れることができます。
- 電磁干渉 (EMI) を防止するために、ケーブルを適切にシールドし、接地してください。接地処理は、EMI によるノイズを最小限に抑える手段であり、電気設備における安全対策です。

推奨される接地方法については、米国消防協会 (NFPA) が公表する米国電気工事規定 (NEC) を参照してください。

## 危険な領域

### 北米における危険な領域に関する規格

The following information applies when operating this equipment in hazardous locations.	以下の情報は、危険な領域で本装置を稼働する場合に適用されます。
<p>When marked, these products are suitable for use in "Class I, Division 2, Groups A, B, C, D"; Class I, Zone 2, Group IIC hazardous locations and nonhazardous locations only. Each product is supplied with markings on the rating nameplate indicating the hazardous location temperature code. When combining products within a system, the most adverse temperature code (lowest "T" number) may be used to help determine the overall temperature code of the system. Combinations of equipment in your system are subject to investigation by the local Authority Having Jurisdiction at the time of installation.</p>	<p>「CL I, DIV 2, GP A, B, C, D」とマークされている製品は、クラス I、ディビジョン 2 グループ A, B, C, D の危険な領域および危険ではない領域での使用にのみ適しています。各製品は、危険な領域の温度コードを記載する定格銘板にマークが付けられて出荷されています。システム内で製品を組み合わせる場合、最も厳しい温度コード（最低の「T」番号）を使用すると、システム全体の温度コードの判別に役立ちます。システム内での装置の組合せは、取付け時に各地域の管轄機関による検査を受ける必要があります。</p>
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p><b>WARNING: EXPLOSION HAZARD</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Do not disconnect equipment unless power has been removed or the area is known to be nonhazardous.</li> <li>Do not disconnect connections to this equipment unless power has been removed or the area is known to be nonhazardous. Secure any external connections that mate to this equipment by using screws, sliding latches, threaded connectors, or other means provided with this product.</li> <li>Substitution of components may impair suitability for Class I, Division 2.</li> <li>Peripheral equipment must be suitable for the location in which it is used.</li> <li>The battery in this product must be changed only in an area known to be nonhazardous.</li> <li>All wiring must be in accordance with Class I, Division 2 wiring methods of Article 501 of the National Electrical Code and/or in accordance with Section 18-1J2 of the Canadian Electrical Code, and in accordance with the authority having jurisdiction.</li> </ul> </div> </div>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p><b>警告：爆発の危険</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>領域が危険でないことを確認できるまで、または電源を切断するまでは、装置を切り離さないでください。</li> <li>電源を切断するか、または領域が危険でないことを確認できるまでは、コネクタを外さないでください。この製品に付属するねじ、スライディングラッチ、ねじ式のコネクタ、または他の方法で、すべての外部接続を固定してください。</li> <li>別のコンポーネントを使用すると、クラス I、ディビジョン 2 への適合性を損なうことがあります。</li> <li>この製品にバッテリーが含まれている場合は、領域が危険でないことがわかったときにのみバッテリーを交換してください。</li> </ul> </div> </div>

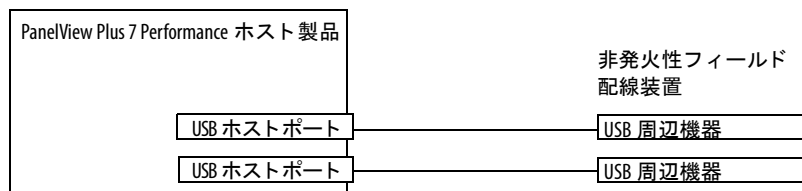
ターミナルは、最大周囲温度 55°C (131°F) で動作すると温度規格が T4 になります。大気が発火温度が 135°C (275°F) 未満の環境には T4 ターミナルを設置しないでください。

## USB 周辺機器に必要な回路ポートパラメータ

この製品には、危険な環境に適合する USB ホストポートが含まれています。米国電気工事規定の第 500 条に従い、フィールド配線の準拠要件を示します。

図 1 - PanelView Plus 7 ターミナルの制御図面

関連する非発火性フィールド配線装置



PanelView Plus 7 Performance ターミナルは、電源が別の USB ホストポートを2つ提供します。USB ホストポートの回路パラメータを表 11 に定義します。

表 11 - USB ホストポートの回路パラメータ

パラメータ	値	パラメータの定義	
$V_{oc(USB)}$	DC5.25V	ホスト USB ポートの開回路電圧。 USB 周辺機器の最大印加電圧定格 $V_{max(peripheral)}$ は、 $V_{oc(USB)}$ 以上である必要があります。	$V_{max(peripheral)} \geq V_{oc(USB)}$ (適切な場合)
$I_{sc(USB)}$	1.68 A	ホスト USB ポートの最大出力電流 各 USB 周辺機器が制約を受ける最大電流 $I_{max(peripheral)}$ は、 $I_{sc(USB)}$ 以上であることが必要です。	$I_{max(peripheral)} \geq I_{sc(USB)}$
$C_a(USB)$	10 $\mu$ F	USB ホストポートに接続できる最大合計静電容量。USB 周辺機器と接続ケーブルの合計静電容量が指定値を超えないようにする必要がある。 最大合計静電容量 $C_i(peripheral)$ と別の USB 周辺機器のケーブル静電容量は、 $C_a(USB)$ 以下であることが必要です。	$C_i(peripheral) + C_{cable(USB)} \leq C_a(USB)$
$L_a(USB)$	15 $\mu$ H	USB ホストポートに接続できる最大合計インダクタンス。USB 周辺機器と接続ケーブルの合計インダクタンスが指定値を超えないようにする必要がある。 最大合計インダクタンス $L_i(peripheral)$ と別の USB 周辺機器のケーブルインダクタンスは、 $L_a(USB)$ 以下であることが必要です。	$L_i(peripheral) + L_{cable} \leq L_a(USB)$

### アプリケーション情報

米国電気工事規定 (NEC) では、危険な領域で使用される非発火性フィールド配線装置の回路パラメータは、ホスト製品と組み合わせて使用しても非発火性が保たなければならないと定められています。PanelView Plus 7 Performance ターミナルおよび USB 周辺機器はこの規定に準拠して取り扱う必要があります。

また、PanelView Plus 7 Performance ターミナルの USB ホストポートに接続して使用しても非発火性が保持されるよう、USB 周辺機器とその接続ケーブルの回路パラメータは、表 11 に記載された制限値に従う必要があります。

ケーブルの静電容量およびインダクタンスが不明な場合は、ANSI/ISA-RP 12.06.01-2003 で定められた以下の値を適用してください。

$$C_{cable} = 197 \text{ pF/m (60 pF/ft)}$$

$$L_{cable} = 0.7 \text{ }\mu\text{H/m (0.20 }\mu\text{H/ft)}$$

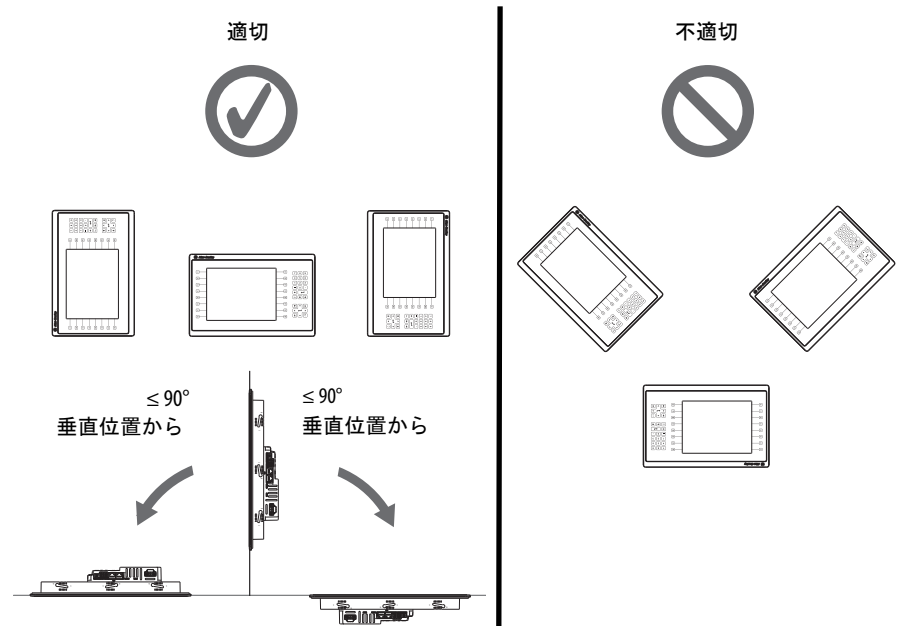
非発火性フィールド配線の接続および切り離しは、米国電気工事規定 (NEC) ANSI/NFPA 70 の第 501 条 10(B)(3) 項、およびその他の適用し得る地域の法令に遵守して行なう必要があります。この関連する非発火性フィールド配線装置について、他の関連する非発火性フィールド配線装置と組み合わせて使用する場合の評価は行なわれていません。

## 取付けに関する 注意事項

ターミナルを取付ける場合は、以下の点にご注意ください。

- ターミナルは大部分のオペレータに適した高さを取付けてください。キャビネットはオペレータフロアと異なるレベルを取付けることができます。
- 適切な照明を使用してください。直射日光の当たるところでターミナルを操作しないでください。
- ターミナルは 0 ~ 180° の取付け角度で動作します。

図 2- 適切な取付け位置と不適切な取付け位置



**注意：**この警告を守らないと、人体に危険が及んだりパネル内のコンポーネントが損傷することがあります。

## 取付け間隔

換気と配線のために、エンクロージャ内部のターミナルの周囲に十分な空間を確保してください。エンクロージャ内の他のデバイスによって発生する熱も考慮する必要があります。ターミナルの周囲温度は、19 インチターミナルを除き、0 ~ 55°C (32 ~ 131°F) である必要があります。19 インチターミナルの周囲温度は 0 ~ 50°C (32 ~ 122°F) です。

表 12- 必要最小間隔

製品面積	最小間隔
上面	51mm (2 インチ)
底面	102mm (4 インチ)
側面	SC カードなし側面で 25mm (1 インチ) SD カード付き側面で 102mm (4 インチ)
背面	0mm (0 インチ)

## パネルに関するガイドライン

ターミナルは、NEMA 定格、UL タイプ定格、または IP 定格エンクロージャの扉または壁に取付けるパネル取付けデバイスです。

- 支持パネルには、1.5～4.8mm (0.060～0.188 インチ)の厚さが必要です。
- パネルの材料は、ターミナルを支え、水や埃が入らないように適度な密閉を維持するために十分な強度と硬度を備える必要があります。
- パネルの表面は平坦で適度な密閉とNEMAおよびULタイプ定格を維持するために欠陥のない状態である必要があります。

## パネルカットアウト寸法

ターミナルに同梱されているテンプレートを使用して、カットアウト寸法をトレースしてください。

表 13- パネルカットアウト寸法- PanelView Plus 7 Performance ターミナル

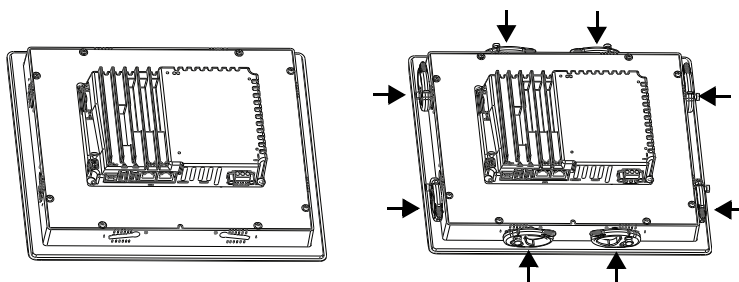
ターミナルサイズ	入力タイプ	高さ： mm (インチ)	幅： mm (インチ)
6.5 インチ	キーパッドおよび タッチスクリーン	142 (5.59)	237 (9.33)
	タッチスクリーン	142 (5.59)	184 (7.24)
9 インチ	タッチスクリーン	162 (6.38)	252 (9.92)
10.4 インチ	キーパッドおよび タッチスクリーン	224 (8.82)	335 (13.19)
	タッチスクリーン	224 (8.82)	269 (10.59)
12.1 インチ	タッチスクリーン	218 (8.58)	312 (12.28)
15 インチ	キーパッドおよび タッチスクリーン	290 (11.42)	418 (16.46)
	タッチスクリーン	290 (11.42)	353 (13.90)
19 インチ	タッチスクリーン	383 (15.08)	457 (17.99)

## パネル取付けの準備

パネルにターミナルを取付ける前に、このセクションおよび [26 ページ](#) に記載されているすべての取付け手順をお読みください。

**重要** PanelView Plus 7 Performance ターミナルでは Cat.No. 2711P-RMCP 取付けレバー（黒色）を使用します。灰色の取付けレバーは使用しないでください。PanelView Plus 7 Performance ターミナルとの互換性はありません。

取付けレバーをベゼルの周囲のスロットに挿入し、ターミナルをパネルに固定します。レバーの数は、ターミナルのサイズによって異なります。



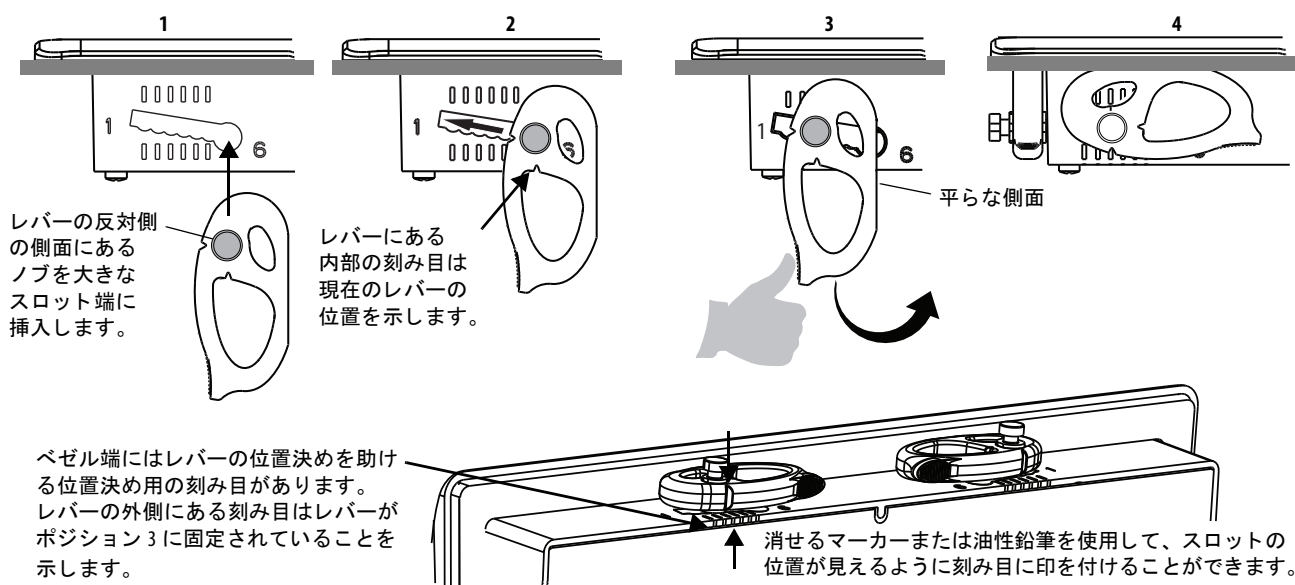
各取付けスロットには、レバーのロック位置を示す位置決めマークの付いた刻み目が 6 つ付いています。ターミナルを取付けるパネルの厚さによって、NEMA/UL タイプの密閉を維持するために必要なロック位置が決まります。



表 14-レバーのロック位置

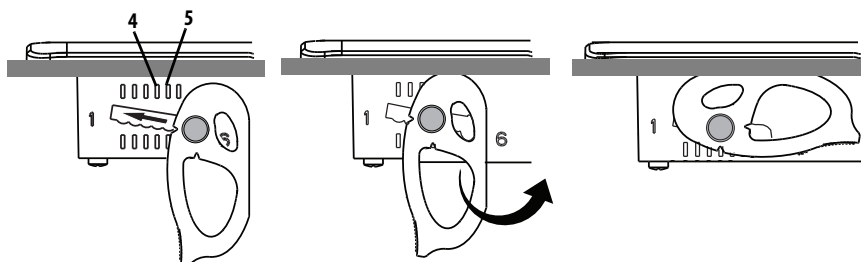
取付けスロット	レバーのロック位置	パネルの厚さの範囲	一般的なゲージ
スロットの向きはさまざまです。 	1	1.50 ~ 2.01mm (0.060 ~ 0.079 インチ)	16
	2	2.03 ~ 2.64mm (0.080 ~ 0.104 インチ)	14
	3	2.67 ~ 3.15mm (0.105 ~ 0.124 インチ)	12
	4	3.17 ~ 3.66mm (0.125 ~ 0.144 インチ)	10
	5	3.68 ~ 4.16mm (0.145 ~ 0.164 インチ)	8/9
	6	4.19 ~ 4.80mm (0.165 ~ 0.188 インチ)	7

取付けレバーはスロットに挿入する前に必ず正しい向きにしてください。取付けレバーノブをスロット内にスライドさせて位置決めする方法はこれ以外にありません。取付けレバーを特定の刻み目にスライドさせたら、取付けレバーをパネルに向けて回転させ固定します。取付けレバーの平らな側面がパネルと接触する必要があります。



最初に、各取付けレバーを最終ロック位置よりも刻み目が1つまたは2つ大きな位置までスライドさせて、パネルにターミナルを固定します。例えば、最終ロック位置が3の場合、各取付けレバーを4または5の位置にスライドさせます。[25 ページの図 3](#) に示すターミナルサイズ固有の手順に従います。

**ヒント** ロック位置が6の場合、レバーを大きい方のスロット端または挿入用の穴にスライドさせます。



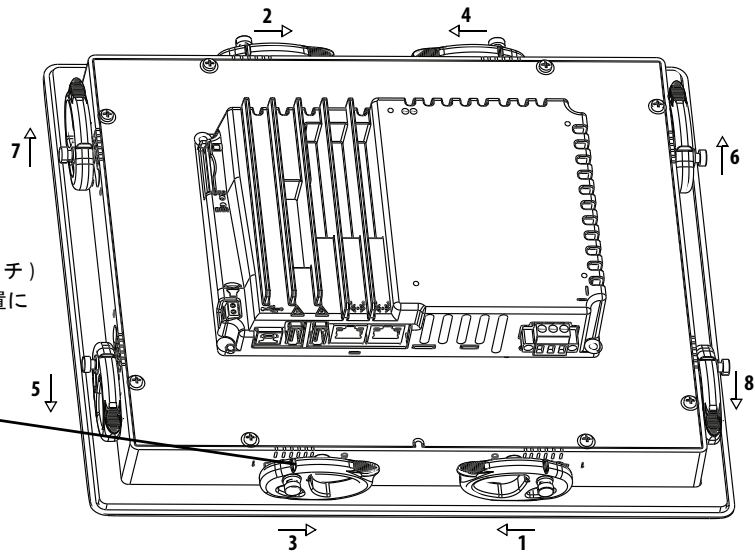
各レバーを同じ手順で最終ロック位置に調整します。25ページの図3を参照してください。

---

**重要** このプロセスではパネルに対するレバーの圧力が徐々に均等化され、クランプの破損の確率が低減されます。

---

以下の図に、10.4インチのタッチターミナルのレバーの向きとロック手順を示します。

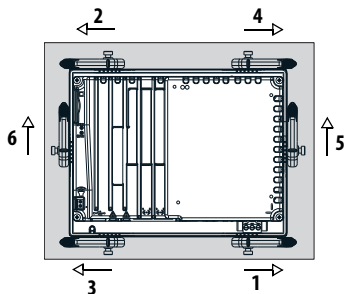


この10.4インチ・タッチ・ターミナルでは、パネルの厚さが2.67～3.15mm(0.105～0.124インチ)の場合に対応して、すべてのレバーが3の位置にロックされています。

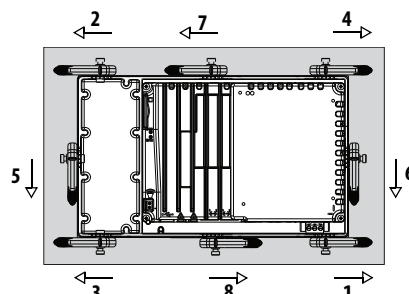
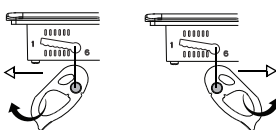
刻み目はロック位置を示します。

図 3- レバーの向きとロック手順

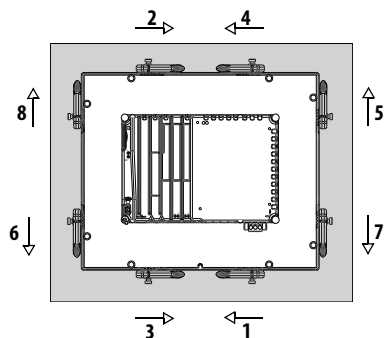
6.5 インチのタッチ・スクリーンのみ— 6 レバー



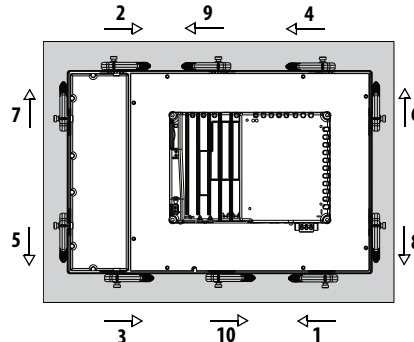
6.5 インチのキーボードおよびタッチスクリーン— 8 レバー



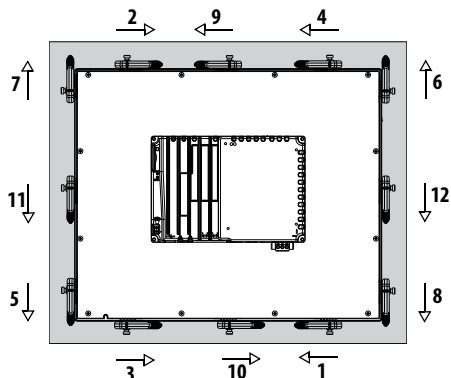
9 インチおよび 10.4 インチのタッチスクリーンのみ— 8 レバー



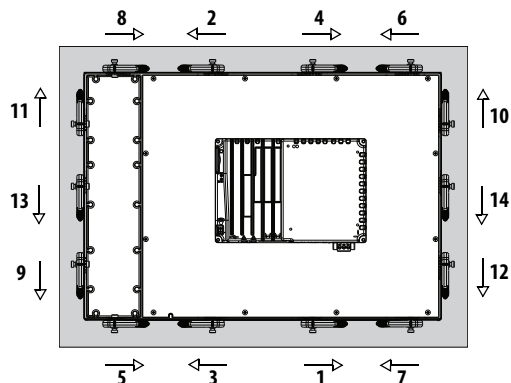
10.4 インチのキーボードおよびタッチスクリーン、  
12.1 インチのタッチスクリーンのみ— 10 レバー



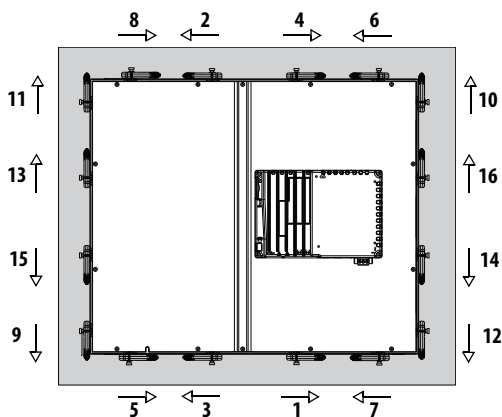
15 インチのタッチスクリーンのみ— 12 レバー



15 インチのキーボードおよびタッチスクリーン— 14 レバー



19 インチのタッチスクリーンのみ— 16 レバー



**重要：** 示されている取付けレバーの向きは、NEMA、UL タイプ、および IP シールを保持するために必要です。NEMA、UL タイプ、および IP シールが必要な場合、示された向きと異なる向きで取付けレバーを使用しないでください。

## ターミナルをパネル に取付け

ターミナルは、1人で取付けられるように設計されています。パネルカットアウトに必要な工具以外工具は必要ありません。

以下の手順に従って、パネル内にターミナルを取付けてください。



### 注意：

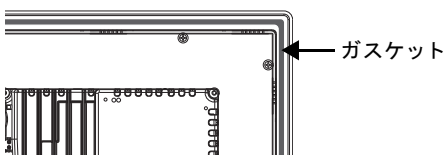
パネルカットアウトを行なう前に、パネルからすべての電源を切断してください。

パネルカットアウトの周辺に障害物がなく、パネルにゴミ、油分、またはその他の化学物質が付着していないことを確認してください。

パネル内部にすでに別のコンポーネントが取付けられているようなときは、内部コンポーネントに金属の切削片が入り込むことがなく、カットアウトの端にバリや鋭い縁がないことを確認します。

この注意事項を守らないと、人体に危険が及んだりパネル内のコンポーネントが損傷することがあります。

1. [22 ページ](#) に示されるカットアウト寸法を使用して、パネルの開口部をくり抜きます。
2. ターミナルにシーリングガスケットがあることを確認します。  
このガスケットが圧縮タイプのシールとなります。シール用配合剤は使用しないでください。

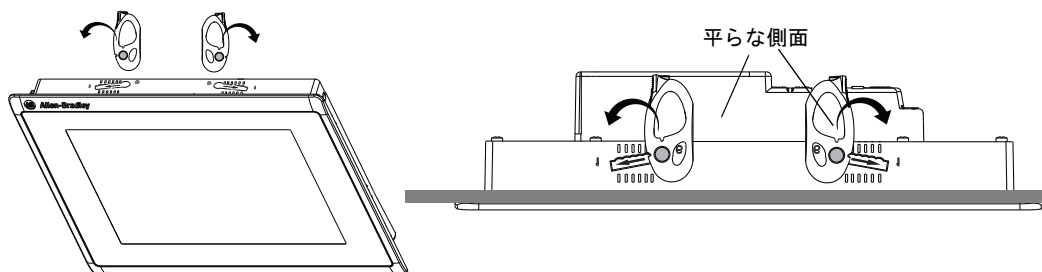


3. ターミナルをパネルのカットアウト部分に挿入し固定します。
  - a. [25 ページの図 3](#) の向きを使用して、上隅スロットにレバーを挿入し、レバーの平らでない側面をパネルの方向に回転します。

### ヒント

PanelView Plus 7 Performance ターミナルの取付けレバーは黒色です (Cat.No. 2711P-RMCP)。

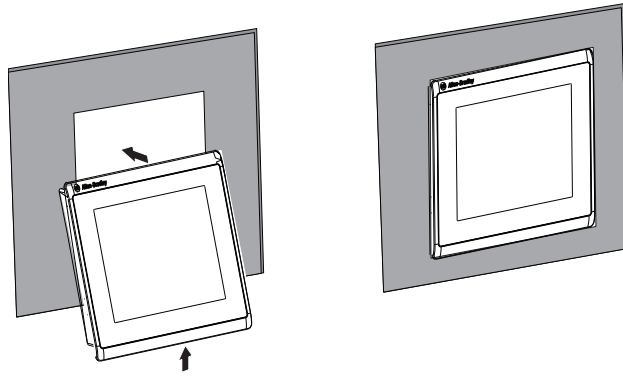
灰色の取付けレバーは使用しないでください。PanelView Plus 7 Performance ターミナルとの互換性はありません。



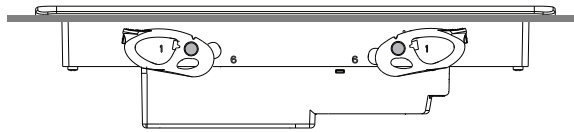
- b. ターミナルをパネルカットアウトの方向に傾けカットアウト内で上方に引き上げ、レバーが損傷していないことを確認します。

### ヒント

レバーはターミナルがパネルから落ちるのを防ぎます。

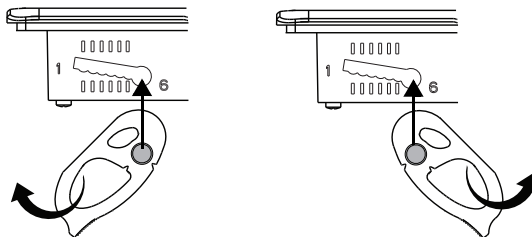


- c. ターミナルの上部を自分の方に引き寄せ、レバーに損傷がなくターミナルがパネルに固定されていることを確認します。



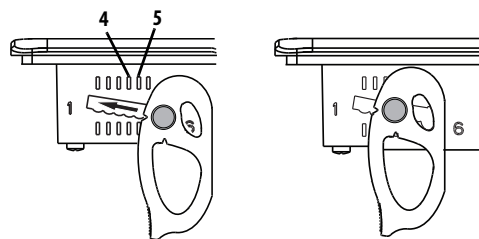
- d. [25 ページの図 3](#) に示される、ターミナルに対する適切な向きを使用して、残りのレバーをスロットに挿入します。

レバーの回転方向は各ターミナルのサイズによって異なります。



4. 手順どおりに最初のレバーから、各レバーを最終ロック位置よりも刻み目が 1 つまたは 2 つ大きな位置までスライドさせ、回転します。

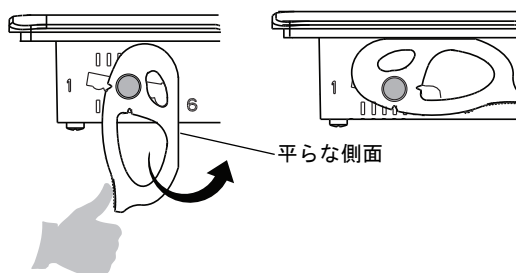
例えば、最終ロック位置が 3 の場合、レバーを刻み目 4 または 5 にスライドさせます。



**ヒント** 位置決めマークまたはレバーの位置を決めるためにベゼルに記した以前のマークを使用し、最終的なスロット位置を特定します。

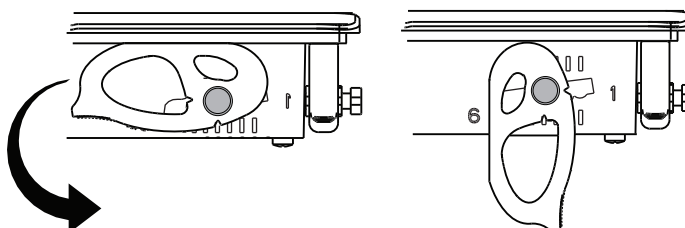
- a. レバーの最終ロック位置については、[23 ページの図 14](#) を参照してください。
- b. ロック手順については、[25 ページの図 3](#) を参照してください。

- c. 平らな側面がパネルに接触するまで各レバーを回転します。



5. [25 ページの図 3](#) の同じロック手順を使用して、各レバーを最終ロック位置まで調整します。

- a. レバーをベゼルから離して回転し、レバーを 1 つずつ順にロック解除します。



- b. レバーがスロットと垂直の位置になったら、[23 ページの表 14](#) に示される最終ロック位置までレバーをスライドさせます。  
レバーの外側の刻み目がベゼルの刻み目と一致します。
- c. レバーをパネルの方向に注意深く回転します。

---

**重要** 工具を使用したり過度な力を加えて取付けレバーを回転させないでください。取付けレバーは手で回転して固定するように設計されています。

---

**ヒント** 破損した取付けレバーがターミナルを傷つけることはありません。

取付けレバーは、トルクが大きくなりすぎるとピンを破壊するように設計されています。ピンが壊れることでターミナルベゼルに被害が及ばないようにします。ピンが壊れたら、取付けレバーを回転して他のピンを使用して取付けを続行します。詳細および制限事項については、[25 ページの図 3](#) を参照してください。

- d. 残りのレバーを最終位置にロックします。
6. すべてのレバーを点検し、それぞれが正しい位置にロックされていることを確認します。



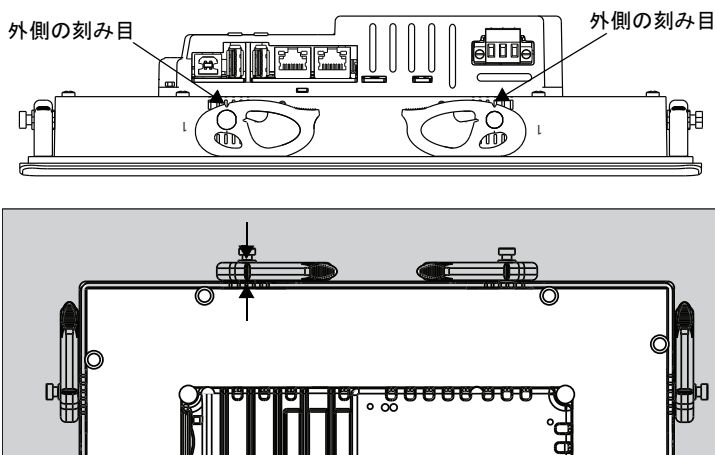
**注意：**ターミナルとパネル間でガスケットを十分密閉するには、すべてのレバーを適切な同一位置にロックする必要があります。不適切な取付けによって生じた、エンクロージャ内のターミナルやその他の装置に対する湿気や化学物質による損傷については、当社では責任を負いかねます。

---



レバーの外側にある刻み目はロック位置を示します。

2つの図はレバーが位置3にロックされていることを示します。



## 電源端子台の 取り外しと交換

本製品には電源接続用の3ピン端子台があります。設置、配線、および保守をやすくするために端子台を取り外すことができます。



### 警告：爆発の危険

電源を投入した状態で配線を接続または切断すると、電気的なアークが発生する場合があります。危険な環境で取付けを行なっている場合は、これによって爆発が起こる可能性があります。作業を行なう前に、電源が切断されていて、周辺に危険がないことを確認してください。

電源を切断しないと、感電またはターミナルの損傷が発生する恐れがあります。

端子台では、AC と DC の電源接続ではマークが異なります。

端子台の配線には 0.6 x 3.5mm のマイナスドライバーを使用してください。

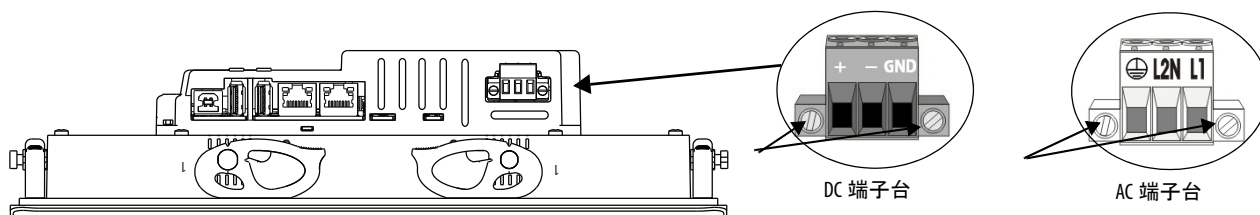
表 15-入力電源端子台のワイヤ仕様

ワイヤタイプ	デュアルワイヤのサイズ <sup>(1)</sup>	シングルワイヤのサイズ	剥く長さ	ねじの締付けトルク
より線またはソリッド Cu 90°C (194°F)	0.3 ~ 1.3mm <sup>2</sup> 22 ~ 16 AWG	0.3 ~ 2.1mm <sup>2</sup> (22 ~ 14 AWG)	7mm (0.28 インチ)	0.4 ~ 0.5Nm (3.5 ~ 4.4 ポンド インチ)

(1) 端子当たり最大2線

以下の手順に従って、端子台を取り外してください。

1. 端子台を固定する 2 個のねじを緩めます。



2. 端子台をコネクタから慎重に引っ張り出します。

以下の手順に従って、端子台を取付けてください。

1. 端子台をコネクタに再び取付け、ぴったりはめます。



**注意：**過度な力を加えて端子台を押し込まないでください。端子台は DC または AC コネクタに合わせて調整されています。端子台がコネクタにはまらない場合は、正しい端子台を使用していることを確認してください。[16 ページの表 7](#) を参照してください。

2. コネクタに端子台を固定する 2 個のねじを締めます。

## DC 電源への接続

DC24V 電源を搭載したターミナルの電源定格は、以下の通りです。

- 公称 DC24V (DC18 ~ 30V)
- 最大 50W (DC24V のとき 2.1A)



**注意：**この電源は、極性反転に対して内部的に保護されています。DC+ または DC- をアース端子に接続すると、デバイスが損傷することがあります。AC 電源、または DC30V 以上を接続すると端子が損傷することがあります。

DC 電源入力付きターミナルは、DC24V 安全超低電圧 (SELV) または保護超低電圧 (PELV) 電源からの稼動をサポートしています。サポートされる電源には、Cat.No. 1606-XLP95E、1606-XLP100E、または 2711P-RSACDIN が含まれています。

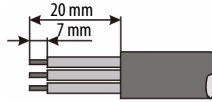


**注意：**取付けの際には、設置する地域の配線に関する規制によって定められた SELV 電源または PELV 電源をご使用ください。SELV 電源および PELV 電源には、通常の状態および単一フォルト状態において導線とアースグラウンド間の電圧が安全値を超えないようにするための保護機能が装備されています。

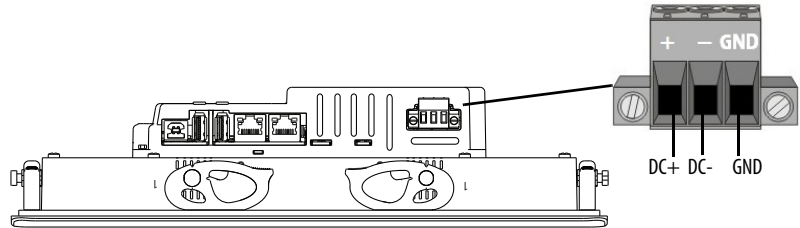
ターミナルには、DC 電源バスを使用して他の機器と同一の電源から給電することが可能です。

以下の手順に従って、オペレータターミナルをDC電源に接続してください。

1. 配線が電源に接続されていないことを確認します。
2. ワイヤの端部分の絶縁体を7mm (0.28 インチ) 剥きます。



3. DC 電源ワイヤを端子台のマークが付いている端子 (+ および -) に固定します。



4. アースグラウンド線を端子台の GND 端子に接続します。

GND 端子は、低インピーダンスのアースグラウンドに接続する必要があります。



**注意:** アースグラウンド接続は義務付けられています。この接続は、ノイズの除去、信頼性の向上、および CE マーク適合に必要な欧州連合 (EU) EMC 指令で定められた電磁適合性 (EMC) を達成するために必要です。この接続は UL (保険業者研究会) が規定する安全性を順守するために必要です。

5. オペレータターミナルの電源を投入します。

## AC電源への接続

AC 電源を搭載したターミナルの電源定格は、以下の通りです。

- AC100 ~ 240V (50 ~ 60Hz)
- 最大 105VA

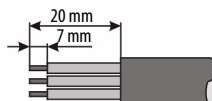


**注意:** 電源端子台の配線を誤ると、通信コネクタシェルに電圧がかかることがあります。

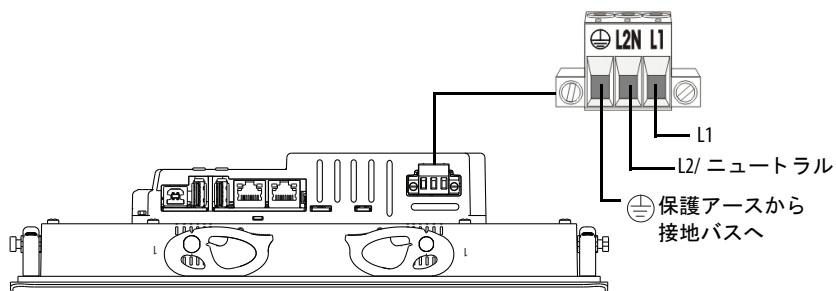
すべての配線を接続するまで、ターミナルに電源を投入しないでください。これに従わない場合は、感電の恐れがあります。

以下の手順に従って、オペレータターミナルをAC電源に接続してください。

1. 配線が電源に接続されていないことを確認します。
2. ワイヤの端部分の絶縁体を7mm (0.28 インチ) 剥きます。



3. AC 電源ワイヤを電源端子台のマークが付いている端子 (L1 および L2N) に固定します。



4. 保護アースグラウンド線を電源端子台のマークが付いている端子に接続します。

保護アース端子は、低インピーダンスのアースグラウンドに接続する必要があります。



**注意：**アースグラウンド接続は義務付けられています。この接続は、ノイズの除去、信頼性の向上、および CE マーク適合に必要な欧州連合 (EU) EMC 指令で定められた電磁適合性 (EMC) を達成するために必要です。この接続は UL (保険業者研究会) が規定する安全性を順守するために必要です。

5. オペレータターミナルの電源を投入します。

## ネットワークの接続

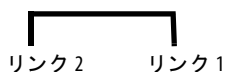
2つのイーサネットポートは、標準イーサネット接続を使用して EtherNet/IP ネットワーク上のコントローラに接続します。以下のネットワークタイプがサポートされています。

- [34 ページの「デバイス・レベル・リング \(DLR\) ネットワークトポロジ」](#)
- [35 ページの「リニア・ネットワーク・トポロジ」](#)
- [36 ページの「スター・ネットワーク・トポロジ」](#)

これらの各 EtherNet/IP ネットワークトポロジは、必要に応じて、EtherNet/IP ネットワークで統合モーションを使用するアプリケーションをサポートしています。

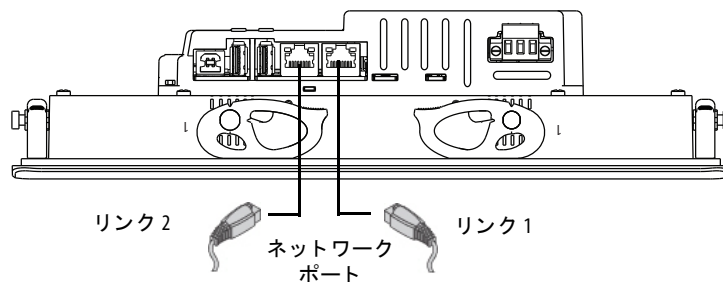
**重要** ターミナルにはイーサネットポートが2つありますが、デバイス IP アドレスは1つだけです。

### イーサネットポート



イーサネットポートには2つのネットワーク通信用の 10/100Base-T 接続があり、DLR ネットワークアイコンによって示される MDI/MDI-X 接続と DLR ネットワークトポロジをサポートしています。

ターミナルは、CAT5、CAT5E、または CAT6 より線ケーブル、RJ45 コネクタ付きのイーサネットケーブルを使用して EtherNet/IP ネットワークに接続します。

**重要**

以下の手順に従って、イーサネットケーブルの偶発的な切断を防止してください。

- イーサネットケーブルを固定してコネクタの振動を最小に抑え、パネル内部で作業する担当者が誤ってケーブルを切断する可能性を低らします。
- ケーブルはきつく張りすぎないでください。ケーブルには緩みを残し、パネルドアの開閉時に引き込まないようにします。

イーサネットポートとイーサネットハブ（リピータまたはファイバーなし）の 10/100 Base-T ポートとの間の最大ケーブル長は、100m（328 フィート）です。



**警告**：危険な環境では、この機器またはネットワーク上の機器に電力が印加されている状態で、通信ケーブルの取付けまたは取り外しを行なわないでください。危険な環境で取付けを行なうと、電気的なアークによって爆発が起こる可能性があります。作業を行なう前に、電源が切断されているか、または周辺に危険がないかを確認してください。

表 16- イーサネットコネクタのピン配列

コネクタ	ピン	ピン名
RJ45 コネクタの図  緑色のステータスインジケータ 黄色のステータスインジケータ	1	TD+
	2	TD-
	3	RD+
	4	未使用
	5	未使用
	6	RD-
	7	未使用
	8	未使用
	シールド接続	直接接続なし (シャーシグラウンドに AC 接続)

各イーサネットポートには 2 つのインジケータがあり、アクティビティのステータスを示します。

表 17- イーサネット・ステータス・インジケータ

インジケータ	色	説明
リンクの整合性	緑色	リンクが存在すると点灯します。
アクティビティ	黄色	イーサネットリンクでアクティビティが検出されると点滅します。

## デバイス・レベル・リング (DLR) ネットワークトポロジ

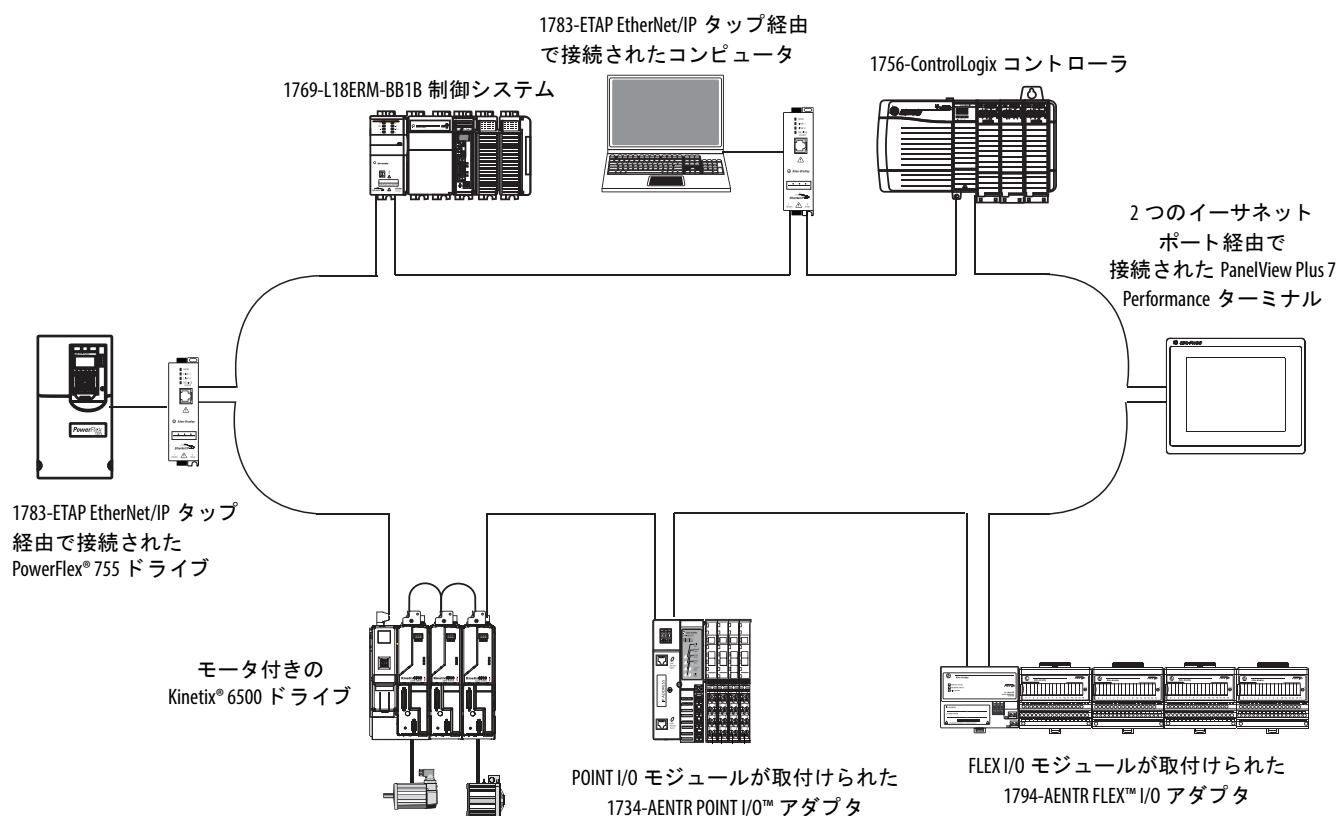
DLR ネットワークは、オートメーションデバイスの相互接続を目的としたシングル・フォルト・トレランス・リング・ネットワークです。このトポロジはデバイスレベルでも実装されます。追加のスイッチは不要です。

**ヒント** DLR ネットワークは、スーパーバイザノードとリングノードから構成されます。PanelView Plus 7 Performance ターミナルは、ネットワーク上でリングノードとしてのみ動作します。

DLR ネットワークトポロジは、障害が検出されると自動的にリニア・ネットワーク・トポロジに変換されます。新しいネットワークトポロジに変換されてもネットワーク上でのデータ通信は維持されます。故障状態は、通常、検出され修正されます。

DLR ネットワークトポロジの詳細は、『EtherNet/IP 内蔵スイッチテクノロジー アプリケーションガイド』(Pub. No. [ENET-AP005](#)) を参照してください。

図 4-DLR トポロジネットワーク内の PanelView Plus 7 Performance ターミナル

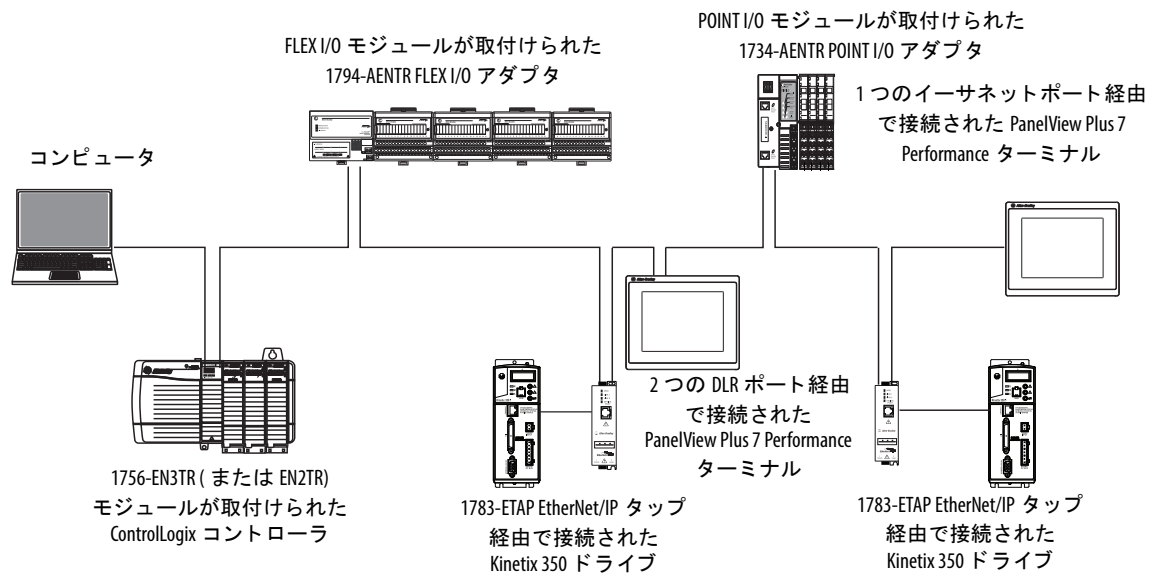


## リニア・ネットワーク・トポロジ

リニア・ネットワーク・トポロジは、EtherNet/IP ネットワークでダイジチェーン接続されたデバイスの集合です。リニア・ネットワーク・トポロジに接続することができるデバイスは、内蔵されているスイッチテクノロジーを使用して、スター・ネットワーク・トポロジでは必要に別のスイッチの必要性をなくします。

**ヒント** 2つのイーサネットポートを備えた PanelView Plus 7 Performance ターミナルは、リニアネットワークの中央または端に配置することができます。

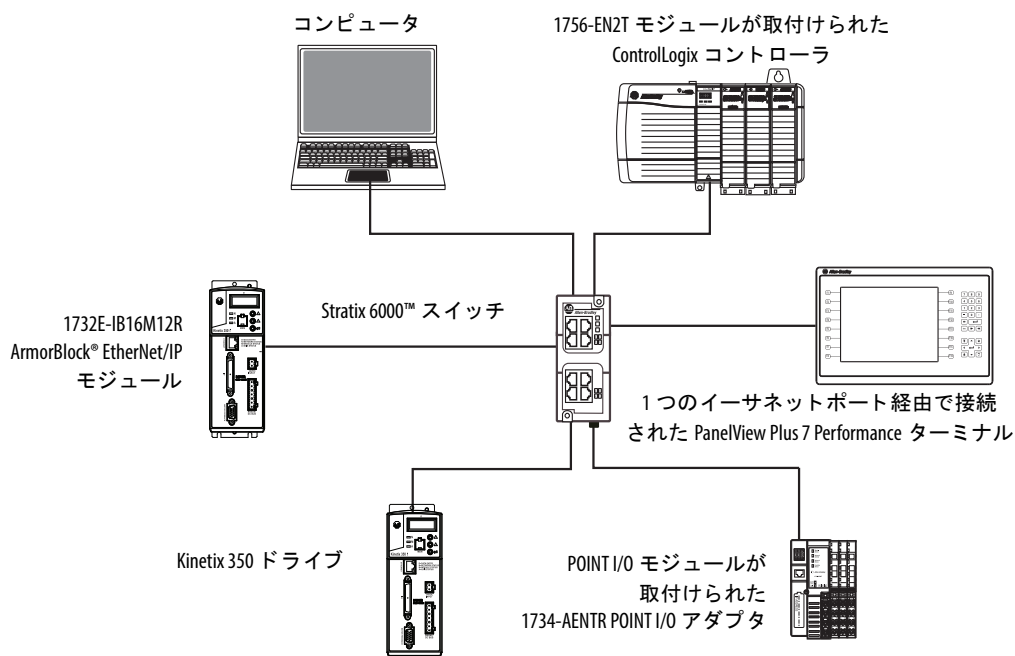
図 5- リニア・トポロジ・ネットワーク内の PanelView Plus 7 Performance ターミナル



## スター・ネットワーク・トポロジ

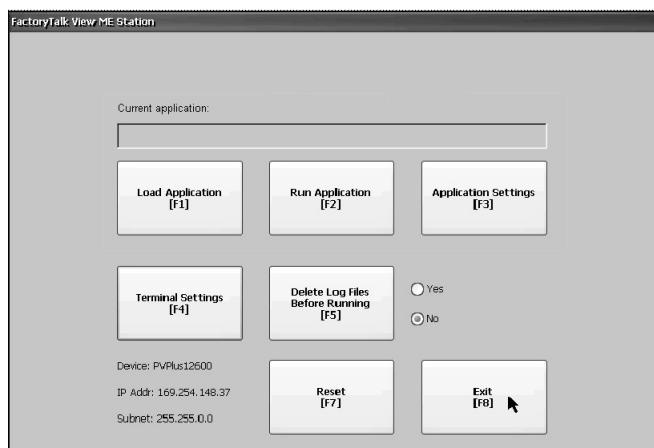
スター・ネットワーク・トポロジは、複数のデバイスが Ethernet スイッチを使用して相互に接続される従来の EtherNet/IP ネットワークです。

図 6-スター・トポロジ・ネットワーク内の PanelView Plus 7 Performance ターミナル



## 初回起動時

システムを初めて起動すると、スタートアップシーケンスが実行されて FactoryTalk View ME Station の構成モードが開始します。





ターミナルのスタートアップ時の動作を変更するには、Terminal Settings を押して Startup Options を選択します。以下のオプションのいずれかを設定できます。

- FactoryTalk View Machine Edition HMI アプリケーションを起動する。
- FactoryTalk View ME Station の構成モードで起動する（デフォルト）。
- Windows デスクトップを起動する。

**ヒント** ターミナルは、最初は、デスクトップへのアクセスが無効な状態出荷されます。デスクトップへのアクセスを許可するようにターミナルを構成することもできます。

起動オプションの変更およびデスクトップへのアクセスについては、[48 ページの「起動オプションの構成」](#)を参照してください。

## ターミナルのリセット

電源を切断して再投入せずにターミナルをリセットする場合は、以下の方法があります。

- FactoryTalk View ME Station の構成モードで、Reset をタップします。
- ターミナルデスクトップの Start メニューで、Programs → Restart System を選択します。
- 以下の手順に従って、Maintenance Mode にアクセスします。
  - a. USB キーボードを差し込みます。
  - b. ターミナルの起動時に左下隅に表示される白いボックスをしばらく押します。

メンテナンスモードからターミナルをリセットする方法については、[144 ページの「メンテナンスモードでの操作」](#)を参照してください。

**Notes:**

## ターミナル設定の構成

項目	参照ページ	項目	参照ページ
FactoryTalk View ME Station	39	ディスプレイ設定	59
ターミナル設定	41	入力機器の設定	60
ソフトキーボード	42	印刷オプションの構成	63
アプリケーションのロードと実行	43	診断の構成	65
デスクトップアクセス	44	アプリケーションファイルの整合性チェック	66
起動オプションの構成	48	システム・イベント・ログの表示とクリア	67
コントローラアドレスの構成	51	アラームディスプレイの有効 / 無効	68
イーサネット 設定の構成	51	システム情報の表示	68
ターミナルのデバイス名の変更	56	時刻と日付の設定	71
ターミナルでのファイルのコピー	56	地域の設定	73
ターミナルからのファイルの削除	58		

### FactoryTalk View ME Station

FactoryTalk View ME Station は、ターミナルのランタイム環境です。この環境では、起動オプションの構成、HMI アプリケーションのロードと実行、ターミナル設定の調整、Windows デスクトップへのアクセス、およびその他のターミナル操作の実行を行なうことができます。

ターミナルをリセットすると、構成済みの起動オプションに応じて、以下の動作のうちのいずれか 1 つが実行されます。

- FactoryTalk View ME Station が、構成モードで起動する。これが初期設定です。
- FactoryTalk View ME .mer アプリケーションが実行される。
- Windows デスクトップが起動する。

#### 重要


- ターミナル上の HMI アプリケーションから構成モードにアクセスするには、Goto Configuration Mode を押します。このボタンは、アプリケーションの開発中に FactoryTalk View Studio ソフトウェアのアプリケーション画面に追加されます。アプリケーションは実行を停止しますが、引き続きロードされた状態です。
- お使いのアプリケーションに Goto Configuration Mode ボタンがない場合に構成モードにアクセスする方法については、[49ページの「起動時の構成モードの実行」](#)を参照してください。
- Windows デスクトップから構成モードにアクセスするには、FTViewME Station アイコン  をダブルクリックします。

図 7- FactoryTalk View ME Station ダイアログボックス

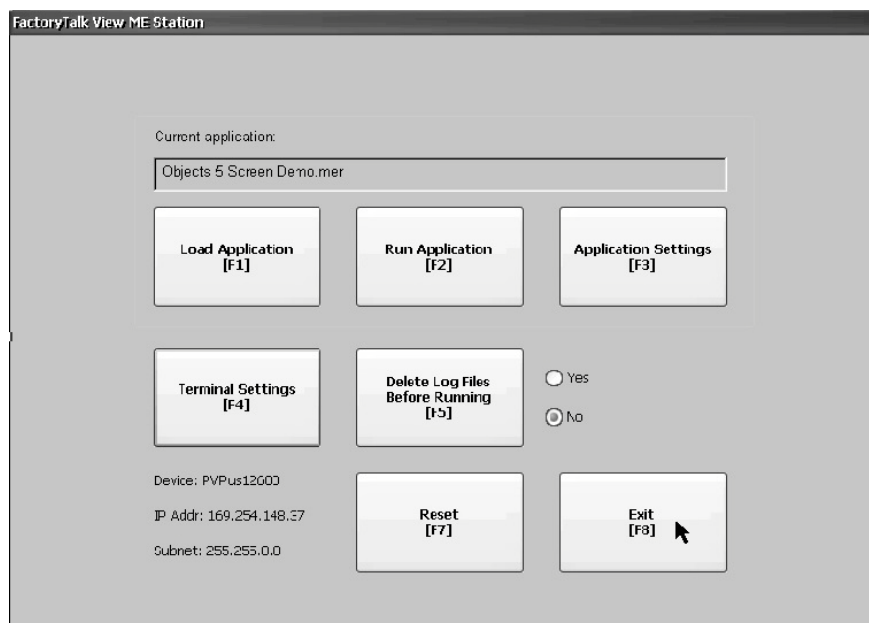


表 18- ターミナルの操作

押す項目	機能
Load Application (F1)	デバイスにロードする .mer アプリケーションを選択するためのダイアログボックスを開く。アプリケーションは、ロードしないと実行できない。 ロードされたアプリケーションの名前が、Current Application の下に表示される。
Run Application (F2)	現在ターミナルにロードされている .mer アプリケーションを実行する。
Application Settings (F3)	ロードされている .mer アプリケーションに対して定義されたデバイスショートカットなど、アプリケーション固有の設定メニューを開く。デバイスショートカットは、読み取り専用。 例えば、CLX は ControlLogix コントローラのデバイスショートカット。
Terminal Settings (F4)	ターミナル設定を変更するためのオプションのメニューを開く。
Delete Log Files Before Running (F5)	Yes と No を切替える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>アプリケーションを実行する前に、すべてのデータ・ログ・ファイル、アラーム履歴、およびアラーム・ステータス・ファイルを削除するには、Yes を選択する。</li> <li>ログファイルを削除せずにアプリケーションを実行するには、No を選択する。</li> </ul>
Reset (F7)	ターミナルをリセットし、HMI アプリケーション、FactoryTalk View ME Station ソフトウェア、または Windows デスクトップを起動する。どの動作が起きるのかは、構成された起動オプションに応じて異なる。
Exit (F8)	FactoryTalk View ME Station を終了する。デスクトップへのアクセスが許可されている場合は、デスクトップにアクセスできる。
Device, IP Address, Subnet (表示のみ)	接続先イーサネットネットワーク上のターミナルのデバイス名、IP アドレス、およびサブネットを特定する。 ネットワーク情報は、60 秒おきに更新される。ターミナルがネットワークから切り離されている場合、IP アドレスとサブネットは 0.0.0.0 と表示される。

**ヒント** キーパッドとタッチスクリーンがあるデバイスでは、ファンクションキーを押すかスクリーンボタンにタッチして、操作にアクセスできます。例えば、2711P-B7C22D9P では、F4 ファンクションキーを押すかスクリーンボタンにタッチして、ターミナル設定にアクセスできます。

# ターミナル設定

ターミナルには、アプリケーションに固有のものではない、調整可能な設定があります。

1. FactoryTalk View ME Station ダイアログボックスから Terminal Settings を押します。



2. 上 / 下カーソルを使って、オプションを選択します。

- タッチ・スクリーン・ターミナルで、上/下カーソルにタッチします。
- キーパッドターミナルでは、キーパッド上の対応するキーを押します。



3. [Enter] キーを押して、選択した機能にアクセスします。

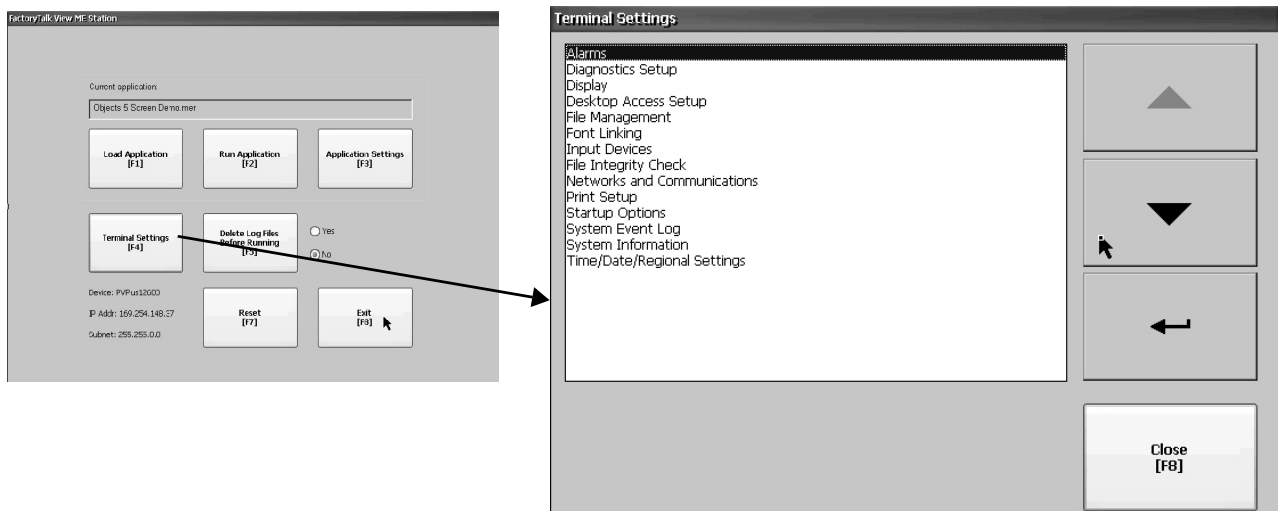


表 19 - ターミナル設定

選択するオプション	目的
Alarms	最新のアラームがオペレータによって確認されたときにターミナルのアラームディスプレイを閉じる。デフォルトでは、アラームディスプレイが閉じられる。
Diagnostics Setup	診断メッセージをリモートのログ出力先から、診断を実行中のコンピュータへ転送する。
Display	ディスプレイ輝度の調整、スクリーンセーバの構成、タッチスクリーンのカーソルの有効 / 無効を切り換える。
Desktop Access Setup	デスクトップへのアクセスの許可 / 制限、デスクトップパスワードの設定またはリセットを行なう。
File Management	アプリケーションファイルおよびフォントファイルをターミナル、SD カード、または USB ドライブにコピーする。アプリケーションファイルまたはログファイルを削除することもできる。
Font Linking	フォントファイルをターミナルにロードされている基本フォントにリンクさせる。
Input Devices	タッチスクリーンのキャリブレーションをはじめとして、キーパッド、接続されたキーボード、マウス、またはタッチスクリーンの設定を構成する。また、文字列入力用にポップアップ形式文字入力またはポップアップ形式キーボードのいずれかを選ぶこともできる。
File Integrity Check	詳細情報をファイル整合性チェックログに記録することで、.mer アプリケーションファイルおよびランタイムファイルの整合性をチェックする。このログはいつでも表示 / クリアできる。
Networks and Communications	アプリケーションの Ethernet およびその他の通信設定を行なう。
Print Setup	ディスプレイ、アラームメッセージ、またはアプリケーションによって生成された診断メッセージを印刷するための設定を構成する。
Startup Options	ターミナルの起動時にデスクトップ、アプリケーション、および FactoryTalk View ME Station 構成モードのうち、どれを起動するのかを指定する。
System Event Log	ターミナルによってログに記録されたシステムイベントを表示し、ログからイベントをクリアする。
System Information	ターミナルの電源、温度、バッテリー、およびメモリに関する詳細情報を表示する。FactoryTalk View ME Station およびターミナルにロードされたその他のソフトウェアのファームウェアリビジョンを表示することもできる。テクニカルサポート向け情報。
Time/Date/Regional Settings	ターミナルとアプリケーションで使用する日付、時刻、言語、および数字形式を設定する。

## ソフトキーボード

データ入力フィールドを有効にすると、キーボードが開きます。数値のみを受付けるフィールドの場合、0～9と小数点が有効です。

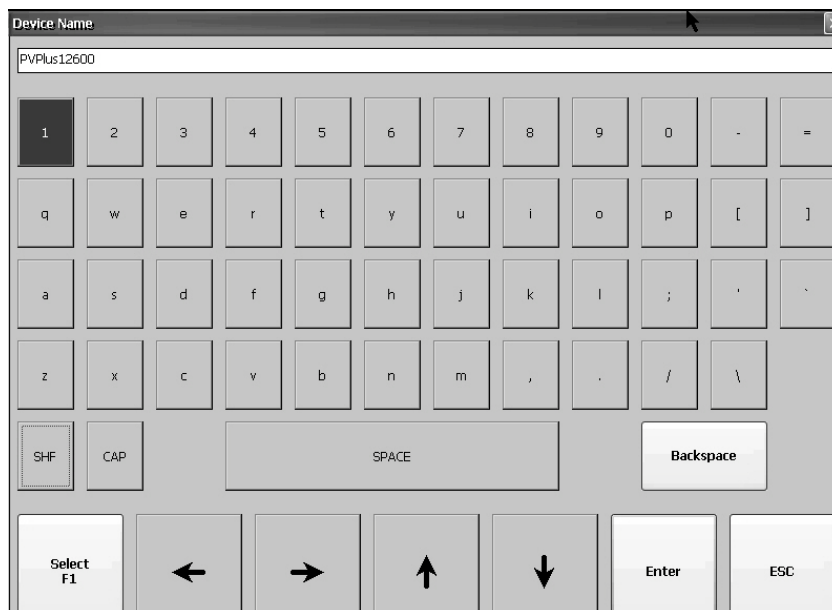


表 20-ソフト・キーボード・コントロール

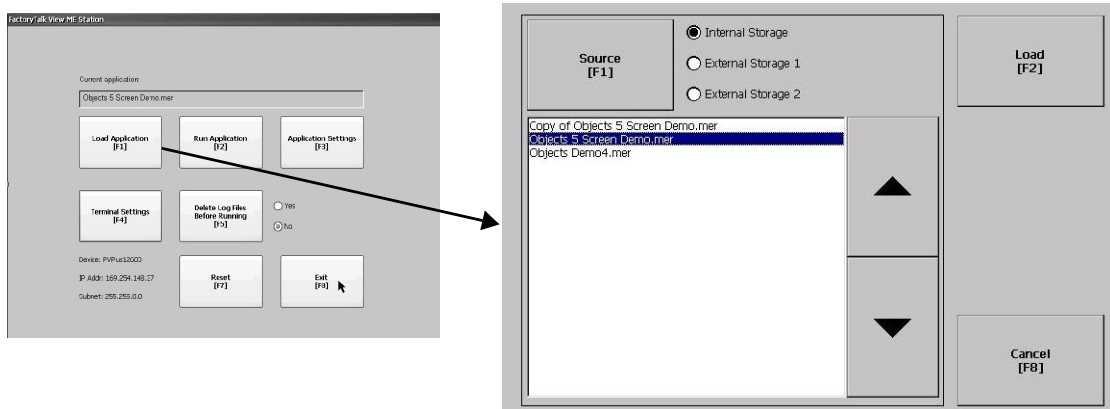
選択するキー	機能
SHF	キーのシフトされた状態とシフトされていない状態を切替える。
CAP	小文字と大文字を切替える。
SPACE	表示領域で文字と文字の間にスペースを入力する。
Backspace	表示領域で(カーソルの左側にある)直前の文字を削除する。
Select	文字を選択して、表示領域にその文字を入力する。
左、右、上、下矢印	現在選択されている文字の左、右、上、下側の文字を選択する。
Enter	入力された文字を受入れて、直前のダイアログボックスに戻る。
ESC	現在の操作をキャンセルして、直前のダイアログボックスに戻る。

以下の手順に従って、キーボードの上にある表示領域に文字を入力してください。

1. キーボードで文字を選択します。
  - タッチ・スクリーン・ターミナルでは、キーにタッチします。
  - キーパッドターミナルでは、矢印キーを押してキーに移動します。
2. Select を押して、その文字を表示領域にコピーします。
3. 完了したら [Enter] キーを押して、キーボードを終了します。

## アプリケーションのロードと実行

ターミナルで FactoryTalk View ME .mer アプリケーションを実行するには、そのアプリケーションをまずロードしなければなりません。アプリケーションは、ターミナルの内蔵ストレージ（不揮発性メモリ）、SD カード、または USB ドライブからロードできます。



以下の手順に従って、ターミナルにアプリケーションをロードして実行してください。

1. FactoryTalk View ME Station ダイアログボックスから Load Application を押します。
2. Source を押して、ロードするファイルの場所を選択します。
  - Internal Storage – ターミナルの不揮発性メモリ
  - External Storage 1 – カードスロットに装着された SD カード
  - External Storage 2 – USB ホストポートに接続された USB ドライブ

**ヒント** ターミナル上の Machine Edition ファイルのパスは、My Device\Application Data\Rockwell Software\RSViewME\Runtime です。

SD カードまたは USB ドライブ上の Machine Edition ファイルのパスは、\Rockwell Software\RSViewME\Runtime です。

3. 上 / 下カーソルキーを使ってリストから .mer ファイルを選択します。
4. Load を押して、選択したアプリケーションをロードします。

ターミナルの現在の通信設定をアプリケーションで定義された設定に置換えるかどうかを確認するメッセージが表示されます。

5. Yes または No を選択します。
  - アプリケーションの通信設定を使用する場合は、Yes を選択します。ターミナル向けに構成された通信設定が、アプリケーション設定に置換えられます。
  - ターミナルの通信設定を使用する場合は、No を選択します。

アプリケーションがロードされ、アプリケーション名が、FactoryTalk View ME Station ダイアログボックスの上部に表示されます。

6. FactoryTalk View ME Station ダイアログボックスの Run Application を押して、ロードしたばかりのアプリケーションを実行します。

**ヒント** アプリケーションがログファイルを生成します。アプリケーションを実行する前に、FactoryTalk View ME Station ダイアログボックスからログファイルを削除できます。ターミナルでメモリを解放するには、ログファイルを削除します。

起動時またはリセット時に自動的に実行されるようにアプリケーションを設定するには、[50 ページの「起動時のロード済みアプリケーションの実行」](#)を参照してください。

## デスクトップ アクセス

ターミナルでのデスクトップアクセスを許可または制限できます。デスクトップでは、システムの操作やコントロールパネルの操作を実行したり、ファイルビューア、Web ブラウザ、およびメディアプレイヤーを使用したりできます。また、一時的にアクセスを許可した後で、許可されていない変更を防ぐためにデスクトップへのアクセスを無効にすることができます。

**ヒント** ターミナルは、デスクトップへのアクセスが無効な状態で工場から出荷されます。

アクセスが制限されている場合は、パスワードを入力する以外に、デスクトップへアクセスする方法はありません。どのターミナルにも、デフォルトのパスワードとユーザ確認のための質問があります。

デフォルトパスワード資格情報	値
Password	password(大文字と小文字が区別される)
ユーザ確認のための質問	What is the opposite of lock?
ユーザ確認のための回答	unlock(大文字と小文字が区別される)

**ヒント** Rockwell Automation では、デフォルトのパスワードおよびユーザ確認のための質問と回答をお使いのインストール環境に特有のものに変更することをお奨めします。

## デスクトップへのアクセスの有効

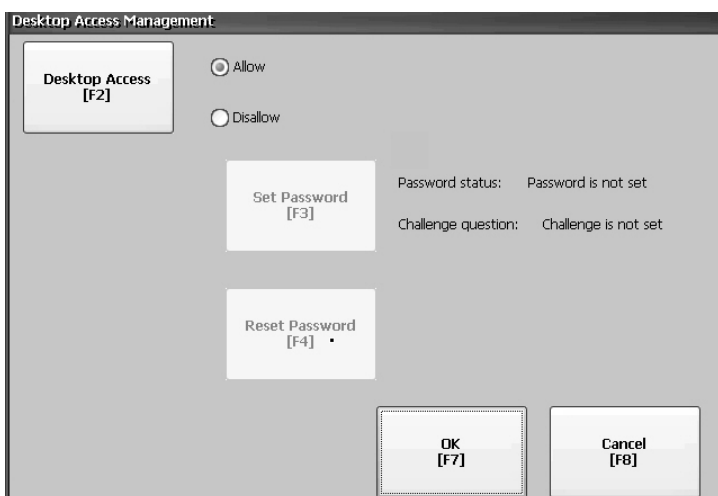
以下の手順に従って、デスクトップへのアクセスを有効にしてください。

1. Terminal Settings を押してから、Desktop Access Setup を選択します。
2. Desktop を押して、Allow を選択します。

Enter Password ダイアログボックスが表示されます。

デスクトップアクセスを Disallow (許可しない) から Allow (許可する) に変更するたびに、最初にパスワードを入力しなければなりません。初期設定のパスワードは「password」です。

3. Password を押してパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。
4. もう一度 [Enter] キーを押して、Desktop Access Management に戻ります。



パスワードが設定されていないことに注意してください。



5. OKを押して Desktop Access Management を終了し、Closeを押してターミナル設定を閉じて、FactoryTalk View ME Station ダイアログボックスに戻ります。
6. Exitを押して、デスクトップにアクセスします。  
デスクトップアクセスが有効の場合、パスワードの入力を求められることはありません。

## デスクトップへのアクセスの無効

**重要** デスクトップアクセスを制限するには、起動オプションを Go to Configuration Mode または Run Current Application のどちらかに設定しなければなりません。詳細は、[48ページ](#)を参照してください。

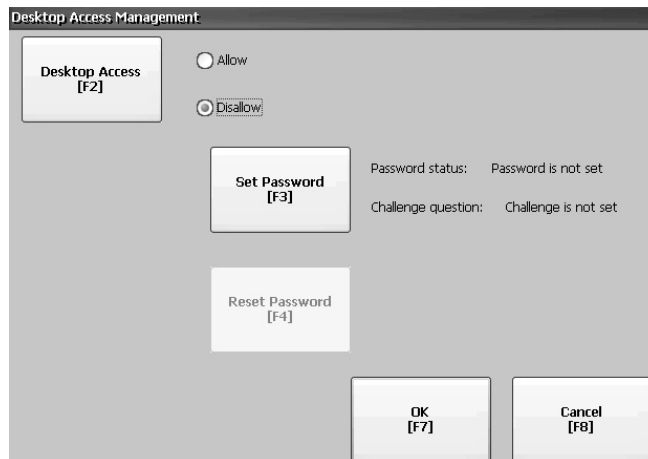
デスクトップアクセスを制限するには、デスクトップパスワードとユーザ確認のための質問を定義する必要があります。

- パスワードを使用すると、Exitを押して FactoryTalk View ME Station からデスクトップにアクセスできます。
- ユーザ確認のための質問と回答を使用すると、Reset 機能によりパスワードを変更できます。

以下の手順に従って、デスクトップへのアクセスを無効にしてください。

1. Terminal Settings を押してから、Desktop Access Setup を選択します。
2. Desktop Access を押して、Disallow を選択します。

Set Password ボタンが有効になります。



**重要** エラーメッセージが表示された場合、起動オプションを Go to Configuration Mode または Run Current Application に変更できます。Startup Options が Do not start FactoryTalk View ME Station に設定されている場合、デスクトップアクセスを制限できません。

3. 新しいパスワードとユーザ確認のための質問を定義するには、[46ページ](#)の「[デスクトップのパスワードの設定](#)」を参照してください。

## デスクトップのパスワードの設定

**重要** デスクトップへのアクセスを制限するときは、新しいパスワードとユーザ確認のための質問を定義しなければなりません。

以下の手順に従って、新しいデスクトップパスワードを定義してください。

1. Set Password を押します。

Desktop Access Set Password ダイアログボックスが表示されます。

2. Set Password を押して、8 ～ 20 文字のパスワードを入力してから、[Enter] キーを押します。

**重要** ユーザは、デスクトップにアクセスする前に、このパスワードを正確に入力する必要があります。

3. Set Challenge を押して、デスクトップパスワードをリセットするときに正しく回答しなければならないユーザ確認のための質問を入力します。
4. Set Response ボタンを押して、ユーザ確認のための質問に対する回答を入力してから、[Enter] キーを押します。
5. OK を押します。

Desktop Access Management ダイアログに、パスワードとユーザ確認のための質問が設定されたことが表示されます。

6. OK を押して、ターミナル設定に戻ります。

**重要** 将来使うために、パスワードとユーザ確認のための質問を安全で確実なものにしてください。パスワードをクリアして再設定するには、ユーザ確認のための質問に正しく回答する必要があります。回答を忘れた場合は、ターミナルを元の工場出荷時の初期設定に戻す以外に、パスワードをクリアする方法はありません。[144 ページの「Factory default \(工場出荷時の設定\)」](#)を参照してください。

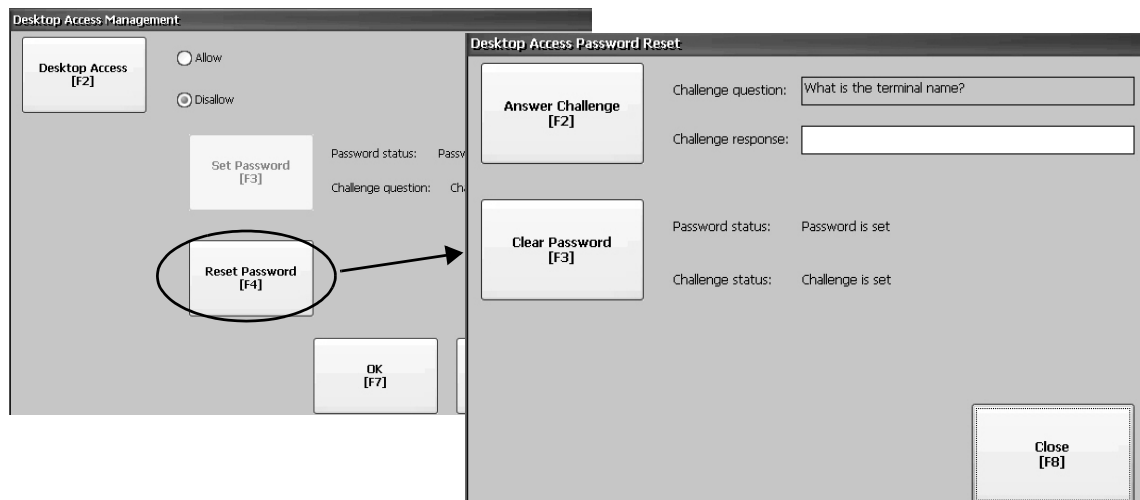
## デスクトップのパスワードの再設定

現行のパスワードをクリアして変更するには、現在のユーザ確認のための質問に正しく回答する必要があります。回答を覚えていない場合は、ターミナルを工場出荷時の初期設定に戻す必要があります。[144ページの「メンテナンスモードでの操作」](#)を参照してください。

**重要** デスクトップへのアクセスが制限されている、つまり、許可しないように設定されている場合は、パスワードとユーザ確認のための質問をリセットできます。

以下の手順に従って、デスクトップパスワードをリセットしてください。

1. Desktop Access Management ダイアログボックスで、Reset Password を押します。



2. Answer Challenge を押して、現行のユーザ確認のための質問に対する正しい回答を入力します。
3. Clear Password を押して、現行のパスワードとユーザ確認のための質問をクリアします。

ダイアログボックスにパスワードとユーザ確認のための質問の更新されたステータスが表示されます。

4. Close を押します。
5. 新しいパスワードとユーザ確認のための質問を設定するには、[46ページの「デスクトップのパスワードの設定」](#)を参照してください。

パスワードを消去した後は、新しいデスクトップパスワードを設定するか、許可するデスクトップへのアクセスを変更する必要があります。

## 起動オプションの構成

起動時またはリセット時のターミナルの動作を指定できます。

起動オプション	実行される動作	標準システム
Do not start FactoryTalk View ME Station	起動時に Windows デスクトップを起動する。	オープン
Go to Configuration Mode	起動時に FactoryTalk View ME Station の構成モードで起動する。これが工場出荷時の初期設定。	クローズド
Run Current Application	起動時に、ターミナルにロードされている FactoryTalk View ME アプリケーションを実行する。	クローズド

**重要** デスクトップへのアクセスが制限されている場合、起動オプションは Run Current Application または Go to Configuration Mode（デフォルト）に設定されなければなりません。デスクトップアクセスを許可または制限する方法については、[44ページ](#)を参照してください。

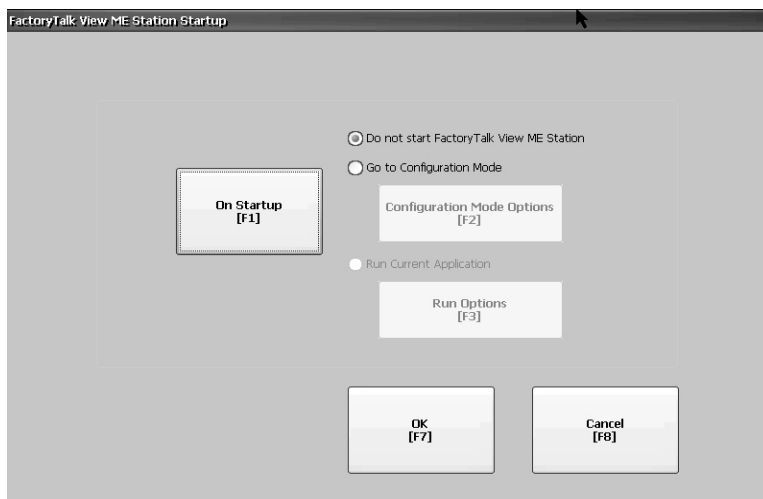
## 起動時の FactoryTalk View ME Station の無効

起動時にデスクトップを起動するには、FactoryTalk View ME Station を無効にしなければなりません。

**ヒント** FactoryTalk View ME Station ダイアログボックスで Exit を押して、デスクトップを起動することもできます。

以下の手順に従って、起動時に FactoryTalk View ME Station を無効にしてください。

1. Terminal Settings を押してから、Startup Options を選択します。



2. 「Do not start FactoryTalk View ME Station」が選択されるまで、Startup を押します。

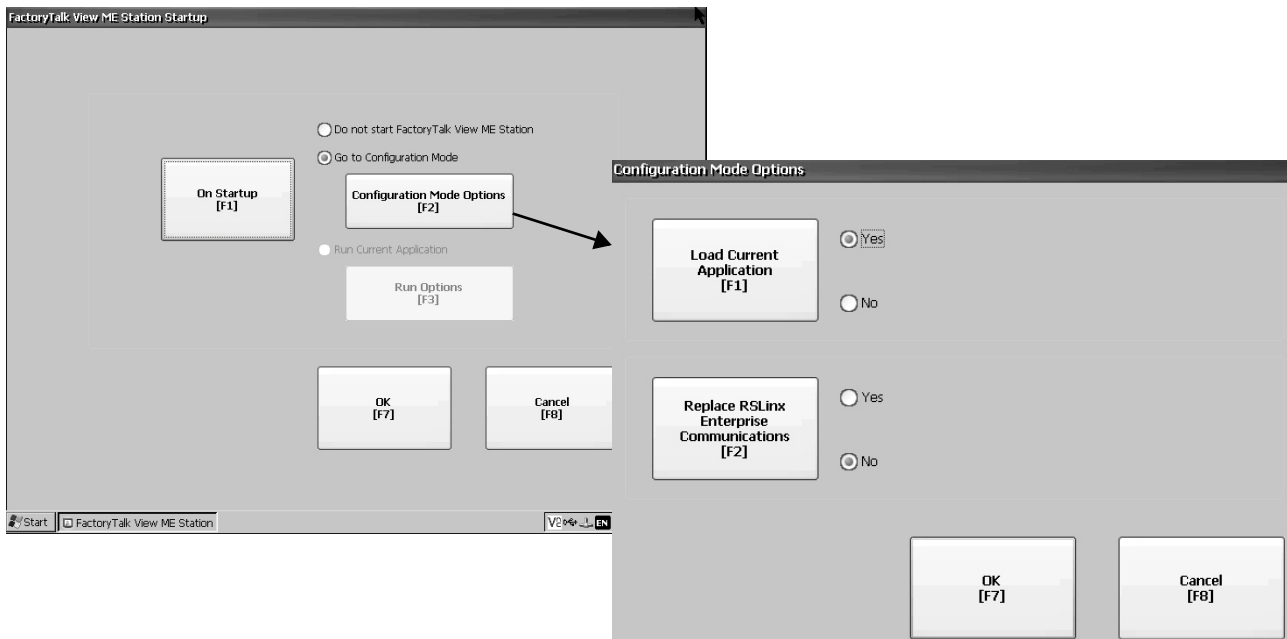
**ヒント** デスクトップアクセスを許可するように設定しなければなりません。そうしないと、警告を受けます。[44ページ](#)の「[デスクトップへのアクセスの有効](#)」を参照してください。

3. OK を押します。

## 起動時の構成モードの実行

以下の手順に従って、起動時に FactoryTalk View ME Station を構成モードで起動してください。

1. Terminal Settings を押してから、Startup Options を選択します。
2. On Startup を押して Go to Configuration Mode を選択します。
3. Configuration Mode Options を押して、オプション設定を表示または変更します。



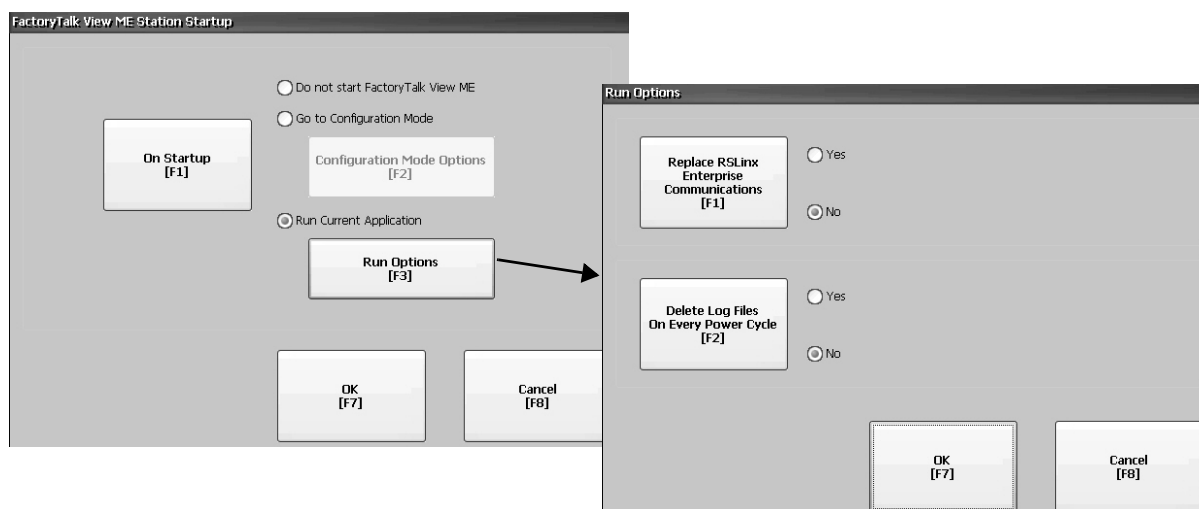
4. Load Current Application を押して、起動時に現在のアプリケーションをロードするかどうかを指定します。
5. Replace RSLinx Enterprise Communications を押して、ロードされたアプリケーションの実行時に使用する構成設定を指定します。
  - ターミナルでRSLinx通信設定を使用する場合は、Noを選択します。
  - ターミナル設定をアプリケーションの通信設定に置換えるには、Yes を選択します。ターミナル上の RSLinx デバイスのアドレスまたはドライバのプロパティに加えた変更は、すべて失われます。
6. OK を押して直前のダイアログボックスに戻ります。
7. OK を押して、ターミナル設定に戻ります。

## 起動時のロード済みアプリケーションの実行

以下の手順に従って、ターミナルにロードされている FactoryTalk View .mer アプリケーションを起動時に実行してください。

1. Terminal Settings を押してから、Startup Options を選択します。
2. On Startup を押して Run Current Application を選択します。
3. Run Options を押して、オプション設定を表示または変更します。

アプリケーションがロードされていない場合、これらのオプションは無効になっています。



4. Replace RSLinx Enterprise Communications を押して、アプリケーションの実行時に使用する構成設定を指定します。
  - ターミナルでRSLinx通信設定を使用する場合は、Noを選択します。
  - ターミナル設定をアプリケーションの通信設定に置換えるには、Yes を選択します。ターミナル上の RSLinx デバイスのアドレスまたはドライバのプロパティに加えた変更は、すべて失われます。
5. Delete Log Files On Every Power Cycle を押して、起動時のログファイルに対する処理を指定します。
  - アプリケーションを実行する前に、ターミナルで生成されたすべてのログファイル（データ、アラーム履歴、アラームステータス）を削除する場合は、Yes を選択します。ファイルがシステムデフォルトの場所から削除されます。
  - すべてのログファイルを保持する場合は No を選択します。
6. OK を押して直前のダイアログボックスに戻ります。
7. OK を押して、ターミナル設定に戻ります。

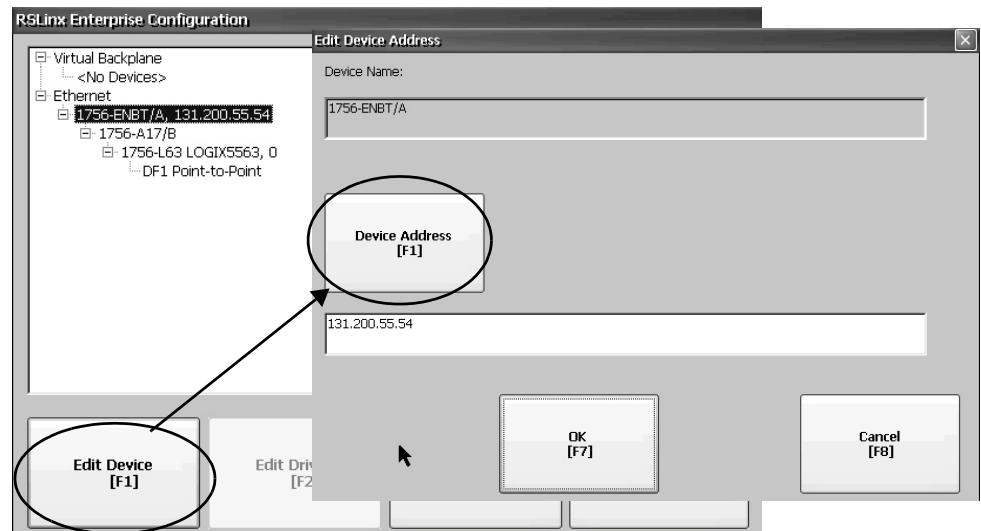
## コントローラ アドレスの構成

RSLinx Enterprise ソフトウェアを使用すると、ご使用のアプリケーションとコントローラの通信情報を構成できます。

**ヒント** また、ご使用のアプリケーションとコントローラの通信情報は、FactoryTalk View Studio ソフトウェアを使用して構成することもできます。

以下の手順に従って、コントローラのデバイスアドレスを編集してください。

1. Terminal Settings を押してから、Networks and Communications → RSLinx Enterprise Communications の順に選択します。



2. ツリー内のコントローラを選択します。
3. Edit Device を押して、デバイス名と現アドレスを表示します。
4. アドレスを変更するために Device Address を押します。  
現アドレスが表示された入力パネルが開きます。
5. アドレスを入力パネルに入力し、[Enter] キーを押します。
6. OK を押します。

最新の設定は、ターミナルが再起動されるまでは有効になりません。

## イーサネット 設定の構成

ターミナルにはイーサネットドライバが組み込まれています。お使いのデバイスの以下のイーサネット情報を変更できます。

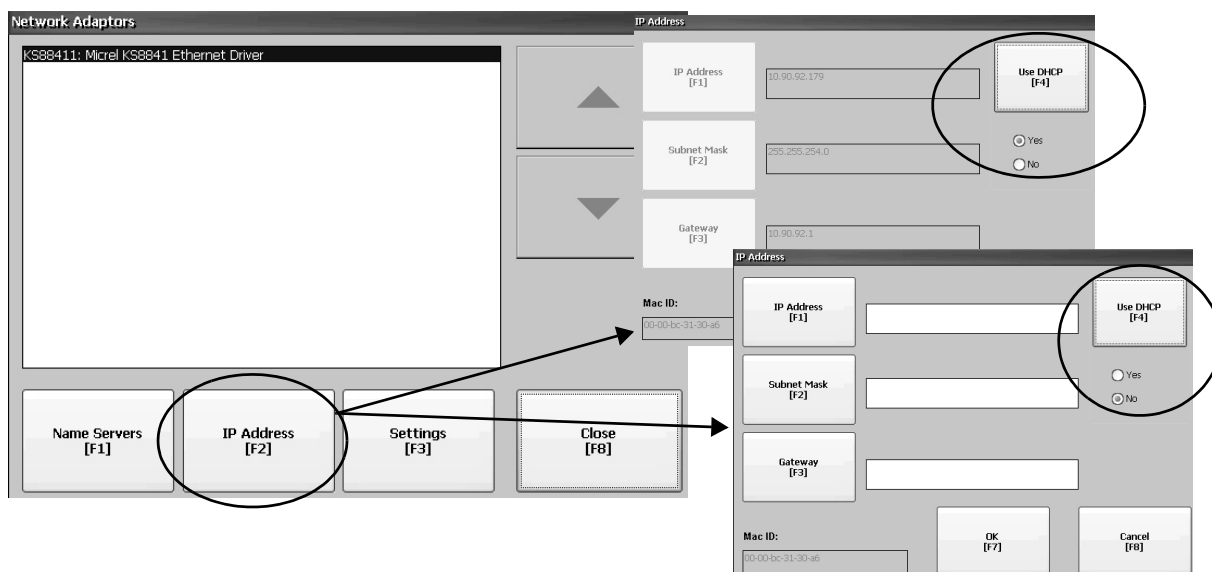
- ネットワーク上のターミナルの IP アドレス（リンク速度を含む）
- ネットワーク上でターミナルを識別するデバイス名
- ネットワークリソースにアクセスするためのユーザ名とパスワード
- いずれかのイーサネットポートを DLR、スター、またはリニア・ネットワーク・トポロジ向けに構成することを有効または無効にする。

## ターミナルのイーサネットアドレスの設定

一部のネットワークでは、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) が有効になっている場合に、IP アドレスが自動的にイーサネットデバイスに割付けられます。DHCP が無効になっている場合は、IP アドレスを手動入力できます。

以下の手順に従って、ターミナルの IP アドレスを表示するか、入力してください。

1. Terminal Settings を押してから、Networks and Communications → Network Connections → Network Adapters の順に選択します。



2. IP Address を押して IP アドレスを表示または変更します。
3. Use DHCP を押して、アドレスの DHCP 割付けを有効または無効にします。
  - DHCP が有効になっている、つまり、Yes に設定されている場合は、ネットワーク上の新たに接続されたデバイスに IP アドレスが自動的に割付けられます。
  - DHCP が無効になっている、つまり No に設定されている場合は、IP アドレスを手動入力できます。IP Address、Subnet Mask、および Gateway を押して、IP 形式のアドレスを入力します。

- ヒント**
- IP Address — IP アドレスの形式は、xxx.xxx.xxx.xxx です。例えば、10.90.95.15 です。最初の 10 進数のセットの範囲は、1 ~ 255 です。最後の 3 つのセットの範囲は、0 ~ 255 です。デフォルトは 000.000.000.000 です。
  - Subnet Mask — アドレスはサーバのサブネットマスクと同一でなければなりません。
  - Gateway — オプションのアドレス
  - MAC ID — 読取り専用フィールド



## 4. 完了したら OK を押します。

メッセージが表示されたら、FactoryTalk View ME Station ダイアログボックスでデバイスをリセットしてください。

## 5. Close を押します。

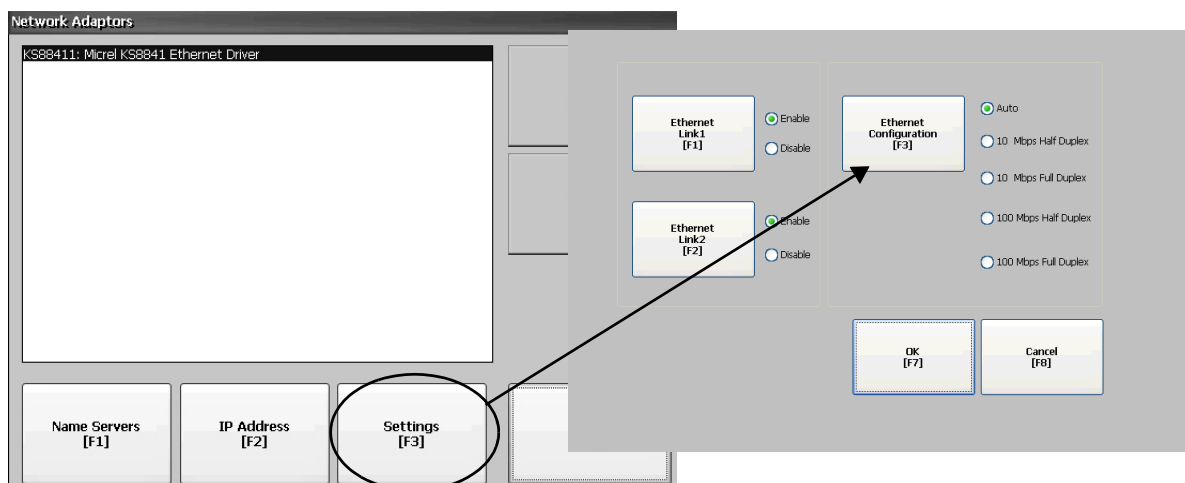
## イーサネットリンク速度の設定

イーサネットネットワークでデータが転送される速度とモードを変更できます。デフォルト設定は、AUTO です。AUTO オプションでは、ローカルネットワーク上での速度と一致するようにデバイスの速度が自動的に構成されます。

**ヒント** Auto オプションを使用することをお奨めします。これは、イーサネットネットワークに接続されているデバイスの実際の速度と二重設定を判断してくれます。

手動オプションを選択した場合、イーサネットネットワークに接続されているデバイスの実際の速度と二重設定が、同じであることを確認してください。そうしないと、ネットワークパフォーマンスが低下したり、エラーが発生したりします。

1. Terminal Settings を押してから、Networks and Communications → Network Connections → Network Adapters の順に選択します。

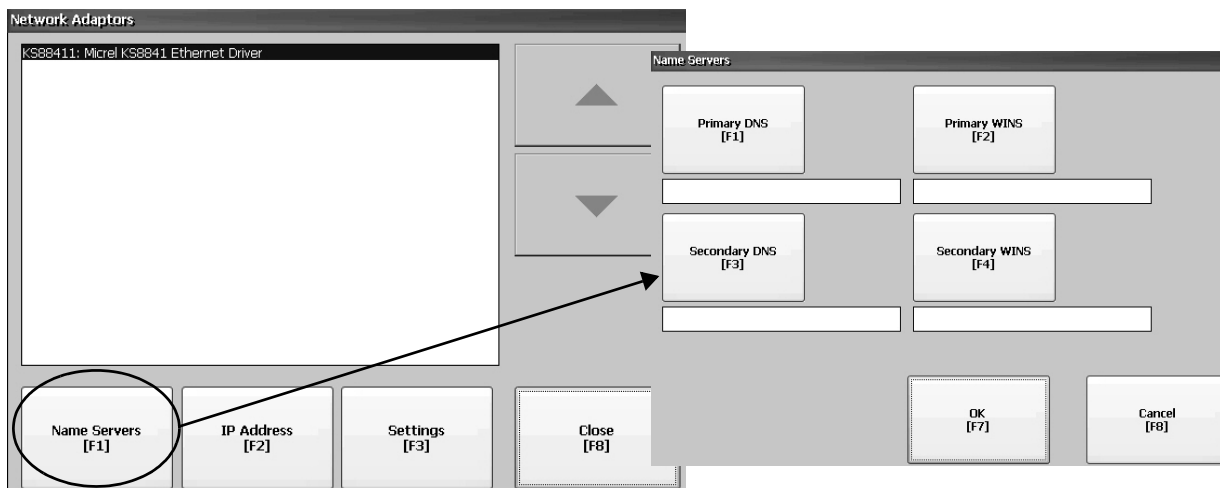


2. Settings を押して、イーサネットリンク設定にアクセスします。
3. Ethernet Configuration を押して、データがイーサネットネットワークを介して転送される速度を変更します。
4. OK を押して、Network Adapters ダイアログボックスに戻ります。

## ネーム・サーバ・アドレスの定義

EtherNet/IP ネットワーク・アダプタに対して、ネーム・サーバ・アドレスを定義できます。DHCP がそのアダプタに対して有効になっている場合、これらのアドレスは自動的に割付けられます。

1. Terminal Settings を押してから、Networks and Communications → Network Connections → Network Adapters の順に選択します。

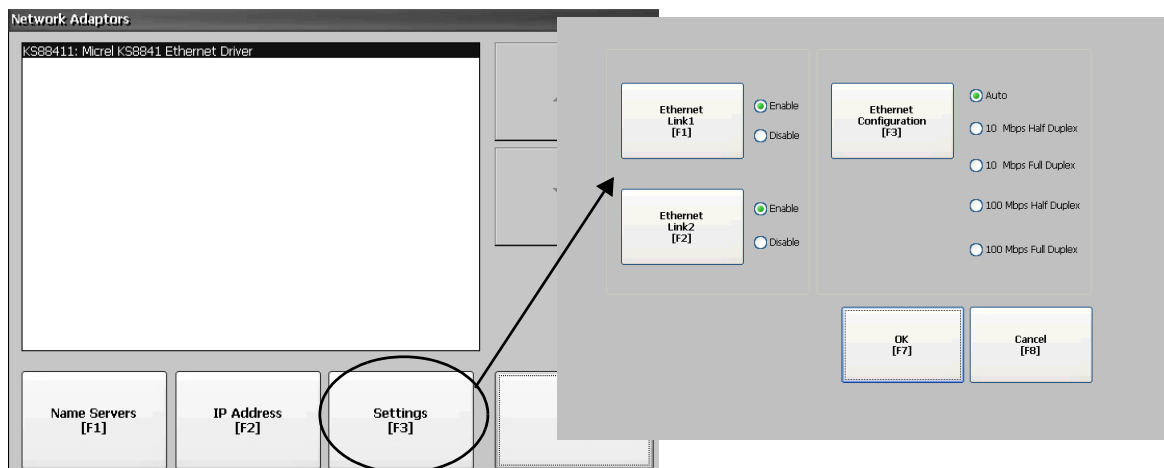


2. Name Servers を押します。
3. ボタンを押して、対応するネーム・サーバ・アドレスを入力します。
4. 完了したら OK を押します。

## イーサネットポートの構成

以下の手順に従って、ターミナルのイーサネットポートを構成してください。

1. Terminal Settings を押してから、Networks and Communications → Network Connections → Network Adapters の順に選択します。
2. Settings を押して、イーサネットリンク設定にアクセスします。
3. Ethernet Link1 と Ethernet Link2 を押して、ネットワーク構成で使用するポートの有効と無効を切替えます。



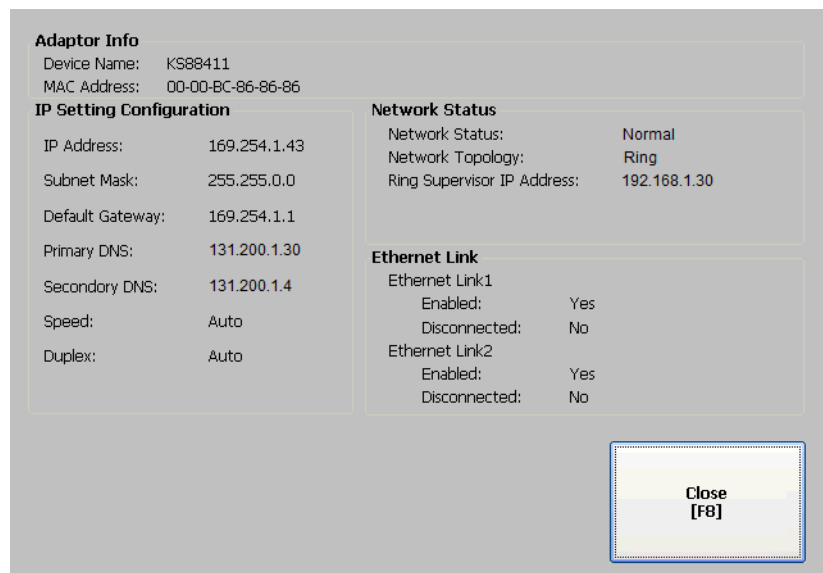
4. Ethernet Configuration を押して、Auto を選択します。
5. OK を押して、構成を保存します。
6. ターミナルを再起動して、変更内容を反映させます。

閉じたシステムについては、イーサネットポートをシステムデフォルトとして構成することもできます。[109 ページの「イーサネットポートの構成」](#)を参照してください。

## ネットワーク診断データの表示

以下の手順に従って、ネットワークデータを表示してください。

1. Terminal Settings を押してから、Networks and Communications → Network Connections → Network Adapters → Network Diagnostics の順に選択して、ネットワークデータを表示します。



以下の表に、Network Status テキストについて説明します。

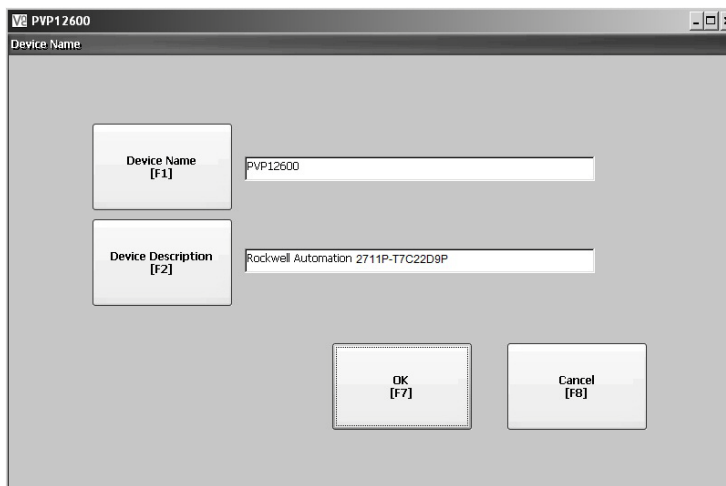
ステータステキスト	説明
Network Status	
Normal	ネットワークトポロジが Linear/Star (リニア / スター) の場合、ネットワークステータスは常に正常です。
Ring Fault	致命的ではないエラー状態が存在している。
Loop Detected	この値が発生するのは、Linear/Star (リニア / スター) トポロジのみ。これは、ネットワークで予期しないループが生じたときに発生する。ターミナルはこの状態を報告できないことがある (ターミナルは自身が送信したフレームを検出できないことがある)。
Network Topology	ネットワーク構成を Linear/Star (リニア / スター) または Ring (リング) として識別する。

2. Close を押して、Network Diagnostic データを閉じます。

## ターミナルの デバイス名の変更

各ターミナルは、ネットワーク上での自身を識別する固有の名前を持っています。

1. Terminal Settings を押してから、Networks and Communications → Network Connections → Device Name の順に選択します。
2. Device Name を押して、デフォルトのデバイス名を表示または編集します。



**ヒント** デバイス名の長さは、1～15文字です。

- 先頭文字は、小文字または大文字の a～z、A～Z でなければなりません。
- その他の文字には、a～z、A～Z、0～9、または - (ハイフン) を使用できます。

3. Device Description を押して、デバイスの説明を変更します。

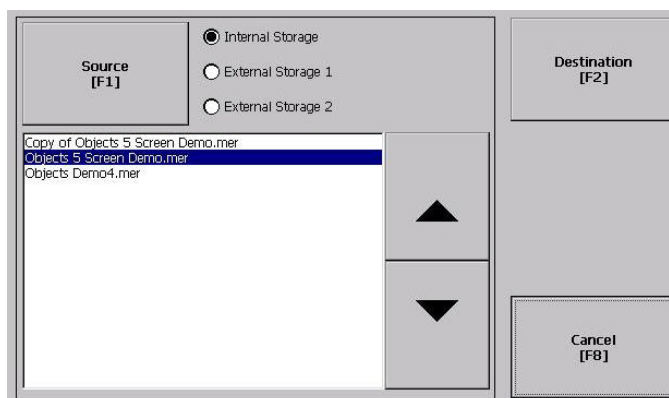
**ヒント** 説明は最大 50 文字です。デフォルトの説明は、Rockwell Automation とデバイスのカタログ番号です。

4. OK を押します。

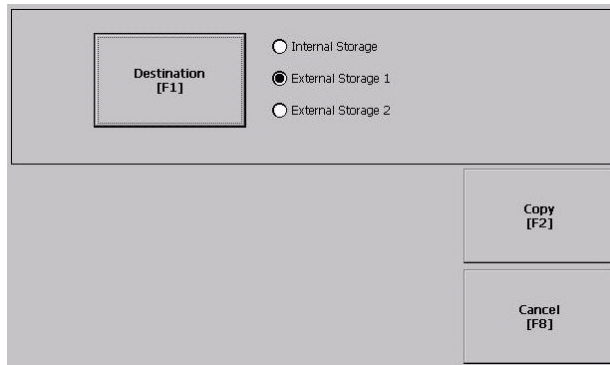
## ターミナルでの ファイルのコピー

FactoryTalk View ME アプリケーションの (.mer) ファイルまたはフォントファイルをターミナルの不揮発性メモリと USB ドライブまたは SD カードの間でコピーできます。

1. Terminal Settings を押してから、File Management → Copy Files → Copy Applications または Copy Fonts の順に選択します。



2. Source を押して、コピーするファイルの場所を選択します。
  - Internal Storage – ターミナルの不揮発性メモリ
  - External Storage 1 – ターミナルのカードスロットに装着された SD カード
  - External Storage 2 – ターミナルの USB ホストポートに接続された USB ドライブ
3. 選択された格納領域について、リストに表示されたファイルを選択します。
4. 同じダイアログボックスの Destination を押します。



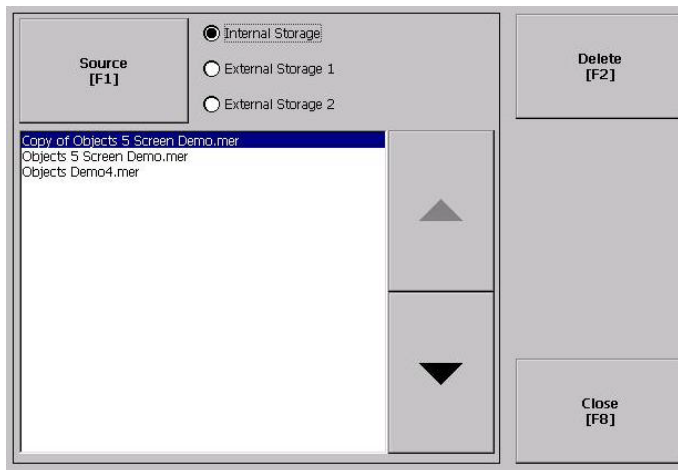
5. Destination を押して、ファイルをコピーする格納場所を選択します。コピー先はコピー元の場所と違ってなければなりません。
6. Copy を押して、選択したファイルをコピー先の場所にコピーします。そのファイルがすでに存在する場合は、そのファイルを上書きしてもよいかどうかを確認するメッセージが表示されます。Yes または No を選択して、返答します。

**ヒント** FactoryTalk View ME Station ソフトウェアは、My Device\Application Data\Rockwell Software\RSViewME\Runtime\ フォルダ内にある .mer ファイルと、\Rockwell Software\RSViewME\Fonts\ フォルダ内にあるフォントファイルを探します。

## ターミナルからの ファイルの削除

ターミナルの不揮発性メモリ、USB ドライブ、または SD カードに存在する FactoryTalk View ME アプリケーションの .mer ファイルまたはフォントファイルを削除することができます。

1. Terminal Settings を押してから、File Management → Delete Files → Delete Applications または Delete Fonts の順に選択します。



2. Source を押して、削除するアプリケーションまたはフォントファイルの格納場所を選択します。
  - Internal Storage – ターミナルの不揮発性メモリ
  - External Storage 1 – ターミナルのカードスロットに装着された SD カード
  - External Storage 2 – ターミナルの USB ホストポートに接続された USB ドライブ
3. 選択された格納領域について、リストに表示されたファイルを選択します。
4. Delete を押します。
5. 選択したアプリケーションまたはフォントファイルを削除するかどうかを確認するメッセージが表示されたら、Yes または No を選択します。

## ログファイルの削除

ログファイル、アラーム履歴ファイル、およびアラーム・ステータス・ファイルをターミナルのシステムデフォルトの場所から削除できます。これらのファイルは、実行時にアプリケーションによって生成されます。

1. Terminal Settings → File Management → Delete Files → Delete Log Files の順に押します。

以下に示すように、ファイルを削除することを確認するメッセージが表示されます。

Do you want to delete all of the FactoryTalk View ME Station Log Files?  
(FactoryTalk View ME Station ログファイルをすべて削除しますか?)

2. Yes または No を選択します。

システムデフォルトの場所がないログファイルは、削除されません。

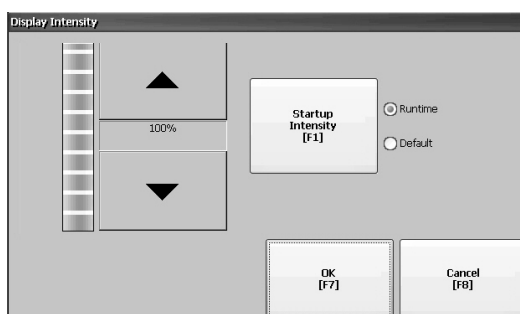
## ディスプレイ設定

ターミナルディスプレイについては、輝度の調節、スクリーンセーバの構成、または画面上のカーソルの有効 / 無効を切替えることができます。

### ディスプレイの輝度の調節

バックライトの輝度を 1 ~ 100% の範囲で 10% 単位で調節できます。0% に設定すると、バックライトの明るさは最低になります。デフォルトの輝度である 100% を使用するか、実行時の操作用に輝度を調節できます。

1. Terminal Settings を押してから、Display → Display Intensity の順に選択します。

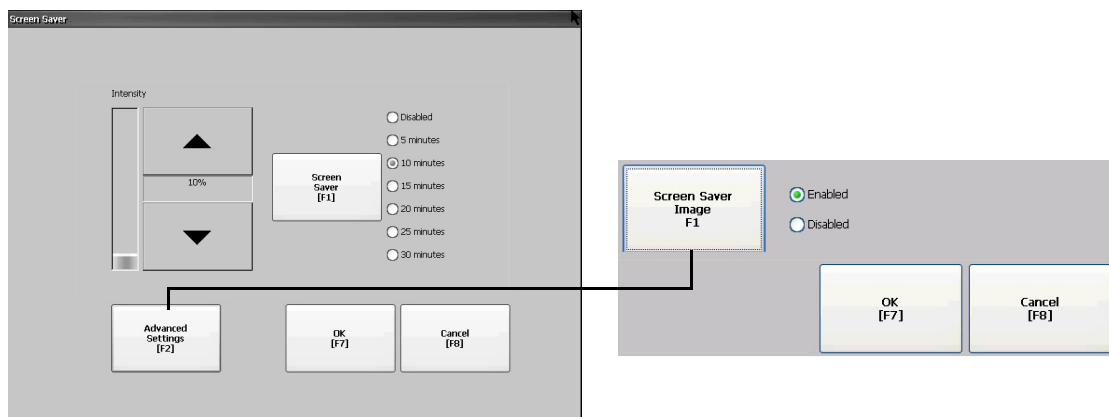


2. Startup Intensity を押して、輝度を Default と Runtime の間で切替えます。
  - Runtime を選択すると、スタートアップ画面では実行時の輝度が使用されます。
  - Default を選択すると、スタートアップ画面ではデフォルト設定である 100% が使用されます。
3. 上 / 下カーソルを押して、実行時の操作用の輝度を増減します。
4. 完了したら OK を押して、変更を保存します。

### スクリーンセーバの構成

指定時間、ユーザ活動が検知されないと、ターミナルディスプレイにスクリーンセーバ画像が表示されます。デフォルトのアイドル時間は 10 分です。スクリーンセーバのアイドル時間と輝度レベルを調節、スクリーンセーバを無効、スクリーンセーバ画像を無効にすることができます。

1. Terminal Settings を押してから、Display → Screen Saver の順に選択します。

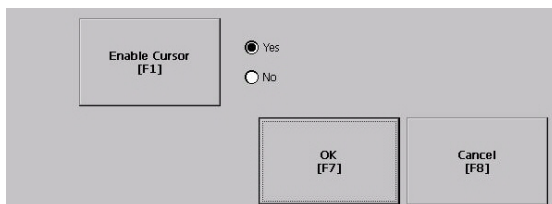


2. Screen Saver を押して、スクリーンセーバをアクティブにするためのアイドル期間を変更します。スクリーンセーバを無効にするには、Disabled を選択します。
3. スクリーンセーバの輝度を増減するには、上/下カーソルを押します。
4. Advanced Settings を押して、スクリーンセーバ画像設定にアクセスします。
  - a. Screen Saver Image を押して、現在のスクリーンセーバを有効または無効にします。スクリーンセーバ画像の変更方法については、[86 ページの「スクリーンセーバ」](#)を参照してください。
  - b. OK を押して、Screen Saver ダイアログボックスに戻ります。
5. OK を押して終了し、ターミナル設定に戻ります。

## 画面上のカーソルの無効

ターミナルには、有効または無効にできる画面上のカーソルがあります。

1. Terminal Settings を押してから、Display → Cursor の順に選択します。



2. Enable Cursor を押して、カーソルを有効または無効にします。
3. OK を押して終了し、ターミナル設定に戻ります。

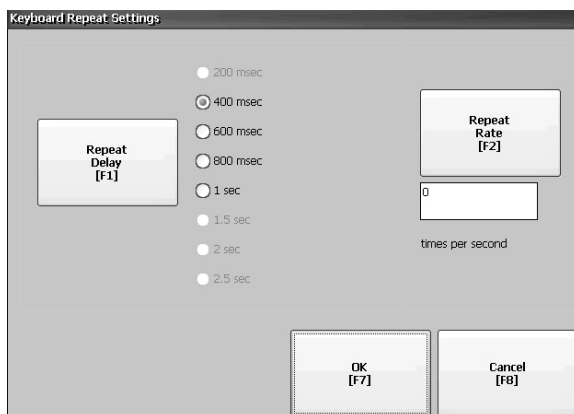
## 入力機器の設定

キーボード、タッチスクリーン、接続されたキーボードやマウス、文字列入力のポップアップなど、ターミナルで使用される入力機器の設定を調整できます。

### キーボードまたはキーパッド設定の構成

ターミナルまたは接続されたキーボード上のキーに関する設定を調整できます。

1. Terminal Settings を押してから、Input Devices → Keyboard/Keypad の順に選択します。





2. Repeat Rate を押して、1つのキーを押し続けたときにキーが繰返し入力される数（1秒あたり）を指定します。

有効な値は、0 および 2 ～ 30 です。接続されたキーボードの場合は機器に依存しますが、通常は同じ値です。

3. Repeat Delay を押して、キーを入力できるようになるまでの待ち時間（1秒あたり）を選択します。

値はデバイスによって異なります。サポートされていない値は灰色表示されます。

4. 完了したら OK を押します。

## タッチスクリーンのキャリブレーション

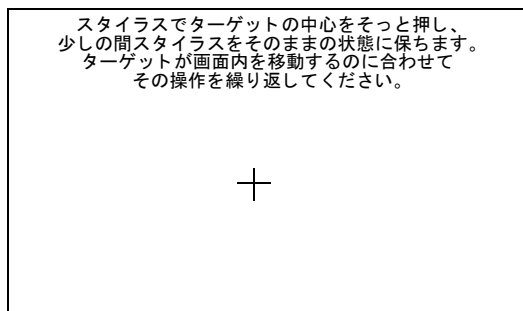
以下の手順に従って、ターミナルのタッチスクリーンをキャリブレーションしてください。

---

**重要** 最小先端半径が 1.3mm (0.051 インチ) のプラスチック製スタイラスを使用してください。スタイラスの方が指より正確ですし、スクリーンの保護にもつながります。

---

1. Terminal Settings を押してから、Input Devices → touch screen → Calibration の順に選択します。



2. 画面上の手順に従います。

キャリブレーションが完了すると、新しいキャリブレーション設定の測定値を示すメッセージが表示されます。

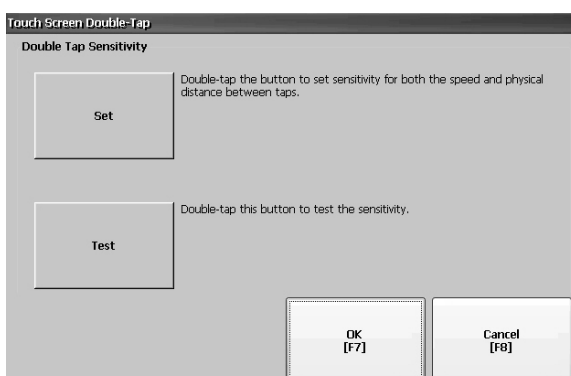
この種のターミナルの場合	操作
タッチスクリーンのみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>保存されたデータを登録するには画面を押す。</li> <li>保存されたデータをキャンセルし現行の設定を保持するには 30 秒間待つ。</li> </ul>
キーボードおよびタッチスクリーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい設定を受入れるには、[Enter] キーを押す。</li> <li>キャンセルし現在の設定を保持するには、[Esc] キーを押す。</li> </ul>

## タッチスクリーンのダブルタップの感度の設定

タッチスクリーンをダブルタップする間の速度と物理的距離の両方について、感度を設定およびテストすることができます。

**ヒント** マウスクリックの感度の設定プロセスとテストプロセスは、同じです。マウスクリックの感度を調整するには、Terminal Settings を押してから、Input Devices → Mouse の順に選択します。

1. Terminal Settings を押してから、Input Devices → touch screen → Double Tap Sensitivity の順に選択します。

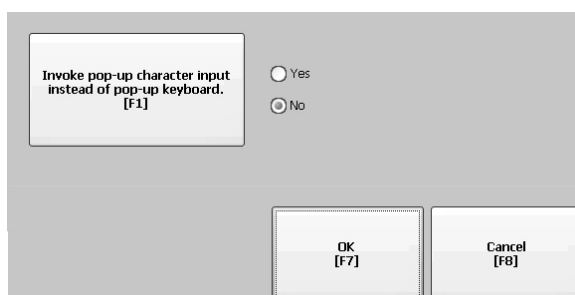


2. Set をダブルタップして、タッチスクリーンのタップの感度を設定します。
3. Test をダブルタップして、タッチスクリーンのタップの感度をテストします。  
Test ボタンをダブルタップすると、Test ボタンの文字表示色と背景色が反転します。
4. 完了したら OK を押します。

## 文字列入力用のポップアップの変更

ポップアップキーボードまたは入力パネルのかわりに、文字列ポップアップを使用して、文字を入力できます。

1. Terminal Settings を押してから、Input Devices → String Popup の順に選択します。



2. Invoke pop-up character input instead of pop-up keyboard を押して、文字列入力で優先される入力方式を選択します。
3. OK を押します。

## 印刷オプションの構成

ディスプレイ、アラームメッセージ、または FactoryTalk View ME アプリケーションからの診断メッセージを印刷するための設定を構成できます。ディスプレイとメッセージの印刷設定は同じです。高度な設定は異なります。

PanelView Plus 7 Performance ターミナルでは、選択されたプリンタに対応しています。サポート対象プリンタの一覧については、<http://www.rockwellautomation.com/knowledgebase> にアクセスし、ナレッジベースで「Printers Supported on PanelView Plus」というキーワードを入力して検索してください。

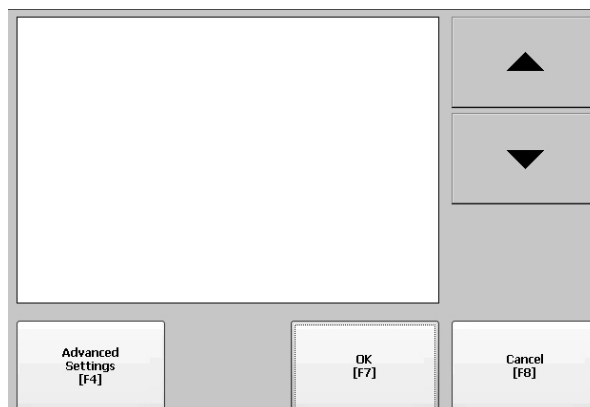
PanelView Plus 7 Performance ターミナルでは、キャノン社、エプソン社、ヒューレット・パッカード社、およびブラザー社の一部のプリンタに対応しています。プリンタのインストールは、プラグ & プレイです。サポート対象プリンタであれば、適切なドライバに自動的にマッピングされます。自動的に適切なドライバに対応するように構成されないプリンタは手動でインストールできます。

以下の手順に従って、印刷設定にアクセスしてください。

1. Terminal Settings を押してから、Print Setup にあるオプションを選択します。
  - Alarm Print Setup
  - Diagnostic Setup
  - Display Print Setup

Print Setup ダイアログボックスでは、FactoryTalk View ME アプリケーションで利用可能なインストール済みのプリンタが表示されます。表示されるプリンタのリストは、インストールするプリンタによって異なります。

出荷時にターミナルにはプリンタが事前に構成されていないため、最初はダイアログボックスに何も表示されません。



2. インストール済みのプリンタを選択します。

**ヒント** 選択するプリンタは、コントロールパネルの Printers アプレットに存在しなければなりません。

プリンタの自動インストール試行の失敗は、システム・イベント・ログに報告されます。

自動的にインストールされないプリンタは、Windows Explorer のコントロールパネルを使用して手動でインストールできます。

3. Advanced Settings を押して、以下のオプションにアクセスします。

- ディスプレイを印刷するためのオプションには、印刷の向き、下書きモード、および色があります。
- 診断メッセージとアラームメッセージを印刷するためのオプションでは、ネットワークまたは USB ポートに送られたメッセージをいつ印刷するのかを指定します。

Print Messages After	デフォルト値	例
Specified number of messages	60 件のメッセージ	キューに60件のメッセージが入っている場合、それらのメッセージは、キュー内に格納されていた時間に関わらず印刷される。 このメッセージ件数は変更できる。
500 messages or timeout period, whichever is first	168 時間 (7 日)	168 時間経過後にキューに 350 件のメッセージが入っている場合は、それらの 350 件のメッセージが印刷される。 このタイムアウト期間は変更できる。
Specified number of messages or timeout period, whichever is first.	60 件のメッセージ 168 時間 (7 日)	24時間経過後にキューに60件のメッセージが入っている場合は、それらの 60 件のメッセージが印刷される。 このメッセージ件数とタイムアウト期間は変更できる。  例えば、メッセージの件数が 75 に、タイムアウト 期間が 48 時間に設定されているとする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 24 時間経過後にキューに 75 件のメッセージが入っている場合は、設定された 48 時間のタイムアウト以前にそれらの 75 件のメッセージが印刷される。</li> <li>• 48 時間経過後にキューに 15 件のメッセージが入っている場合は、設定されたそのタイムアウト期間後にそれらの15件のメッセージが印刷される。</li> </ul>

4. 完了したら OK を押します。

5. OK を押して、ターミナル設定に戻ります。

## 診断の構成

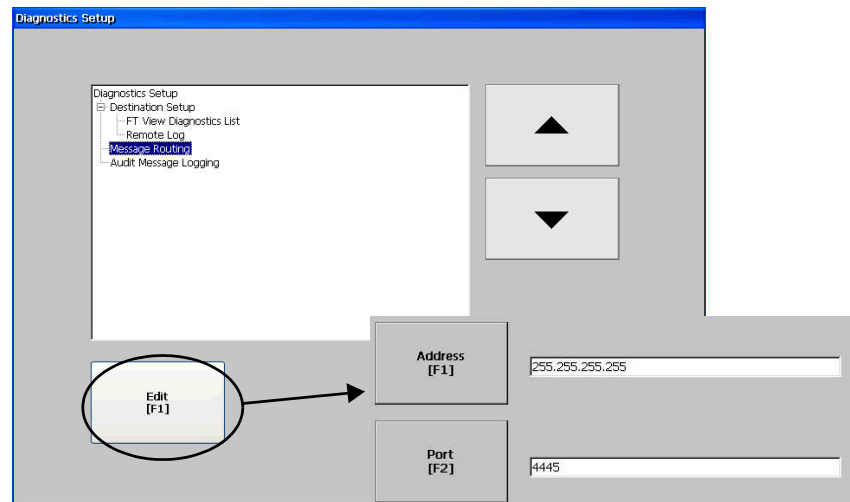
トラブルシューティングするため、診断をリモートコンピュータにログできます。

以下の手順に従って、診断をセットアップしてコンピュータに転送してください。

1. Terminal Settings を押してから、Diagnostic Setup を選択します。

診断ノードのリストが表示されます。

**ヒント** Remote Log または Message Routing セットアップにアクセスするには、ノードを選択してから Edit を押します。



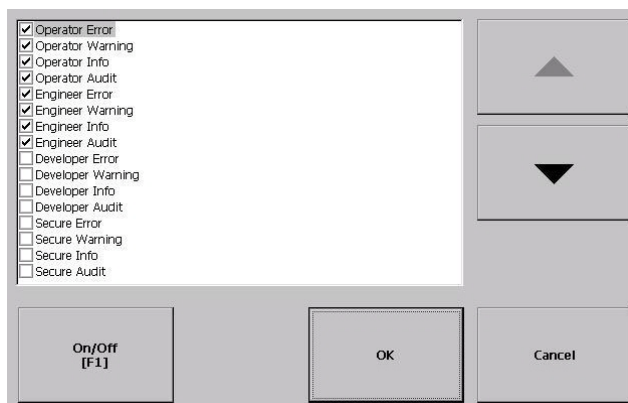
Remote Log destination では、メッセージを診断を実行中の Windows コンピュータへ転送します。コンピュータは、IP アドレスとポート番号で識別します。

フィールド	説明	有効値
Address	リモート Windows コンピュータの IP アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
Port	リモート Windows コンピュータとの通信に使用されるポート	4445(デフォルト)

以下のダイアログボックスにアクセスするには、Message Routing を選択します。

- Remote Log
- FactoryTalk View Diagnostics List

それぞれのダイアログボックスには、転送先に送信可能なメッセージのリストが表示されます。メッセージにカーソルを当ててから On/Off を押して、メッセージの有効 / 無効を切換えます。ボックスがチェックされたメッセージは、有効です。ボックスがチェックされていないメッセージは、無効です。



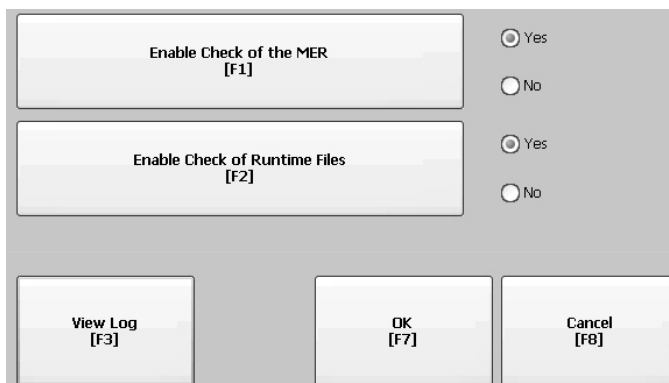
Audit Message Logging では、メッセージを Audit または Information としてログできます。

## アプリケーション ファイルの整合性 チェック

ターミナルにロードされている .mer アプリケーションとランタイムファイルの整合性チェックを定期的に行なうのは、良い習慣です。ファイルには、エラー、警告、および情報のメッセージがログされます。このログを表示して、ログから項目をクリアすることができます。

**ヒント** ランタイムファイルでは、アプリケーションをターミナル上で実行できます。ターミナルが正常に機能していない場合、ログを確認することで、ランタイムファイルにおける誤りを特定できます。

1. Terminal Settings を押してから、File Integrity Check を選択します。



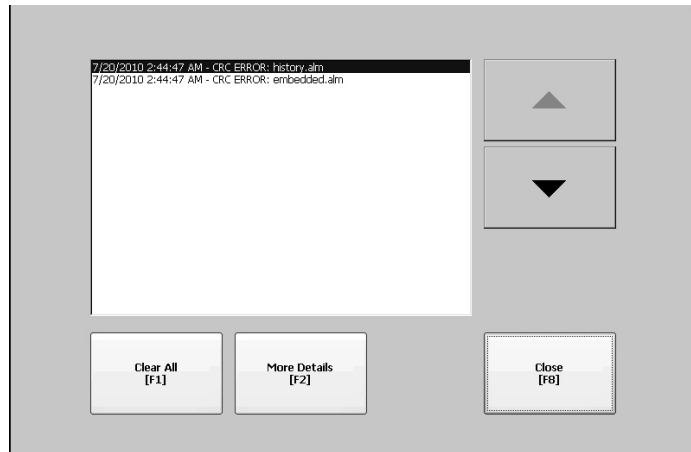
2. いずれかの Enable オプションを押して、.mer アプリケーションまたはランタイムファイルの整合性チェックを無効にします。

アプリケーションの .mer ファイルとランタイムファイルに対して、整合性チェックが自動的に実行されます。上記のいずれかの機能を無効にした場合は、それらのファイルに対してチェックは行なわれず、ログファイルも更新されません。

### 3. OK を押して変更を保存します。

以下の手順に従って、ランタイムファイルによって生成されたログを表示してください。

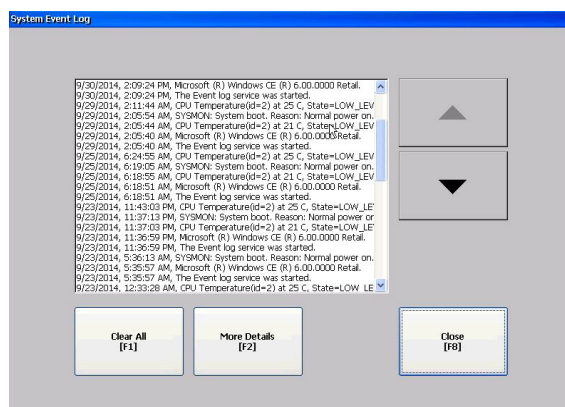
#### 1. File Integrity Check ダイアログボックスの View Log を押します。



2. イベントを選択し、More Details を押して、そのイベントの詳細を表示します。
3. Clear All を押して、ログからすべての詳細情報を消去します。
4. Close を押して直前のダイアログボックスに戻ります。

## システム・イベント・ログの表示とクリア

System Event Log には、ターミナルでログに記録された警告、エラー、およびイベントが表示されます。このログは、各イベントの発生日時を示すタイムスタンプとイベントについての説明テキストを提供します。新たにイベントが発生したときにイベントログが満杯の場合は、その新規イベント用のスペースを確保するために最も古いエントリ項目が削除されます。

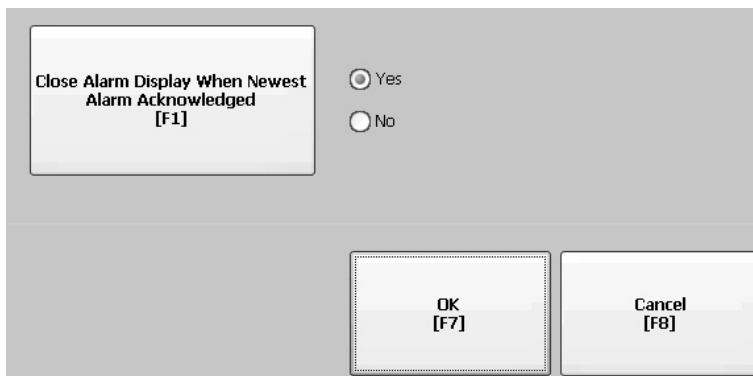


1. Terminal Settings → System Event Log の順に押します。
2. イベントを選択し、More Details を押して、そのイベントの詳細を表示します。
3. Clear All を押して、ログからすべてのイベントを消去します。
4. Close を押します。

## アラームディスプレイの有効/無効

ターミナルには、アラームが発生するたびに、アラームがアラームディスプレイまたはアラームバナーに表示されます。オペレータが最新のアラームを確認すると、アラームディスプレイは閉じるか、開いたままになります。デフォルトでは、アラームディスプレイは閉じます。

1. Terminal Settings を押してから、Alarms を選択します。



2. Close Alarm Display When Newest Alarm Acknowledged を押して、Yes と No を切換えます。
  - Yes の場合、最新のアラームが確認されると、アラームディスプレイが閉じます。
  - No の場合、最新のアラームが確認されても、アラームディスプレイは開いたままです。
3. OK を押します。

## システム情報の表示

ターミナル情報と、ターミナルにインストールされているソフトウェアのファームウェアリビジョン情報を表示できます。

### ターミナル情報の表示

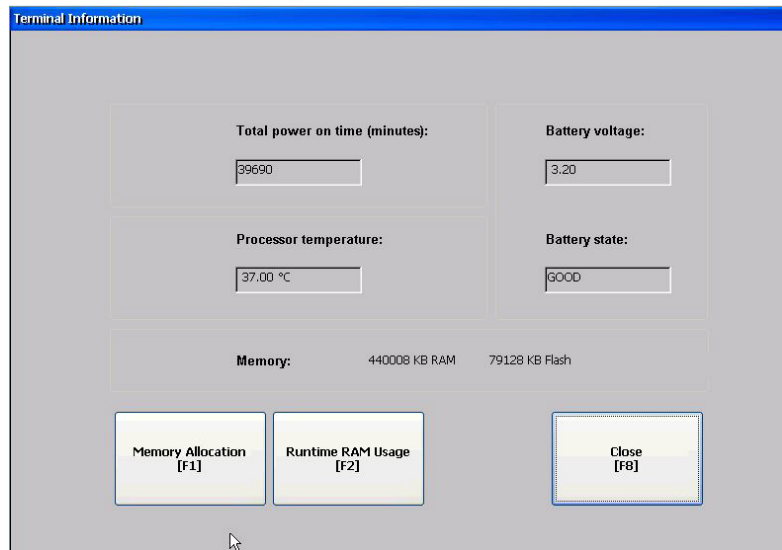
以下の読取り専用情報を表示できます。

- 総稼働時間 (分)
- プロセッサ温度
- バッテリ電圧および状態
- 割当てられ使用されるメモリ
- 実行時のランダム・アクセス・メモリ (RAM) メモリ使用量



以下の手順に従って、ターミナルのステータス情報を表示してください。

1. Terminal Settings を押してから、System Information → Terminal Information の順に選択します。



- プロセッサ温度は、90°C (194°F) 未満でなければならない。

#### 重要

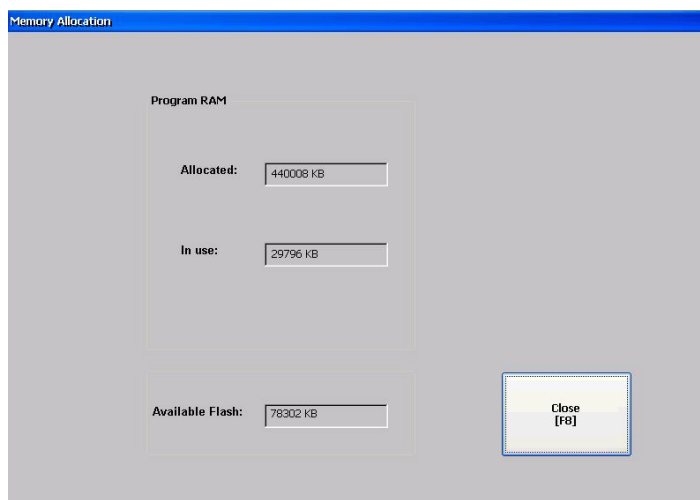
温度超過メッセージが、システム・イベント・ログに記録されます。

- 85°C (185°F) で、警告メッセージが発せられる。
- 90°C (194°F) で、エラーメッセージが発せられる。

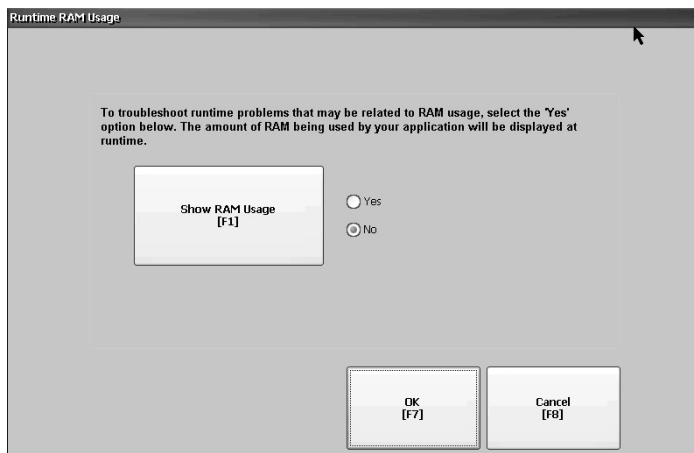
- バッテリ電圧は、DC 2.75V 以上でなければならない。

バッテリーの状態	説明
GOOD	適正なバッテリーの状態
FAILING	バッテリー電力低下。バッテリーを交換する。
BAD	バッテリーが検出されないか、不良状態である。バッテリーを交換する。

2. Memory Allocation を押して、ストレージ RAM、プログラム RAM、および使用できる不揮発性メモリに関する情報を表示します。



3. Close を押して直前のダイアログボックスに戻ります。
4. Runtime RAM Usage を押して、実行時にアプリケーションで使用された RAM を表示することで、異常に対するトラブルシューティングを実行します。

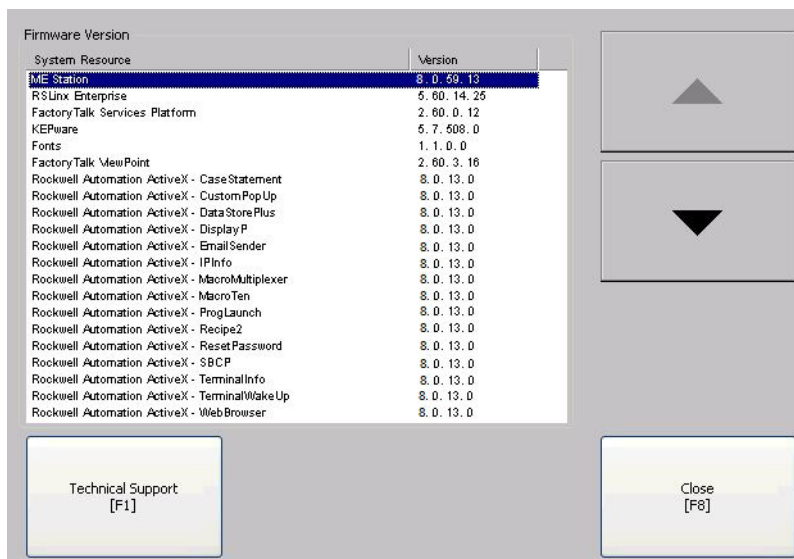


5. OK を押して、直前のダイアログに戻ります。
6. Terminal Settings に戻るまで Close を押します。

## FactoryTalk View ME Station 情報

ターミナルにインストールされているコンポーネントのファームウェアおよびバージョン情報を表示し、技術サポート情報にアクセスできます。

1. Terminal Settings を押してから、System Information → About FactoryTalk View ME Station の順に選択します。



2. Technical Support を押して、サポート用の電話番号と Web サイトを表示します。
3. Terminal Settings に戻るまで Close を押します。

## 時刻と日付の設定

ターミナルの操作の日付、時刻、タイムゾーン、および地域に関する設定を変更できます。

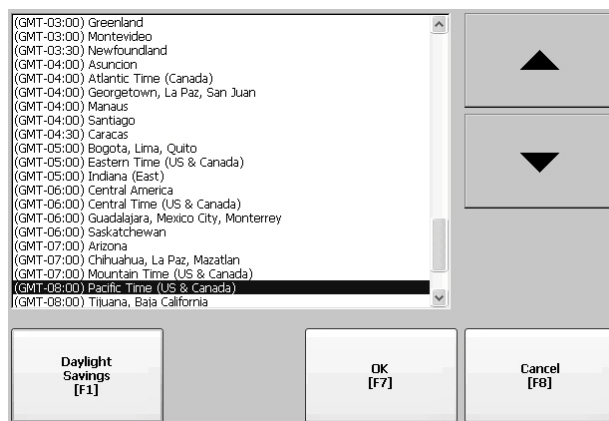
**ヒント** ターミナルの現在の日付と時刻を変更する前に、タイムゾーンを設定します。

### ターミナルのタイムゾーンの変更

ターミナルの現在のタイムゾーンを表示または変更できます。タイムゾーンは、オペレーティングシステムと共にインストールされます。タイムゾーンを変更して、そのタイムゾーンに一致するように現在の時刻と日付を調整することができます。

ターミナルの時計は、ターミナルでファイルが作成または変更された時刻を記録します。時計の時刻とタイムゾーンを変更できます。

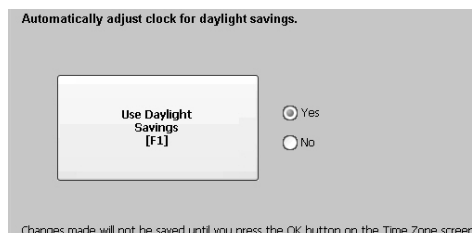
1. **Terminal Settings** を選択してから、**Time/Date/Regional Settings** → **Time Zone** の順に選択します。



2. 上 / 下カーソルを押してタイムゾーンを選択します。

サマータイムを採用していない日本を除くすべてのタイムゾーンで、**Daylight Saving Time**（サマータイム）が有効に設定されています。**Daylight Saving Time** を変更すると、ターミナルの時計は自動的に調整されます。

3. オプションとして、タイムゾーンの **Daylight Saving Time** を有効または無効にするには、**Daylight Savings** を押します。



変更内容は、**Time Zone** ダイアログボックスを閉じるまでは、永続的なものになりません。

4. 完了したら **Close** を押します。
5. **OK** を押して直前のダイアログボックスに戻ります。

## ターミナルの現在の日付の変更

以下の手順に従って、ターミナルの日付を調整してください。

1. Terminal Settings を選択してから、Time/Date/Regional Settings → Date の順に選択します。

2. Year、Month、および Day を押して、ボタンの上にある現在の値を変更します。
  - Year は 4 桁で、範囲は 1980 ~ 2099
  - Month の範囲は 1 ~ 12
  - Day の範囲は 1 ~ 31 で、月に照らし合わせて検証される
3. 完了したら OK を押します。

## ターミナルの現在の時刻の変更

以下の手順に従って、ターミナルの時刻を調整してください。

1. Terminal Settings を選択してから、Time/Date/Regional Settings → Time の順に選択します。

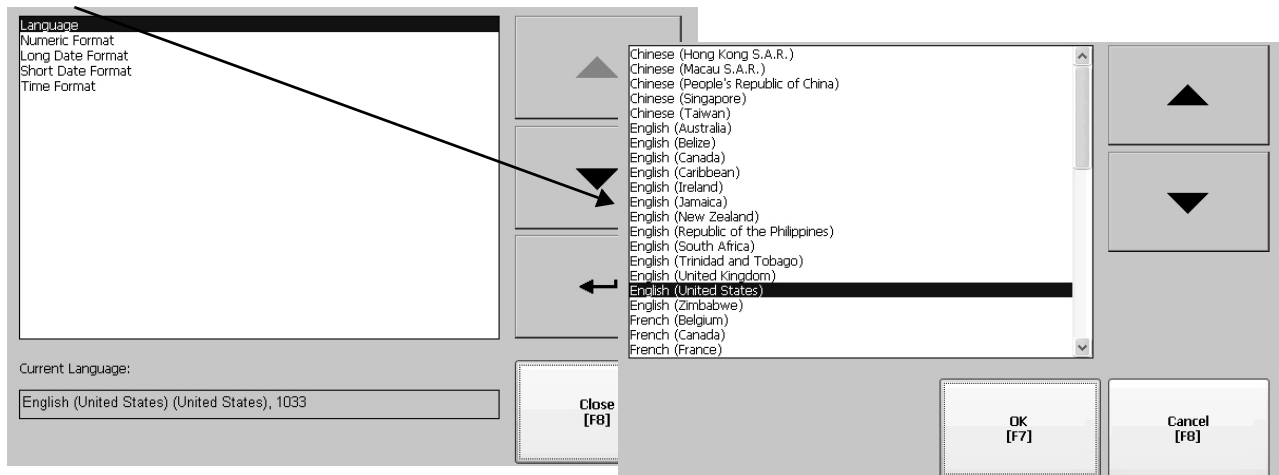
2. Hour、Minute、および Seconds を押して、現在の値を変更します。
  - Hour の範囲は 0 ~ 23 (24 時間形式)
  - Minute と Seconds の範囲は、0 ~ 59
3. 完了したら OK を押します。

## 地域の設定

国または地域での標準と一致するように日付、時刻、および数値の表示形式を変更できます。言語は、オペレーティングシステムと共にインストールされます。地域設定を変更する前に、言語を選択しなければなりません。

以下の手順に従って、ターミナルにインストールされた言語を選択してください。

1. Terminal Settings を選択してから、Time/Date/Regional Settings → Language の順に選択します。



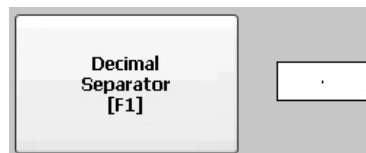
2. 上 / 下カーソルを押して、言語を選択します。
3. OK を押します。

選択した言語が、Regional Settings ダイアログボックスの Current Language の下に表示されます。

## 小数点記号の変更

選択された言語の数値形式で使用される小数点記号を変更できます。デフォルトの小数点記号は、ピリオドです。

1. Terminal Settings を選択してから、Time/Date/Regional Settings → Numeric Format の順に選択します。



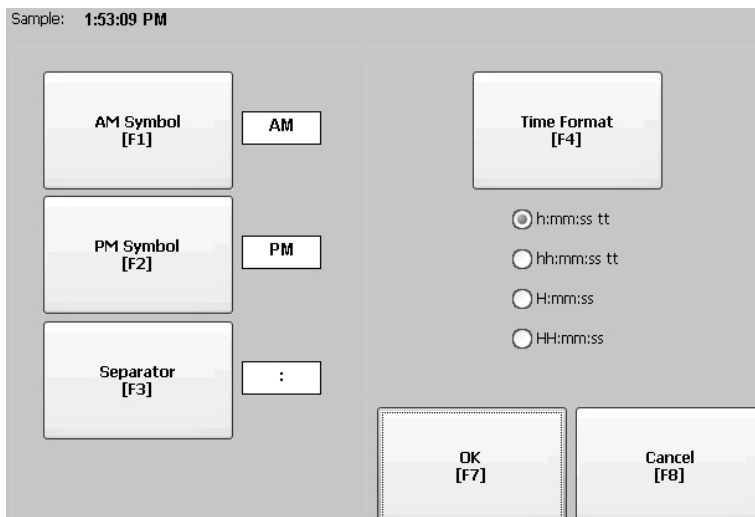
デフォルトの小数点記号が表示されます。

2. 新しい小数点記号を表す文字を 3 文字まで入力します。
3. OK を押します。

## 言語の時刻形式の変更

以下の手順に従って、選択した言語の時刻形式を変更してください。

1. Terminal Settings を選択してから、Time/Date/Regional Settings → Time Format の順に選択します。



現在の時刻が、選択された形式で表示されます。

2. 適切な選択肢を押して形式を調整します。  
 選択を行なうたびに、サンプル形式が変化します。

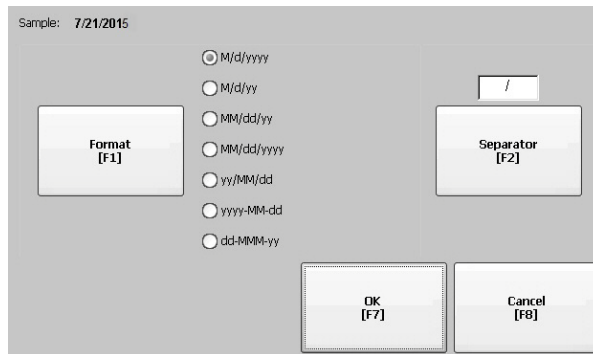
フィールド	説明	例
Time Format 12 時間	h:mm:ss tt (デフォルト) h = 12 時間表示、先頭にゼロを付けない tt = AM または PM 記号	7:23:02 AM または 1:13:31 PM 11:43:59
	hh:mm:ss tt hh = 12 時間表示、先頭にゼロを付ける tt = AM または PM 記号	07:23:02 AM または 01:13:31 PM 23:43:59
Time Format 24 時間	H:mm:ss H = 24 時間表示、先頭にゼロを付ける	07:03:42 または 01:13:32 23:43:59
	HH:mm:ss HH = 24 時間表示、先頭にゼロを付けない	07:03:42 または 01:13:22 23:43:59
AM Symbol	AM (午前) を示すための文字。時刻形式が 12 時間表示 (h:mm:ss tt または hh:mm:ss tt) に設定されている場合は、AM 記号を変更できる。	AM (デフォルト) 最大 12 文字
PM Symbol	PM (午後) を示すための文字。時刻形式が 12 時間表示 (h:mm:ss tt または hh:mm:ss tt) に設定されている場合は、PM 記号を変更できる。	PM (デフォルト) 最大 12 文字
Separator	時刻形式のフィールドの区切り文字	:(デフォルト) 最大 3 文字

3. OK を押します。

## 言語の短い日付形式の変更

以下の手順に従って、選択した言語の短い日付形式を変更してください。

1. Terminal Settings を選択してから、Time/Date/Regional Settings → Short Date Format の順に選択します。

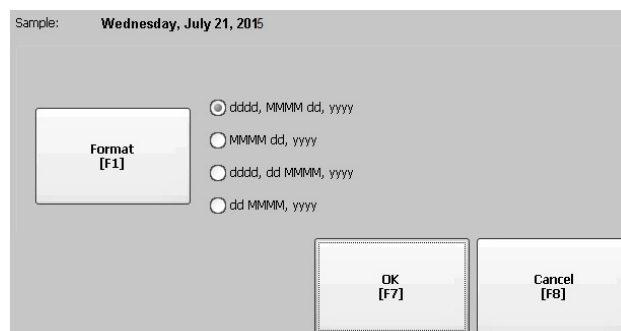


2. Format を押して、短い日付形式を変更します。  
変更を行なうたびに、Sample エリアの日付が更新されます。
3. Separator を押して、日付要素間の文字を変更します。  
区切り文字は3文字の場合があります。デフォルトの区切り文字は - または / です。
4. 完了したら OK を押します。

## 言語の長い日付形式の変更

以下の手順に従って、選択した言語の長い日付形式を変更してください。

1. Terminal Settings を選択してから、Time/Date/Regional Settings → Long Date Format の順に選択します。



2. Format を押して、長い日付形式を変更します。  
変更を行なうたびに、Sample エリアの日付が更新されます。
3. 完了したら OK を押します。

**Notes:**



## Windows オペレーティングシステム

項目	参照ページ
オペレーティングシステムの機能	77
Windows Explorer	80
タスクバー	80
ソフト入力パネル	80
Windows のコントロールパネル	81
バックアップおよび復元	82
Display プロパティ	85
ハードウェアモニタ	88
ログマネージャ	90
ユーザアカウント	92
サービス	93
ネットワークサーバ構成	94
システム情報	107
タッチプロパティ	111
PDF リーダ	112

### オペレーティングシステムの機能

PanelView Plus7 Performance ターミナルは、以下の機能を備えている Windows CE 6.0 オペレーティングシステム (OS) を実行します。

- コマンドシェル
- コマンドプロセッサ
- コンソールウィンドウ
- Windows Explorer シェル
- 共通ダイアログボックス
- コントロールパネル
- ネットワーク・ユーザ・インターフェイス
- ソフトキーボード入力パネル
- PDF リーダ
- 右クリック機能をサポートしているマウスとタッチスクリーンのサポート

**ヒント** 右クリックの場合は、1秒以上スクリーンをタッチします。

- VNC サーバ / クライアントビューア

---

**重要** このプラットフォームでは、2つの VNC クライアントビューアが配布されます。

- Vncviewer.exe はターミナルデスクトップの /Windows フォルダにあります。このビューアを PanelView Plus 7 Performance ターミナルを接続、表示、制御するために、パーソナルコンピュータに展開できます。
  - もう 1 つのビューアをターミナルで使用すると、2 つの PanelView Plus 7 Performance ターミナル間で VNC コネクションを確立できます。このビューアにアクセスするには、Start → Programs → VNC Viewer の順に選択します。
- 

## アプリケーションのサポート

Windows CE オペレーティングシステムは、以下のアプリケーションをサポートしています。

- .NET Compact Framework (バージョン 3.5 以降)
- C++ ライブラリおよびランタイム
- DCOM/COM/OLE コンポーネントサービス
- メッセージキューイング用 MSMQ
- MSXML (バージョン 3.0 以降)
- デバイス用 Microsoft foundation class (MFC) (バージョン 9.0 以降)
- アクティブ・テンプレート・ライブラリ (ATL)
- ActiveSync
- キャビネット (CAB) ファイルインストーラ / アンインストーラ
- ToolHelp アプリケーション・プログラミング・インターフェイス (API)
- エラーレポート (ジェネレータ、転送ドライバ、制御パネル)

## スクリプトのサポート

Windows CE オペレーティングシステムは以下のスクリプト機能をサポートしています。

- バッチ / コマンド (BAT ファイルと CMD ファイル)
- CSScript
- JScript

## ネットワークのサポート

Windows CE 6.0 オペレーティングシステムは以下のネットワーク機能をサポートしています。

- Winsock のサポート
- ネットワークユーティリティー - ipconfig、ping、route
- ネットワーク・ドライバ・アーキテクチャ (NDIS)
- Windows ネットワーキング API / リダイレクタ
- ワイヤード・ローカル・エリア・ネットワーク、802.3、802.5

## サーバのサポート

以下の表に、Windows CE 6.0 オペレーティングシステムでサポートされているサーバのリストを示します。








表 21 - Windows CE 6.0 でのサーバのサポート

サーバ	デフォルトの状態	説明
Web サーバ	有効	Web サーバは、Web 上で HTTP プロトコルを使用して、Web ページなどのコンテンツを配信する。
FTP サーバ	有効	ファイル転送プロトコル (FTP) は、インターネット (TCP/IP ベースのネットワーク) 上でファイルを交換するための標準のネットワークプロトコル。
UPnP サーバ	有効	Universal Plug and Play (UPnP) は、機器の取付けとネットワークへの接続を可能にするネットワーキングプロトコルのセット。
ファイルサーバ	有効	ネットワーク上のコンピュータ間でファイル、プリンタ、シリアルポート、および各種通信への共有アクセスを可能にするネットワークプロトコル。
VNC サーバ	無効	Virtual Network Computing (VNC) は、別のコンピュータを遠隔操作で制御するために使用されるグラフィカルデスクトップ共有システムです。キーボード / マウスのイベントをネットワーク上のコンピュータ間で送信する。
ViewPoint サーバ	有効	ターミナルで実行中の FactoryTalk View Machine Edition HMI アプリケーションへの、Web ブラウザを介したリモート・ユーザ・アクセスを可能にする Web サーバのアプリケーション。ViewPoint ソフトウェアはロックウェル・オートメーションの製品です。

## 拡張機能

PanelView Plus 7 Performance ターミナルは、PanelView Plus 7 Standard ターミナルでは利用できない以下の追加デスクトップアプリケーションをサポートしています。

表 22 - 拡張機能付きのオペレーティングシステム

アイコン	ソフトウェア	アイコン	ソフトウェア
	Microsoft Internet Explorer 6 Web ブラウザと Silverlight 2		Microsoft Office 2003 PowerPoint ファイルビューア
-	Adobe Flash Lite 3.1 Internet Explorer 6 用 ActiveX プラグイン		Microsoft Office 2003 Word ファイルビューア
	Microsoft Remote Desktop Connection		Microsoft Office 2003 Excel ファイルビューア
	Windows Media Player 6.4 および 7.0 OCX	-	Westtek JETCET PDF ビューア
	Microsoft WordPad テキストエディタ	-	画像ビューア

## Windows Explorer



デスクトップから Windows Explorer にアクセスするには、複数の方法があります。

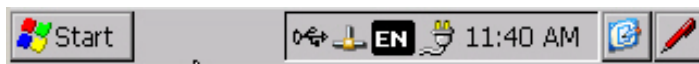
- My Device アイコンを開きます。
- Start → Programs → Windows Explorer の順に選択します。

以下のフォルダに、PanelView Plus 7 Performance プラットフォームに固有の項目が格納されています。

フォルダ	コンテンツ
Application Data	FactoryTalk View Machine Edition アプリケーションファイルが格納される。 パス: \Application Data\Rockwell Software\RSViewME
VFS(仮想ファイルシステム)	ファームウェアファイル、および現在のシステムイメージのバックアップ / 復元ファイルが格納される。 パス: \VFS\Platform Firmware

## タスクバー

タスクバーから、Start メニュー、機器の IP 情報、現在の言語と時刻、入力パネル、および開いているプログラムにアクセスできます。



タスクバーの表示 / 非表示を切替えるには、Start → Settings → Taskbar and Start Menu の順に選択し、次に Auto Hide ボックスをチェックまたはチェック解除します。

- ヒント** タッチ・スクリーン・ターミナルでは、ディスプレイの最下部をタッチすると、Auto Hide モードのタスクバーが元の位置に表示されます。

## ソフト入力パネル



オペレーティングシステムには、データ入力用に異なる入力パネルが備わっています。タスクバーまたはコントロールパネルから、入力パネルにアクセスできます。タスクバーから、入力パネルアイコンをクリックし、使用する入力パネル（キーボード）を選択します。

- CHT Chajei IM (中国語)
- CHT Phonetic IM (中国語)
- Keyboard (小型キーボード)
- LargeKB (拡大キーボード)
- MS Kana IM (日本語)
- MS Roma IM (日本語)
- High Input Panel (キーボードを閉じる)



- ヒント** 入力パネルアイコンは、選択する入力パネルによって異なります。

## Windows のコントロールパネル

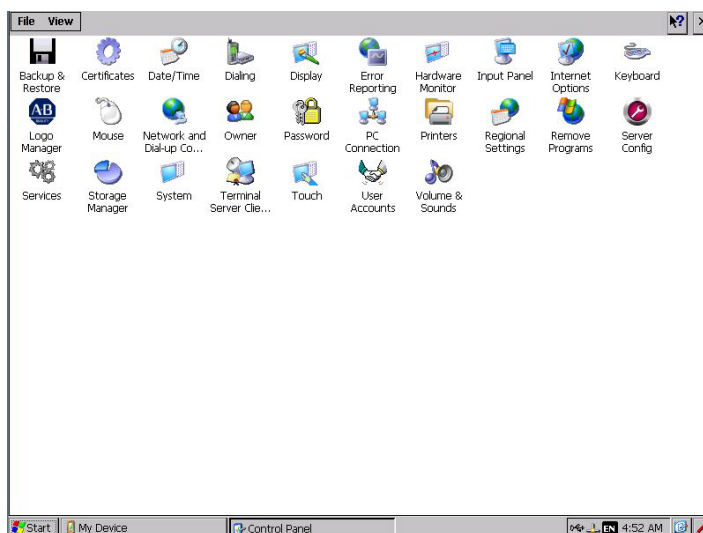
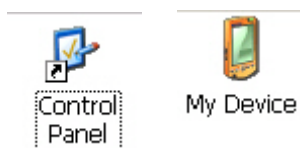
Windows のコントロールパネルにあるアプリケーションを使用すると、システム設定とターミナル設定を表示し、構成できます。例えば、ハードウェアのパフォーマンスをモニタし、タッチスクリーンのキャリブレーションを行ない、またはスクリーンセーバの設定を調整できます。

**ヒント** 大部分のターミナル設定は、FactoryTalk View ME Station の構成モードで利用できます。

コントロールパネルのアプリケーションの言語は、オペレーティングシステムで設定された言語に基づいています。デフォルト値は English (英語) です。

コントロールパネルにアクセスするには、複数の方法があります。

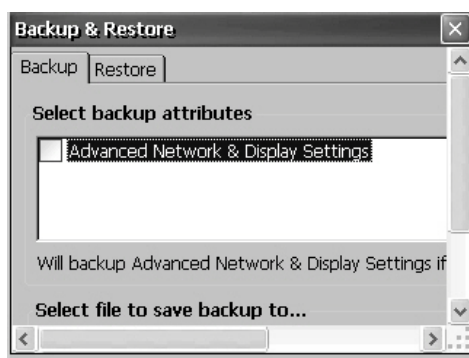
- Start → Settings → Control Panel の順に選択します。
- デスクトップで My Device を開いてから、Control Panel をダブルクリックします。



この章では、ターミナルに固有のコントロールパネルのアプリケーションのみを説明します。

**ヒント** View メニューから、アイコンのサイズを変更できます。また各アイコンの簡単な説明を表示できます。

**ヒント** 多くのコントロールパネルのアプリケーションには、小型のディスプレイで情報を表示するためのスクロールバーがありますが、ほとんどの例では見やすくするため、全画面ビューで表示します。



# バックアップおよび復元



バックアップおよび復元のアプリケーションを使用すると、ターミナルの現在のシステムイメージをバックアップして、そのイメージを同じターミナルまたはその他の HMI デバイスに復元できます。この機能は、同じシステムイメージを複数の HMI デバイスにコピーする場合に便利です。

**ヒント** システムイメージを USB ドライブまたは SD カードにバックアップできます。ロックウェル・オートメーションは、1GB 以上の使用可能スペースのある USB ドライブまたは SD カードを使用することをお奨めします。大規模なファイルシステムを使用するアプリケーションでは、2GB 以上の使用可能スペースで使用してください。

通常のバックアップには以下のものが含まれます。

- ファイルシステム
- ファームウェアイメージ
- Windows レジストリ
- オプションのユーザ構成データ

Backup & Restore ダイアログボックスで、Advanced Network & Display Settings をクリックすることにより、バックアップにユーザ構成データを含めることができます。

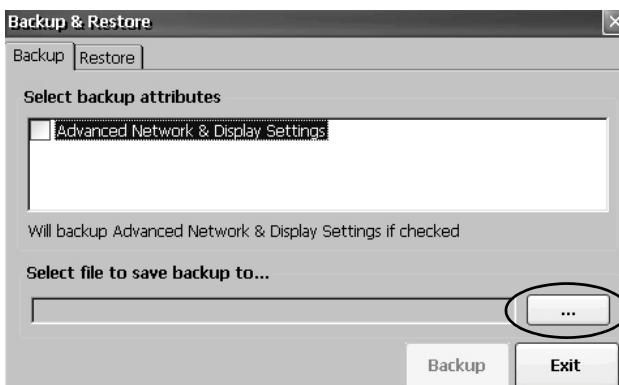
表 23-ネットワークディスプレイの高度な設定

設定	説明
Ethernet Network	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DHCP 対応または固定 IP アドレス</li> <li>• プライマリおよびセカンダリ DNS</li> <li>• プライマリおよびセカンダリ WNS</li> <li>• 速度および二重設定</li> </ul>
USB network	USB IP アドレスとサブネットマスク、ゲートウェイ、DHCP 対応 IP アドレスまたは固定 IP アドレス
Network	デバイス名
Display	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスプレイの輝度</li> <li>• スクリーンセーバのディマのタイムアウト</li> </ul>

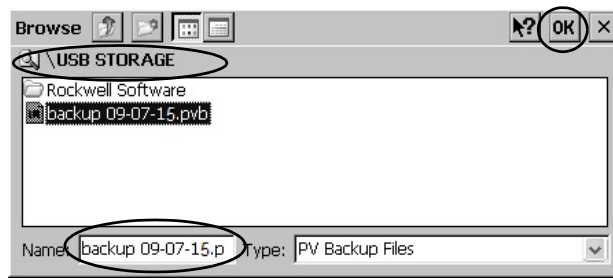
## バックアップの実行

以下の手順に従って、バックアップを行ないます。

1. USB ドライブまたは SD カードをターミナルの適切なスロットに挿入します。
2. コントロールパネルで、Backup & Restore アイコンをダブルクリックします。



3. Backup タブのブラウズ ... ボタンをクリックします。

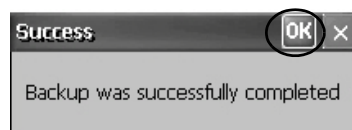


4. バックアップファイルの保存場所を選択します。
- USB ドライブ使用時は USB Storage
  - SD カード使用時は Storage Card2
  - ファイルをターミナルにバックアップする時は保存するフォルダ
5. バックアップファイルの名前を入力します。  
バックアップファイルは .pvb ファイルタイプになります。
6. OK をクリックします。



7. Backup をクリックしてプロセスを開始します。

プログレスバーに、操作のステータスが表示されます。バックアップには数分かかることがあります。バックアップが完了すると、通知を受信します。



8. OK をクリックします。  
そのファイルがすでに存在する場合は、現在のファイルを上書きするかどうかを確認するメッセージが表示されます。
9. Exit をクリックして Backup & Restore ダイアログボックスを閉じます。

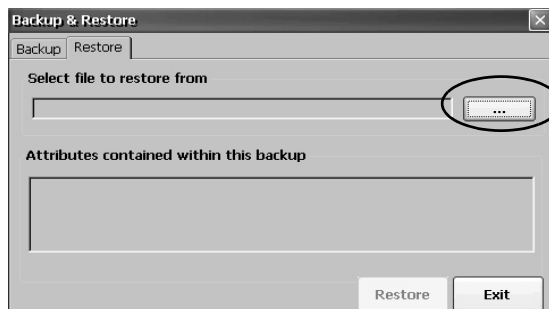
**ヒント** .pvb ファイルが正常に作成されたことを確認するには、My Device をダブルクリックしてバックアップの保存場所を選択します。 .pvb ファイルが正常に作成されなかった場合は、使用可能スペースがもっと大きい USB ドライブまたは SD カードを使用してください。

ロックウェル・オートメーションは、1GB 以上の使用可能スペースのある USB ドライブまたは SD カードを使用することをお奨めします。大規模なファイルシステムを使用するアプリケーションでは、2GB 以上の使用可能スペースで使用してください。

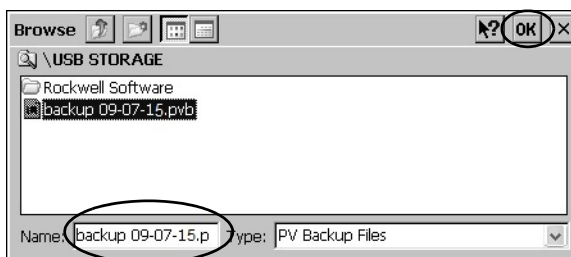
## バックアップイメージの復元

以下の手順に従って、バックアップイメージを記憶装置に復元または複製してください。

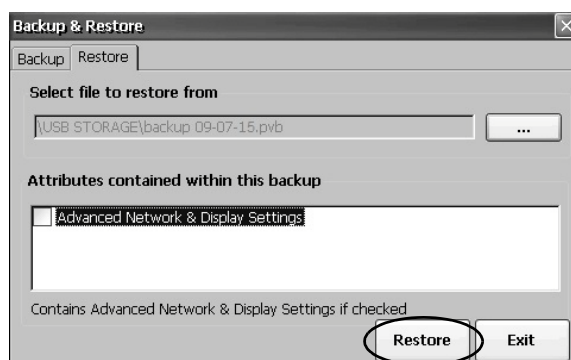
1. USBドライブまたはSDカードを保存デバイスの適切なスロットに挿入します。
2. コントロールパネルで、Back & Restore をダブルクリックします。



3. Restore タブをクリックします。
4. ブラウズ (...) ボタンをクリックして、復元するバックアップファイルを選択します。



5. バックアップファイルの場所を選択します。
  - USBドライブ使用時は USB Storage
  - SD カード使用時は StorageCard2
6. 復元する .pvb バックアップファイルを選択します。
7. OK をクリックします。



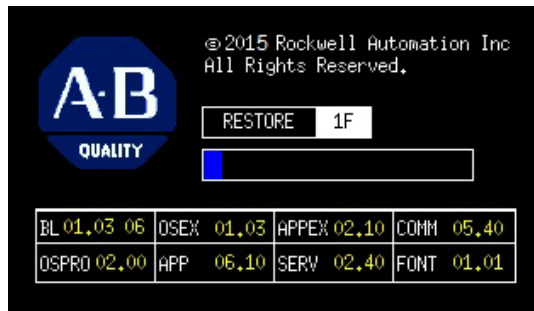
8. Restore をクリックします。

バックアップを実行したときに Advanced Network and Display Settings オプションを選択した場合は、ネットワークおよびディスプレイの高度な設定が自動的に復元対象に含まれます。



### 9. Yes をクリックして復元を開始します。

ターミナルで復元プロセスが開始します。これには数分かかります。



#### 重要

復元中に USB ドライブまたは SD カードを取り外したり、ターミナルの電源をオフにしないでください。これを行なうと、ファームウェアが破損する恐れがあります。

復元に失敗した場合は、メンテナンスメニューからターミナルをリセットする必要があります。

詳細は、[144ページの「メンテナンスモードでの操作」](#)を参照してください。

復元が正常に完了すると、ターミナルが再起動します。

## Display プロパティ

デスクトップの背景画像と外観、バックライトの輝度、およびスクリーンセーバ設定を制御するには、Display プロパティを使用します。

### デスクトップの背景

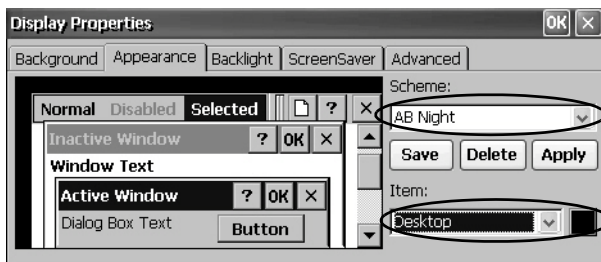
Display プロパティの Background タブで、デスクトップの背景ビットマップを制御します。デフォルトのビットマップは abclocknight です。



プルダウンメニューから別の画像を選択することも、システムを参照してビットマップ画像を選択することもできます。カスタム画像は \Windows フォルダ内にあります。

## デスクトップの外観

Display プロパティの Appearance タブで、デスクトップおよび他のウィンドウ要素の表示スタイルと色を制御します。

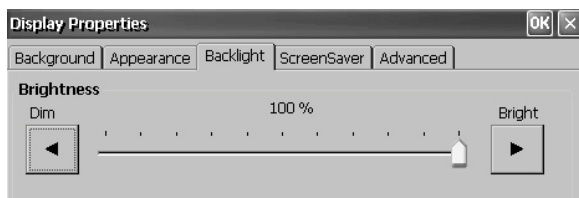


日中または夜間での表示のために 2 つのカスタム配色とカスタム画像が用意されています。配色を変更するときは、Background タブで画像も変更することを忘れないでください。

配色	デスクトップの色	背景ロゴ
AB Day	青色	abclocknight
AB Night	黒色	abclockday

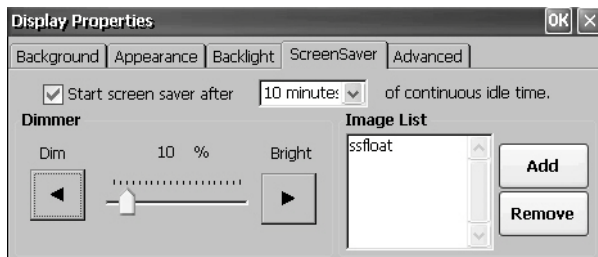
## バックライトの輝度

バックライトの輝度を 1 ~ 100% の範囲で 10% 単位で調節できます。0% に設定すると、バックライトの明るさは最低になります。



## スクリーンセーバ

スクリーンセーバを使用すると、ディスプレイの寿命が延びます。ターミナルが連続した一定時間アイドル状態の場合、スクリーンセーバがバックライトをうす暗くし、動く画像が表示されます。これを無効にすると、ディスプレイの輝度が通常のレベルに戻ります。



Display プロパティの Screen Saver タブでは以下の操作を実行できます。

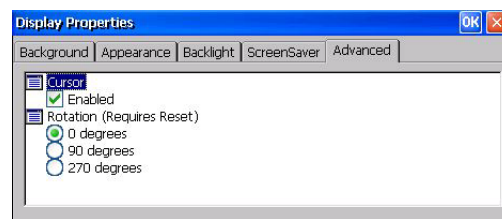
- スクリーンセーバのアイドルタイムアウトを変更します。デフォルトは 10 分です。

スクリーンセーバがアクティブになると、ディマーによってバックライトの輝度が制御されます。ディマーの輝度範囲を 0 ~ 100% で設定します。デフォルトの輝度は 10% です。0% に設定すると、バックライトの明るさは最低になります。

- システムをブラウズして別のスクリーンセーバのビットマップを選択します。デフォルトのスクリーンセーバは SSFloat.bmp です。スクリーンセーバのビットマップを変更するには、Add または Remove をクリックします。システムは \Windows フォルダ内のビットマップを認識します。
- Start screen saver after チェックボックスのチェックを解除してスクリーンセーバを無効にします。

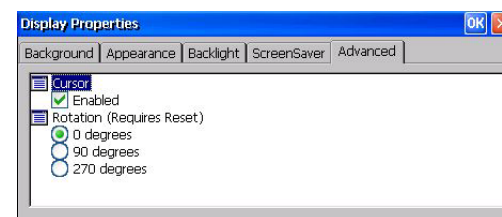
## カーソル

Display プロパティの Advanced タブでは、ディスプレイ上に表示されるカーソルを有効または無効にすることができます。デフォルトでは、カーソルが表示されます。



## 画面の回転

Display プロパティの Advanced タブから、ターミナルの画面を回転できます。デフォルトは 0 度です。



画面の回転を変更した後、タッチスクリーンをキャリブレーションする必要があります。

1. USB マウスのプラグをターミナルに挿入します。
2. ターミナルを再起動します。
3. マウスを使用してタッチスクリーンをキャリブレーションします。
4. キャリブレーションの詳細は、[61 ページの「タッチスクリーンのキャリブレーション」](#)を参照してください。

## ハードウェアモニタ

ハードウェアモニタは、ターミナルの継続的な電圧、温度、および負荷情報を提供します。

## プロセス

Hardware Monitor の Processes タブには、ターミナルで現在実行中のすべてのプロセスと各プロセスのメモリ使用率が表示されます。

ProcessName	ProcessId	Thr	BaseAddr	HeapSize	TotalMem	Committe	Reserved
NK.EXE	00400002	74	80225000	3238704	0	0	0
udevice.exe	01D80002	7	00010000	18560	2273280	1699840	573440
udevice.exe	0085000A	1	00010000	2624	1818624	1634304	184320
udevice.exe	02040002	1	00010000	4928	1818624	1634304	184320
udevice.exe	03360006	1	00010000	1536	1818624	1630208	188416
wf5portm.exe	055D0006	4	00010000	12160	2211840	1851392	360448
servicesd.exe	05F40006	45	00010000	3553040	9658368	5791744	3866624
udevice.exe	07180002	1	00010000	2560	1953792	1646592	307200
explorer.exe	07490002	6	00010000	49280	2703360	2007040	696320
fselect.exe	07B1000A	1	00010000	2048	1822720	1634304	188416
RSLinkNG.exe	068F000E	19	00010000	1522336	5156864	3436544	1720320
Rsvchost.exe	07BD000E	13	00010000	108832	2793472	1908736	884736
control.exe	07CC008A	1	00010000	22880	1822720	1675264	147456
PanelView Hardware Monitor	0614054F	5	00010000	873560	68963656	9928704	60133632

Memory load 3704852480/413700096 [2%]

## システム・イベント・ログ

Hardware Monitor の System Event Log には、ターミナルでログに記録された警告、エラー、およびイベントが表示されます。

Type	Date	Time	Category	MsgId	Message
Error	4/9/2014	3:15:33 PM	None	65537	Backlight Temperature(id=2) at 55 C.
Error	4/9/2014	3:13:33 PM	None	65537	Backlight Temperature(id=2) at 55 C.
Error	4/9/2014	2:55:33 PM	None	65537	Backlight Temperature(id=2) at 56 C.
Information	4/9/2014	2:54:49 PM	PVP	16777218	SYSMON: System boot. Reason: Software update.
Information	4/9/2014	2:54:32 PM	None	65537	FPGA Firmware Update: Successfully updated.
Information	4/9/2014	2:54:31 PM	None	65539	Microsoft (R) Windows CE (R) 6.00.0000
Information	4/9/2014	2:54:31 PM	None	65540	The Event log service was started.
Information	4/9/2014	2:52:41 PM	PVP	16777218	SYSMON: System boot. Reason: Software update.
Information	4/9/2014	2:52:23 PM	None	65537	FPGA Firmware Update: Successfully updated.
Information	4/9/2014	2:52:22 PM	None	65539	Microsoft (R) Windows CE (R) 6.00.0000
Information	4/9/2014	2:52:22 PM	None	65540	The Event log service was started.
Error	4/9/2014	10:27:59 AM	None	65537	Backlight Temperature(id=2) at 58 C.

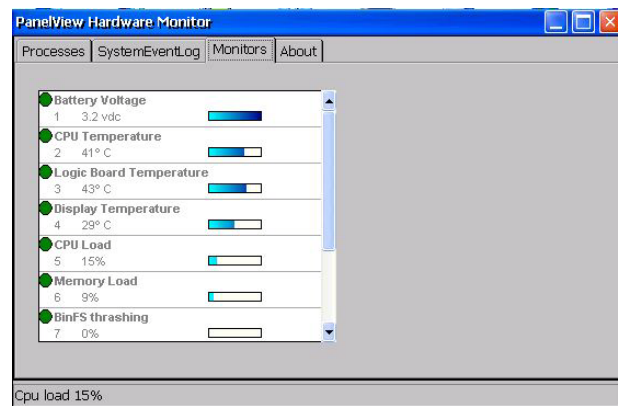
Cpu load 22%

このログは、各イベントの日付とタイムスタンプおよびイベントについての説明テキストを提供します。このログの最大サイズは 1MB (約 4,000 個のレコード) です。ログが 1MB を超えると、最も古い 512K 分の情報が削除されます。ログファイルで以下の操作を実行できます。

- Export Log を押して、ログファイルを \Windows フォルダ内の CSV ファイル (\*.csv) にエクスポートします。デフォルトのファイル名は SystemLog.csv になります。
- Clear Log を押して、ログからすべてのイベントを消去します。
- Details を押して、選択したイベントの詳細を表示します。

## モニタ

Hardware Monitor の Monitors タブでは、ターミナルの継続的な電圧、温度、および負荷情報を提供します。



### バッテリー電圧

Monitors タブでは、リアルタイムクロック用のバッテリーのステータスおよび電圧の読取り値がグラフで表示されます。バッテリー電圧は、電源投入時に更新されてから、1時間ごとに更新されます。

表 24- バッテリーの状態

状態	バッテリー
Depleted	2.0V 未満はバッテリーの故障またはバッテリー切れを示す。
Low	2.0 ~ 2.74V
Normal	2.75V 以上

バッテリー電圧が低くなるかまたは消耗すると、イベントはシステム・イベント・ログに記録されます。

### 温度

Monitors タブでは、ロジックボードのステータスおよび現在温度の読取り値がグラフで表示されます。温度は 10 分ごとに更新されます。

表 25 - 温度の状態

状態	ロジックボード
Low	-
Normal	25 ~ 94°C (77 ~ 201°F)
High	95°C (203°F) 以上

温度センサが故障すると、イベントはシステム・イベント・ログに記録されます。

<b>重要</b>	高温状態になると、自動的に再起動が試行されます。再起動の試行は、システムが十分冷却されて通常動作を再開できるようになるまで、無限に続きます。高温状態はシステム・イベント・ログに記録されます。
-----------	---

## ロゴマネージャ



ロゴマネージャを使用すると、起動時にスプラッシュ画面に表示されるロゴとデフォルトのスクリーンセーバの画像を変更できます。デフォルトのスプラッシュ画面の画像はアレン・ブラドリーのロゴ (ablogo.bmp) です。

ロゴは .bmp、.jpg、.gif、.png 画像のうちのいずれかです。90 x 90 のピクセル数、16 ビットカラー画像で、鮮明な結果が得られます。

新しいロゴを適用する前に、以下の操作を行なえます。

- スプラッシュ画面上でロゴをプレビューする。
- スプラッシュ画面上の固定領域に合わせて画像のサイズを変更する。

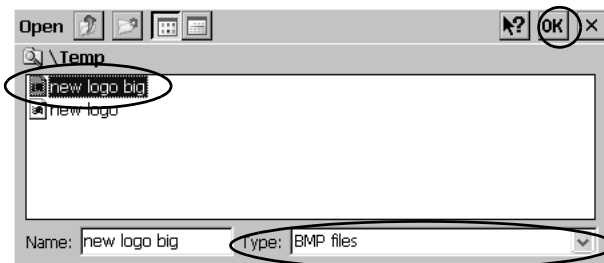
以下の手順に従って、新しいロゴをスプラッシュ画面およびスクリーンセーバに適用してください。

1. コントロールパネルの **Logo Manager** をダブルクリックします。

Logo Manager が開き、現在のロゴが表示されます。

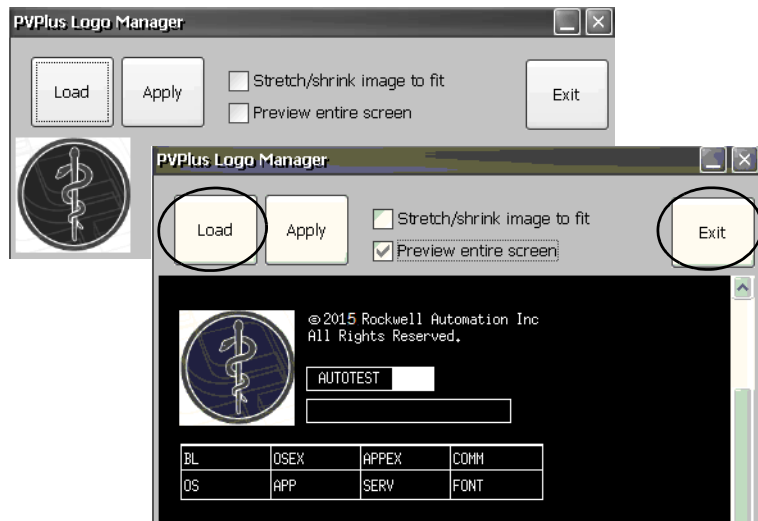


2. Load をクリックします。



3. ロードする新しい画像の場所を選択します。
  - ターミナルのフォルダ。
  - Storage Card2—SD カード
  - USB Storage—USB ドライブ
4. ロードする画像ファイルを選択します。
5. ファイルタイプが正しいことを確認します。
6. OK をクリックします。

新しいロゴが Logo Manager ダイアログボックスに表示されます。



7. Preview entire screen ボックスをチェックして、スプラッシュ画面上にロゴを表示します。  
 ロゴが一部欠けて表示されるか、小さすぎる場合は、Stretch/shrink image to fit ボックスをチェックして、領域内に収まるようにロゴのサイズを変更します。
8. プレビューしてみて問題がない場合は、Apply をクリックします。  
 スプラッシュ画面が更新されたことがダイアログボックスに示されます。デフォルトのスクリーンセーバである ssfloat.bmp は、新しい画像とともに更新されます。
9. OK をクリックし、Exit をクリックして Logo Manager を閉じます。

## ユーザアカウント

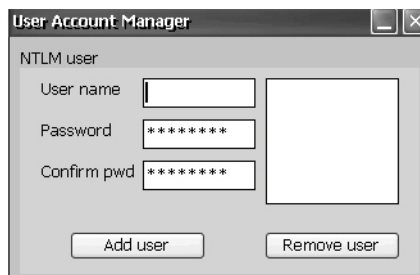
ユーザアカウントを使用すると、FTP サーバ、Web サーバ、およびファイルサーバ使用時のクライアント接続の認証に使用できる、NT LAN manager (NTLM) ユーザアカウントを設定できます。ユーザアカウントはユーザ名とパスワードから構成されます。

**ヒント** NTLM は、Windows オペレーティングシステムでユーザに認証、完全性、および機密性を提供する、セキュリティの高いプロトコルです。NTLM は今でも、Windows 2000、2002、および 2003 のサーバシステムをサポートするために含まれています。

以下の手順に従って、ユーザアカウントを追加してください。



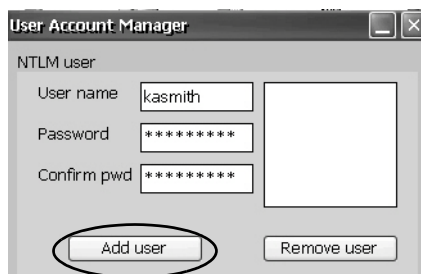
1. コントロールパネルの User Accounts をダブルクリックします。



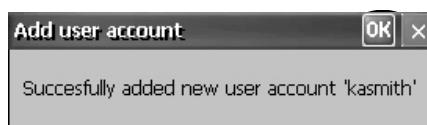
2. User Name フィールド内をクリックして名前を入力します。
3. Password フィールド内をクリックして、フィールドをクリアしパスワードを入力します。

パスワードを入力していくと、アスタリスクが表示されます。

4. Confirm pwd フィールドにパスワードを再度入力します。



5. Add user をクリックします。



6. OK をクリックして、新しいユーザアカウントを承認します。

新しいユーザ名がリストに追加されます。



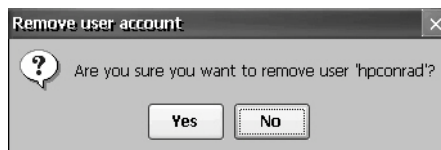
7. さらにユーザアカウントを追加するには、手順 1 ~ 6 を繰り返します。
8. 完了したら、X をクリックしてダイアログボックスを閉じます。



以下の手順に従って、ユーザアカウントを削除します。



1. ユーザ名のリストから名前を選択します。
2. Remove user をクリックします。



3. Yes をクリックして、選択したユーザアカウントの削除を確認します。  
ユーザ・アカウント・リストは、リストから永続的に削除されます。
4. X をクリックして、User Account Manager を閉じます。

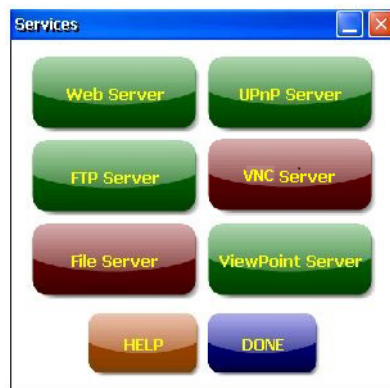
**ヒント U** ユーザアカウントが削除されると、FTP サーバ、Web サーバ、またはファイルサーバ構成の認証リストに入力されているユーザが削除されます。

## サービス



Services

Services アプリケーションでは、PanelView Plus 7 Performance プラットフォームがサポートしているサーバが表示されます。各サーバを有効（開始）または無効（停止）できます。



各ボタンは以下のように色分けされています。

- 緑色は、サーバが実行中であり、システムの起動時に自動的に起動されることを示します。
- 赤色は、サーバが実行されていないことを示します。
- 灰色は、サーバがプラットフォーム上で使用不可であることを示します。

サーバを有効または無効にするには、対応するボタンを押します。ボタンの色がそれに応じて変化します。

## ネットワーク サーバ構成



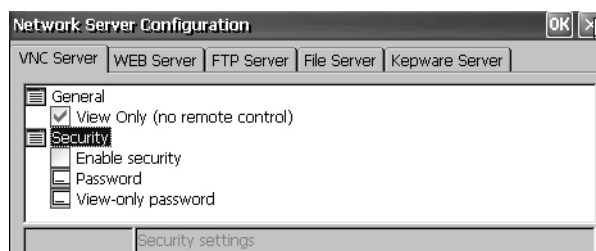
Network Server Configuration アプリケーションでは、イーサネットネットワーク上の VNC、FTP、Web、Kepware、およびファイルサーバのアクティビティに対する構成を設定します。

### VNC サーバ構成

ターミナルでは、2つの VNC クライアントビューアが提供されます。

- Vncviewer.exe はターミナルデスクトップの /Windows フォルダにあります。このビューアを PanelView Plus7 ターミナルの接続、表示、制御用に、PC に展開できます。詳細は、以下のセクションを参照してください。
  - [95 ページの「表示のみの操作でパスワードを必要とする VNC コネクション」](#)
  - [96 ページの「操作の表示と制御を行なうために別々のパスワードを使用する VNC コネクション」](#)
- もう 1つのビューアをターミナルで使用すると、もう 1つの PanelView Plus7 ターミナルに VNC コネクションを確立できます。このビューアにアクセスするには、Start → Programs → VNC Viewer の順に選択します。詳細は、以下のセクションを参照してください。
  - [98 ページの「ローカルターミナルとリモートターミナル間での VNC コネクションの確立」](#)
  - [99 ページの「リモートターミナルへの VNC コネクションの停止」](#)
  - [100 ページの「リモートターミナルへの新しい VNC コネクションの確立」](#)
  - [100 ページの「ローカルターミナルとリモートターミナル間でのファイル転送」](#)

Network Server Configuration ダイアログボックスの VNC Server タブでは、VNC コネクションを介してターミナルを表示または制御するためのクライアントデバイスの設定を構成します。



- ヒント**      ダイアログボックスのタイトルバーで OK をクリックし、新しい設定を適用します。すぐにサービスを再起動するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

表 26 - VNC Server パラメータ

VNC パラメータ	説明	デフォルト値
全般		
View Only (no remote control)	VNC コネクションを介したターミナルディスプレイの表示をユーザに許可する場合は、このオプションボックスをチェックする。 View Onlyのチェックを解除すると、ユーザはVNCコネクションを介してターミナルディスプレイの制御と表示の両方ができる。 セキュリティが無効になっている場合は、ターミナルへの接続時に、ユーザはパスワードの入力を求められない。	表示のみ有効
セキュリティ		
Enable security	ターミナルへの VNC コネクションでパスワード保護を必要とする場合は、このオプションボックスをチェックする。つまり、ユーザは、ターミナルディスプレイを表示または制御する前に有効なパスワードを入力する必要がある。 セキュリティを有効にしている場合は、以下のいずれかのパラメータとしてパスワードを指定する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Password - 操作の制御と表示を行なう場合</li> <li>• View-only password - 操作の表示のみを行なう場合</li> </ul>	無効(チェック解除)
Password	ターミナルディスプレイの制御のためのVNCコネクションを確立するときにユーザが入力する必要があるパスワードを指定する。ボックスをチェックしてから、ダイアログボックスの下部にあるフィールドにパスワードを入力する。このパスワードは最大7文字。 パスワード保護は、以下の場合にターミナルディスプレイの制御が必要とされる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• View Only のボックスのチェックを解除している (制御アクセスを許可する)。</li> <li>• セキュリティが有効になっている。</li> </ul>	パスワードなし
View-only password	ターミナルディスプレイの表示のためのVNCコネクションを確立するときにユーザが入力する必要があるパスワードを指定する。ボックスをチェックしてから、ダイアログボックスの下部にあるフィールドにパスワードを入力する。このパスワードは最大7文字。 <b>ヒント:</b> View Only パラメータのボックスのチェックを解除している場合は、ターミナルへの制御アクセスと表示アクセスを持つことになる。制御アクセスが有効な状態においては、View-only password を指定することで、1人以上のユーザを表示のみのアクセスに制限できる。 表示のみのパスワード保護は、セキュリティが無効になっている場合にターミナルディスプレイの表示で必要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• View Only のボックスをチェックまたはチェック解除している。</li> <li>• セキュリティが無効になっている。</li> </ul>	パスワードなし

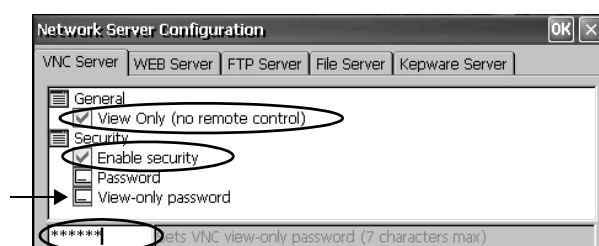
### 表示のみの操作でパスワードを必要とする VNC コネクション

デフォルトの VNC 構成では、ターミナルの表示のみアクセスが有効な状態で、パスワードは不要です。この構成では、VNC ビューアをターミナルからコンピュータにコピーする必要があります。

**ヒント** ターミナルの /Windows フォルダにある vncviewer.exe をご使用のコンピュータにコピーして、TightVNC ソフトウェアをインストールしてください。

以下の手順に従って、ターミナルディスプレイを表示するためのパスワードを要求する VNC コネクションを構成します。

1. コントロールパネルから、Server Config をクリックします。

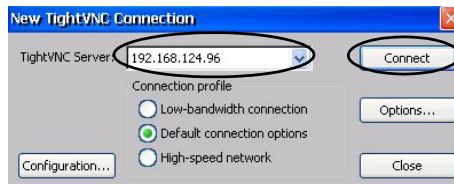


2. VNC Server タブで、以下のオプションのチェックします。
  - View only (no remote control)
  - Enable security

3. View-only password を選択し、表示されたフィールドに 7 文字のパスワードを入力します。
4. OK をクリックし、新しい設定を適用するよう表示されたら、サーバを再起動します。

以下の手順に従って、ターミナルの操作を表示するための VNC コネクションを起動してください。

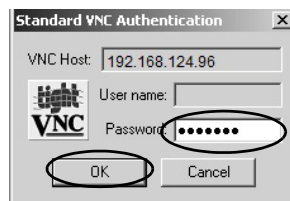
1. ご使用のコンピュータで、Start → Programs → TightVNC → TightVNC Viewer の順に選択します。



2. ご使用のターミナルの IP アドレスを入力し、Connect をクリックします。



**ヒント** システムトレイにあるネットワーク接続アイコンをクリックして、ターミナルの IP アドレスを表示します。



3. ターミナルで定義された View-only password を入力し、OK をクリックします。

PanelView VNC Server が開き、デスクトップ上のターミナルの現在の状況が表示されます。ユーザはターミナルの操作を表示できますが、制御することはできません。

4. 完了したら、PanelView VNC Server を終了します。

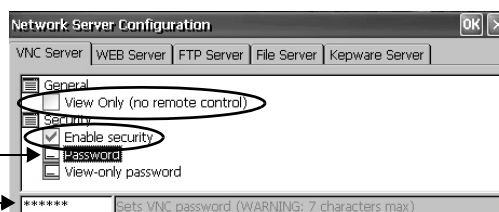
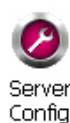
### 操作の表示と制御を行なうために別々のパスワードを使用する VNC コネクション

操作の表示のみと制御を行なうために別々のパスワードを必要とするように VNC サーバを構成できます。この例では、ターミナルに接続するコンピュータに導入されている VNC ビューアを使用します。

**ヒント** ターミナルの /Windows フォルダにある vncviewer.exe をご使用のコンピュータにコピーして、TightVNC ソフトウェアをインストールしてください。

以下の手順に従って、操作の表示のみと制御を行なうための別々のパスワードを必要とするように VNC サーバを構成してください。

1. コントロールパネルから、Server Config をクリックします。



2. VNC Server タブで、以下の操作を行ないます。
  - View only (no remote control) のボックスのチェックを解除します。
  - Enable security のボックスをチェックします。
3. Password を選択して、制御権限用のパスワードを入力します。  
パスワードは最大7文字です。

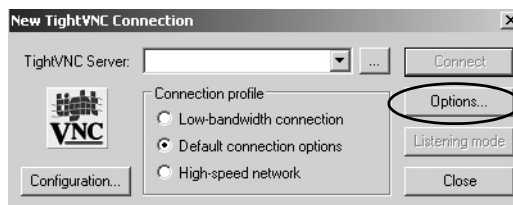


4. View-only password を選択して、表示のみの権限用のパスワードを入力します。
5. OK をクリックし、新しい設定を適用するよう表示されたら、サービスを再起動します。

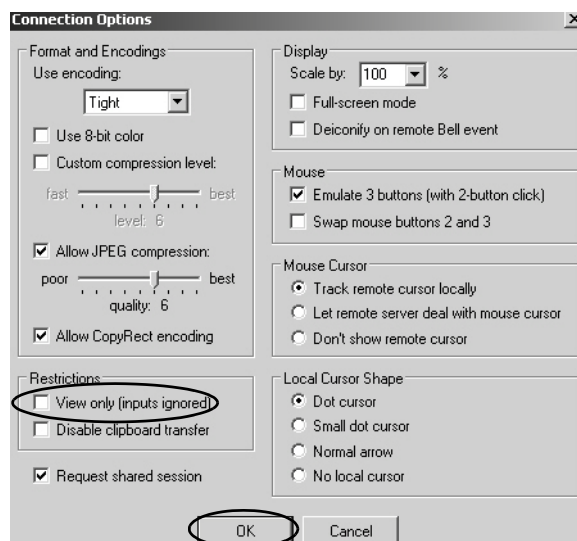
以下の手順に従って、ターミナルの制御を有効にするための VNC コネクションを起動してください。

**ヒント** 操作の表示のみを行なうためのパスワードを必要とする VNC コネクションをコンピュータから起動するには、[95 ページの「表示のみの操作でパスワードを必要とする VNC コネクション」](#)を参照して手順 1～4 を実行します。

1. ご使用のコンピュータで、Start → Programs → TightVNC → TightVNC Viewer の順に選択します。

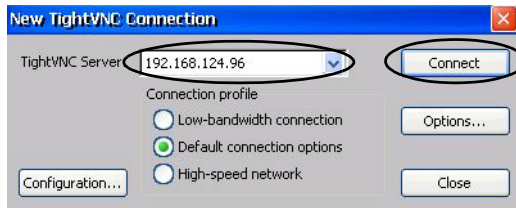


2. Options をクリックします。



3. View only のボックスのチェックを解除します（入力は無視される）。

4. OK をクリックします。

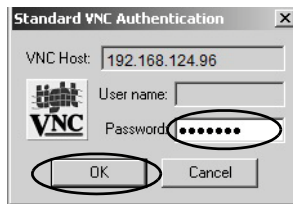


5. ご使用のターミナルの IP アドレスを入力し、Connect をクリックします。



**ヒント** システムトレイにあるネットワーク接続アイコンをクリックして、ターミナルの IP アドレスを表示します。

Standard VNC Authentication ダイアログボックスが開きます。

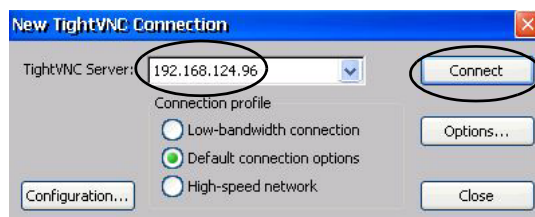


6. ターミナルで定義された control password を入力し、OK をクリックします。
7. コンピュータで、いくつかの操作を実行して、ターミナルを制御できていることを確認します。
8. 完了したら、PanelView VNC Server を終了します。

### ローカルターミナルとリモートターミナル間での VNC コネクションの確立

以下の手順に従って、ローカルターミナルからリモートターミナルへの VNC コネクションを確立してください。

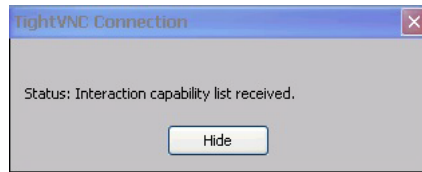
1. ローカルターミナルの Windows デスクトップにアクセスします。
2. ローカルターミナルの (ビューア) デスクトップで、Start → Programs → VNC Viewer の順に選択します。



3. 接続するリモートターミナルの IP アドレスを入力し、Connect をクリックします。

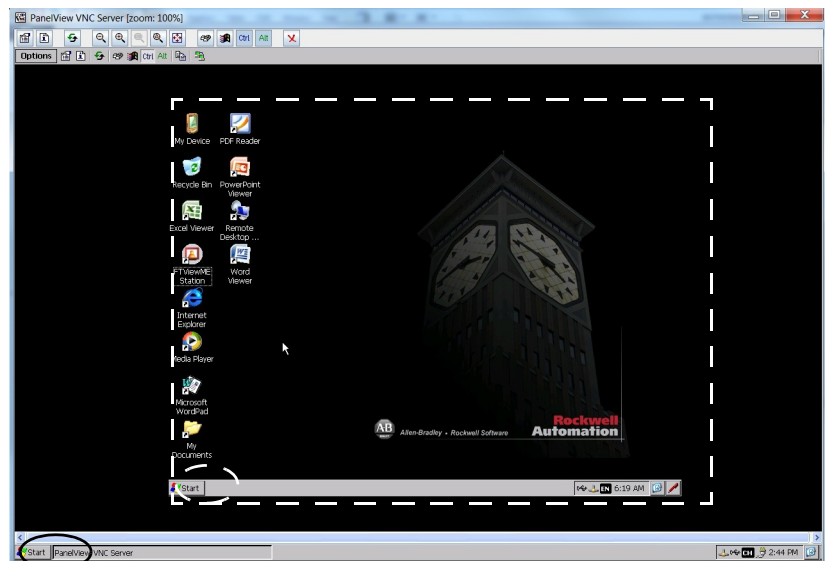
**ヒント** プルダウンメニューから IP アドレスを選択するか、または USB キーボードまたはソフト入力パネル ([80 ページの「ソフト入力パネル」](#)参照) を使用して IP アドレスを入力します。

コネクションの確立中にステータスメッセージが表示されます。ステータスが変わるたびにメッセージが変わります。



コネクションが確立された後、リモートターミナルのデスクトップのロード中に、「Please wait - initial screen loading」というメッセージも表示されます。

画面がロードされた後、ローカルターミナルに、リモートターミナルのデスクトップが表示されます。これで、リモートターミナルの機能にアクセスできます。



白の点線はリモートターミナルを示しますが、参考用です（実際は、ローカルターミナルに点線は表示されません）。

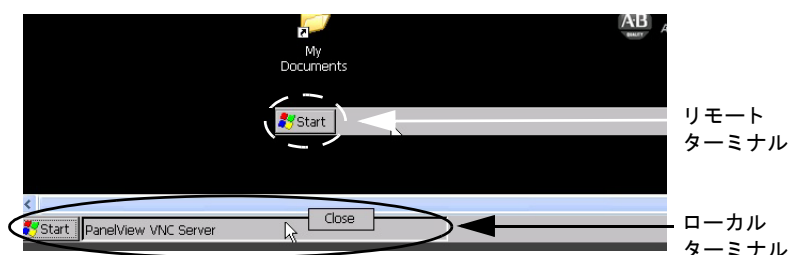
Start ボタンが2つあることに注意してください。白の丸で囲んだものはリモートターミナルで、黒の丸で囲んだものはローカルターミナルです。

## リモートターミナルへのVNCコネクションの停止

以下の手順に従って、ローカルターミナルからリモートターミナルへのVNCコネクションを閉じてください。

1. ローカルターミナルからリモートターミナルへのVNCコネクションを確立します（[98ページ](#)参照）。
2. ローカルターミナルで、PanelView VNC Server を右クリックします。

**ヒント** 右クリックの場合は、1秒以上スクリーンをタッチします。





## 4. Close をクリックします。

リモートターミナルへの VNC コネクションが閉じます。

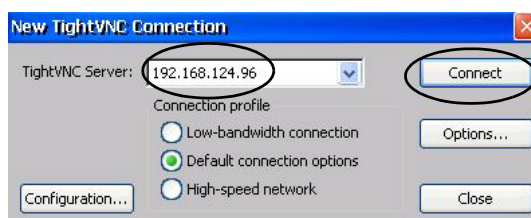
**ヒント** リモートターミナル（サーバ）とローカルターミナル（ビューア）との表示を切替えるには、PanelView VNC Server をクリックします。



## リモートターミナルへの新しい VNC コネクションの確立

以下の手順に従って、別のターミナルへの新しい VNC コネクションを作成してください。

1. ローカルターミナルからリモートターミナルへの VNC コネクションを確立します（[98 ページ](#)参照）。
2. メニューバーで New connection アイコンをクリックします。



3. 接続する新しいリモートターミナルの IP アドレスを入力し、Connect をクリックします。

**ヒント** プルダウンメニューから IP アドレスを選択するか、または USB キーボードまたはローカルターミナル（ビューア）のソフト入力パネル（[80 ページの「ソフト入力パネル」](#)参照）を使用して IP アドレスを入力します。

ローカルターミナルで新しいターミナルへの VNC コネクションが作成されます。



## ローカルターミナルとリモートターミナル間でのファイル転送

TightVNC File Transfer ダイアログボックスでは、以下の作業を行なうことができます。

- 接続されたターミナル間でファイルとフォルダを転送する。
- 選択されたファイルまたはフォルダの名前を変更する。
- フォルダを作成する。
- 選択されたファイルまたはフォルダを削除する。

以下の手順に従って、ローカルターミナルとリモートターミナル間でファイルを転送してください。

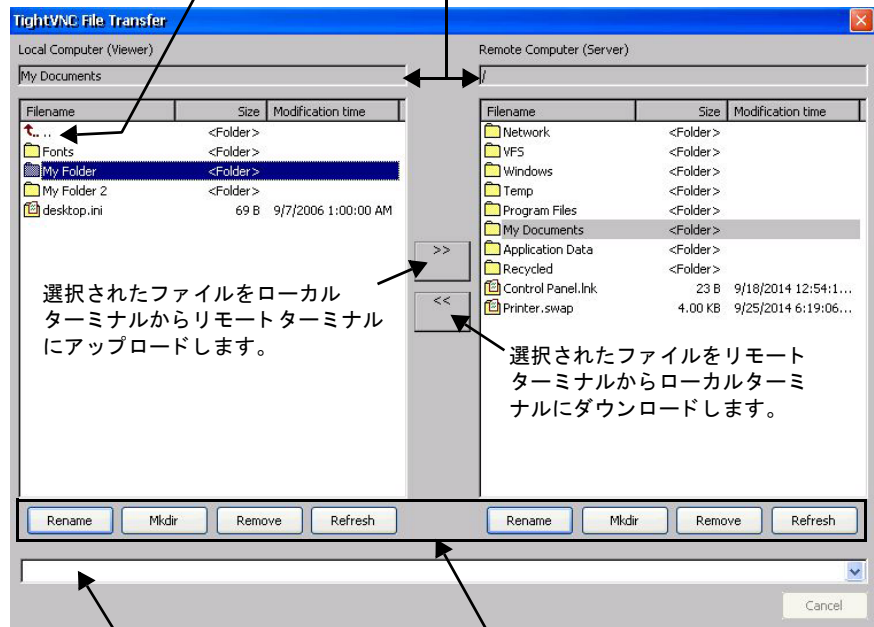
1. ローカルターミナルからリモートターミナルへの VNC コネクションを確立します（[98 ページ](#)参照）。
2. メニューバーで Transfer files アイコンをクリックします。
3. 転送するフォルダまたはファイルを選択します。



4. アップロード (>>) ファイルアイコンまたはダウンロード (<<) ファイルアイコンをクリックします。
5. Yes をクリックします。
6. Refresh をクリックして変更を表示します (必要に応じて)。

矢印をダブルクリックすると、ディレクトリレベルが1つ上に移動します。

現在のディレクトリレベルを示します。



選択されたファイルをローカルターミナルからリモートターミナルにアップロードします。

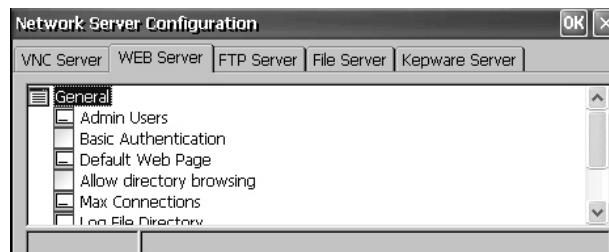
選択されたファイルをリモートターミナルからローカルターミナルにダウンロードします。

現在の VNC セッションでのアクションとエラーを記録するメッセージフィールド。

Rename = ダイアログボックスを開いて、そこで選択されたファイルまたはフォルダの名前を変更できる。  
Mkdir = 新しいフォルダを作成できるようにする。  
Remove = 選択されたファイルまたはフォルダを削除する。  
Refresh = 表示を更新する。

## Web サーバ構成

Network Server Configuration アプリケーションの Web Server タブでは、HTTP Web アクティビティ用の設定を構成します。これらは、Microsoft Windows CE の標準パラメータです。



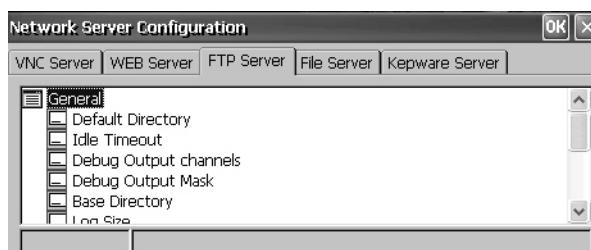
**ヒント** ダイアログボックスのタイトルバーで OK をクリックし、新しい設定を適用します。すぐにサービスを再起動するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

表 27-Web サーバパラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
Admin Users	Web アクティビティの管理が許可されているユーザのリストを指定する。 ボックスがチェックされている場合は、ダイアログボックスの下部に表示されるフィールドに、ユーザ名のリストをセミコロン (;) で区切って入力する。	ADMIN
Basic Authentication	Web サーバへのアクセスでユーザ名とパスワードを必要とする場合は、このオプションボックスのチェックを解除する。	無効(チェック解除)
Default Web Page	ユーザがアクセスを許可されるデフォルトの Web ページを指定する。	default.htm; index.htm
Allow Directory Browsing	Web サーバ上のディレクトリをユーザが参照することを許可する場合は、このオプションボックスをチェックする。	無効(チェック解除)
Max Connections	着信 Web コネクションの最大数を指定する。	256
Log File Directory	ログファイルの格納先のパスを指定する。このファイルには Web アクティビティが記録される。	\\windows\www
Max Log Size	ログ・ファイル・ディレクトリに格納されるログファイルの最大サイズを指定する。 現在のログファイルが最大サイズに達すると、ログファイルが新規作成される。	32768 バイト
NTLM Authentication	Web サーバへのアクセスで有効なユーザ名とパスワードを必要とする場合は、このオプションボックスをチェックする。 NTLM Authentication が有効になっている場合は、Admin Users フィールドに有効なユーザ名を入力する必要がある。 NTLM ユーザアカウントは、コントロールパネルの User Account Manager で定義される。	有効(チェック)

## FTP サーバ構成

Network Server Configuration の FTP Server タブでは、ネットワーク上でのファイル交換用の設定を定義します。これらは、Microsoft Windows CE の標準パラメータです。



デフォルトの FTP 構成では、すべてのユーザが、匿名でログインして FTP デフォルトディレクトリ (\Temp) からファイルをダウンロードすることにより、ターミナルへの FTP コネクションを確立することができます。

**ヒント** ダイアログボックスのタイトルバーで OK をクリックし、新しい設定を適用します。すぐにサービスを再起動するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

表 28 - FTP Server パラメータ

FTP パラメータ	説明	デフォルト値
<b>全般</b>		
Default Directory	ファイルを転送するためのターミナルのファイルの格納場所を指定する。 ユーザが最初に FTP サーバに接続するときにアクセスするディレクトリ。	\Temp\
Idle Timeout	データの転送中に非アクティブな状態の制御コネクションを閉じるまでのアイドル期間を指定する。FTP セッションでは、ファイルの転送中に 1 つの制御コネクションと 1 つのデータコネクションが必要とされる。 タイムアウトを設定しないと、対応するクライアントが制御コネクションを閉じずにクラッシュした場合に FTP サーバプロセスがいつまでも待ち状態のまま放置される可能性がある。	300 秒 (5 分)
Debug Output Channels	デバッグ出力チャネルの数を指定する。	2
Debug Output Mask	デバッグで使用される出力マスクのポート番号を指定する。	23
Base Directory	FTP ログファイルと他のサポートファイルの格納先のパスを指定する。	\Windows
Log Size	FTP アクティビティを記録するファイルの最大サイズを指定する。ログファイルはベースディレクトリに格納される。 現在のログファイルが最大サイズに達すると、ログファイルが新規作成される。	4096 バイト
<b>Security パラメータ</b>		
Use Authentication	FTP サーバへのアクセスで有効な NTLM ユーザ名とパスワードを必要とする場合は、このオプションボックスをチェックする。 認証が有効になっている場合は、User List フィールドに 1 つ以上の有効なユーザ名を入力する必要がある。 NTLM ユーザアカウントは、コントロールパネルの User Account Manager で定義される。	有効 (チェック)
Allow Anonymous Logins	すべてのユーザに、FTP サーバへの接続を許可する場合は、このオプションボックスをチェックする。匿名ログインでは、ユーザ名とパスワードは必要とされない。	有効 (チェック)
Allow Anonymous Uploads	匿名でログインしているユーザがファイルを FTP サーバ (またはデフォルトディレクトリ) にアップロードする (書込む) ことを許可する場合は、このオプションをオンにする。 オフの場合、匿名でログインしているユーザは、サーバからファイルをダウンロード (コピー) できる。	無効 (チェック解除)
Allow Anonymous VRoots	匿名でログインしているユーザが仮想ルートにアクセスすることを許可する場合は、このオプションボックスをチェックする。	無効 (チェック解除)
User List	FTP サーバにアクセスしてデフォルトディレクトリとの間でファイルを交換することを許可される NTLM ユーザを指定する。 ボックスがチェックされている場合は、ダイアログボックスの下部に表示されるフィールドに、NTLM ユーザ名のリストをセミコロン (;) で区切って入力できる。ユーザ名とパスワードは、コントロールパネルの User Account Manager で定義される。	なし

### FTP 匿名ログインとアップロード

デフォルトの FTP security オプションでは、ターミナルに匿名でログインでき、ご使用のコンピュータとターミナルのデフォルトの FTP フォルダの間でファイルをコピーできます。



**ヒント** Allow Anonymous Uploads をオフにしている場合、ターミナルのデフォルト FTP フォルダからファイルをコピーすることはできません、そのフォルダへファイルをコピーすることはできません。

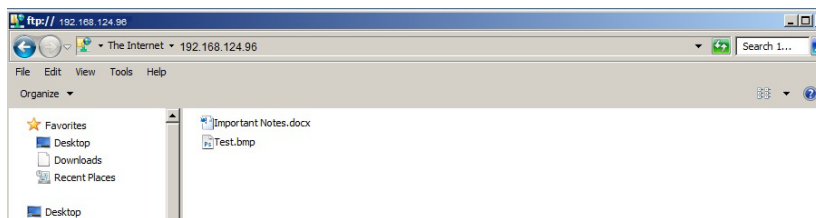
以下の手順に従って、匿名ログインと FTP フォルダとの間でのファイル転送を使用して、ターミナルへの FTP コネクションを確立してください。

1. ご使用のコンピュータで、Web ブラウザまたは任意のフォルダを開きます。
2. システムトレイにある Network Connection アイコンをクリックして、ターミナルの IP アドレスを決定します。
3. アドレスフィールドにターミナルの IP アドレスを入力します。

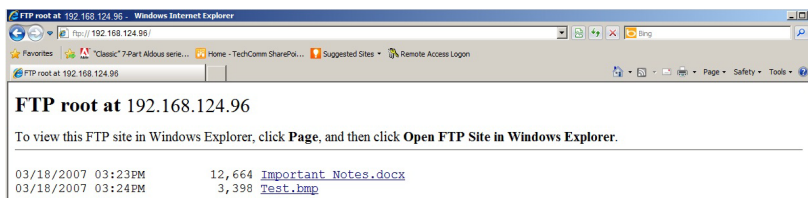


**例** IP アドレスの構文には、ftp://ipaddress\_of\_the\_terminal を使用します。  
例えば、ftp://192.168.124.96 です。

ターミナルの FTP デフォルトディレクトリである \Temp フォルダに対してコネクションが確立します。このターミナルには 2 つのファイルが表示されます。



Web ブラウザから FTP コネクションを起動する場合、表示は以下のようになります。

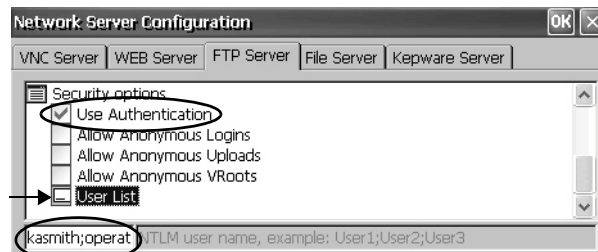


フォルダビューを表示するには、Page プルダウンメニューから、Windows Explorer で Open FTP site を選択します。

4. コンピュータとターミナルの FTP フォルダ間でファイルを転送します。
  - ファイルを FTP フォルダからコンピュータへドラッグまたはコピーします。
  - ファイルをコンピュータから FTP フォルダへドラッグまたはコピーします。

## ユーザ認証を必要とする FTP コネクション

FTP コネクションを確立する前に、ユーザ名とパスワードを要求することができます。FTP Server タブで、Use Authentication ボックスをチェックします。User List を選択し、タブの下部で開いているフィールドに有効なユーザ名を入力します。



**ヒント** ユーザ名とパスワードは、コントロールパネルの User Accounts アプリケーションで設定します。詳細は、[92 ページの「ユーザアカウント」](#)を参照してください。

以下の手順に従って、最初に有効なユーザ名とパスワードを入力することで、ターミナルへの FTP コネクションを確立してください。

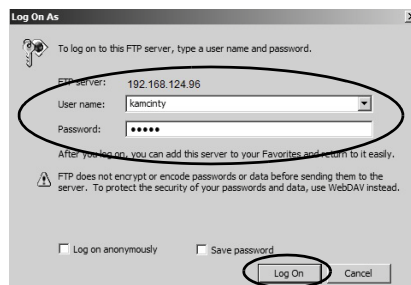
1. ご使用のコンピュータで、任意のフォルダまたは Web ブラウザを開きます。
2. システムトレイにある Network Connection アイコンをクリックして、ターミナルの IP アドレスを決定します。
3. Windows Explorer のアドレスフィールドにターミナルの IP アドレスを入力します。



**例** IP アドレスの構文には、ftp://ipaddress\_of\_the\_terminal を使用します。

例えば、ftp://192.168.124.96 です。

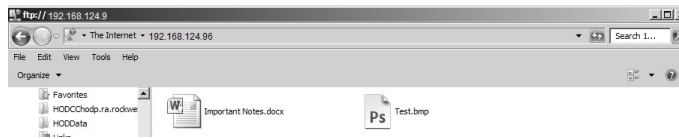
4. FTP Folder Error ダイアログボックスが表示される場合は、OK をクリックします。
5. File メニューから Login As を選択します。



**ヒント** ユーザ名は FTP 構成の User List に含まれている必要があり、User Accounts アプリケーションで有効なアカウントとして事前に設定済みでなければなりません。

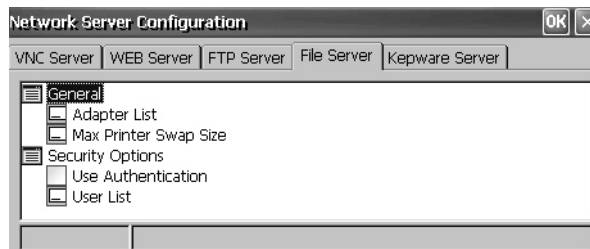
6. 有効なユーザ名とパスワードを入力し、Log On をクリックします。

ターミナル上のデフォルト FTP ディレクトリが開きます。このフォルダとの間でファイルを転送できます。



## ファイルサーバ

Network Server Configuration の File Server タブでは、ネットワーク上のコンピュータ間でファイル、プリンタ、シリアルポート、および各種通信への共有アクセスを可能にするための設定を指定します。これらは、Microsoft Windows CE の標準パラメータです。



**ヒント** ダイアログボックスのタイトルバーで OK をクリックし、新しい設定を適用します。すぐにサービスを再起動するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

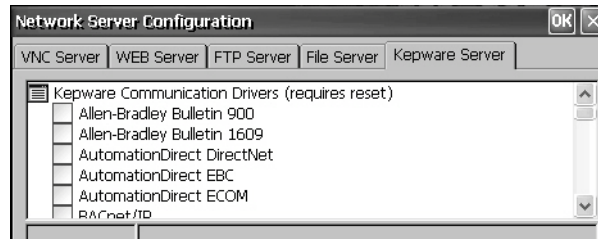
表 29- ファイルサーバ構成

パラメータ	説明	デフォルト値
<b>全般</b>		
Adapter List	有効なアダプタのリストを示す。	*(すべてのアダプタ)
Max Printer Swap Size	プリンタのスワップファイルの最大サイズを指定する。	4096 バイト
<b>Security オプション</b>		
Use Authentication	ファイルサーバへのアクセスで有効な NTLM ユーザ名とパスワードを必要とする場合は、このオプションボックスをチェックする。 認証が有効になっている場合は、User List フィールドに1つ以上の有効なユーザ名を入力する必要がある。 NTLM ユーザアカウントは、コントロールパネルの User Account Manager で定義される。	無効 (チェック解除)
User List	ファイルサーバへのアクセスを許可されている有効な NTLM ユーザのリストを指定する。 ボックスがチェックされている場合は、ダイアログボックスの下部に表示されるフィールドに、NTLM ユーザ名のリストをセミコロン (;) で区切って入力できる。ユーザ名とパスワードは、コントロールパネルの User Account Manager で定義される。	なし

## KEPServer 構成

Network Server Configuration の Kepware Server タブでは、接続されたデバイス用の Kepware 通信ドライバを選択できます。

**ヒント** KepWare ドライバの全リストについては、<http://www.rockwellautomation.com/knowledgebase> にアクセスし、ナレッジベースで「KepWare Drivers for PanelView Plus」というキーワードを入力して検索してください。



**重要** タイトルバーで OK をクリックし、新しい設定を適用します。すぐにサービスを再起動するかどうかを確認するメッセージが表示されます。ユーザはさらに、ターミナルを再起動する必要もあります。

## システム情報

System Information アプリケーションは、ご使用のターミナルに関するシステム全体のプロパティを表示および設定できるタブを備えています。

### 全般情報

System Information の General タブには、Windows CE オペレーティングシステムの現在のバージョン、プロセッサのタイプ、速度、および使用可能なメモリが表示されます。





## スタートアップオプション

System Information の Startup Options タブでは、以下のスタートアップオプションを設定できます。

- バッテリーの警告を表示または非表示にする。
- ターミナルをオープンまたはクローズドとして起動する。
- イーサネットポートを DLR、スター、またはリニアトポロジ向けに構成する。
- セーフモードを無効 / 有効する。
- システム・ウォッチドッグ・エラーを表示または非表示にする。



### バッテリーの警告

バッテリーが電力低下しているか、検出されないか、消耗している場合は、ターミナルが起動するたびに警告が表示されます。

- ヒント**
- 日付と時刻の精度が重要でない場合、ターミナルはバッテリーなしでも操作できます。
  - バッテリーを交換するとき、デスクトップのコントロールパネルまたはFactoryTalk View ME Station のターミナル設定からシステムの日付と時刻の精度を確認できます。



バッテリーの取扱いに関して 3 つのオプションが用意されています。

バッテリー警告のスタートアップオプション	説明
Always show at startup (continue with startup)	起動時に、FactoryTalk View ME Station ソフトウェアがバックグラウンドで実行されている状態でバッテリーの警告を表示する。これがデフォルト値。
Always show at startup (halt startup)	起動時にバッテリーの警告を表示するが、起動またはブートプロセスは、OK を押すまで停止する。
Never show at startup	起動時にバッテリーの警告を非表示にする。



## スタートアップオプション

Shell オプションを使用すると、起動時にオープンデスクトップまたはクローズドデスクトップを起動したり、ボタンコントロールの外観を設定したりできます。



シェル起動オプション	説明
Type	<p>起動時にターミナルをオープンシステムまたはクローズドシステムとして起動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• (Open system) - 起動時に Windows CE デスクトップを起動する。</li> <li>• (Closed system) (デフォルト) - 起動時に FactoryTalk View ME Station の構成モードを開始する。</li> </ul> <p>また、Terminal Settings → Desktop Access Setup の順に押して、FactoryTalk View ME Station の構成モード内でデスクトップへのアクセスを許可または制限することもできる。<a href="#">44ページの「デスクトップアクセス」</a>を参照してください。</p>
User Interface Button Controls	<p>起動時のコントロールボタンの外観を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows XP Style (デフォルト)</li> <li>• Windows 95 Style</li> </ul>

## ブートオプション

Boot オプションは、起動時にセーフモードに入ることを可能にします。

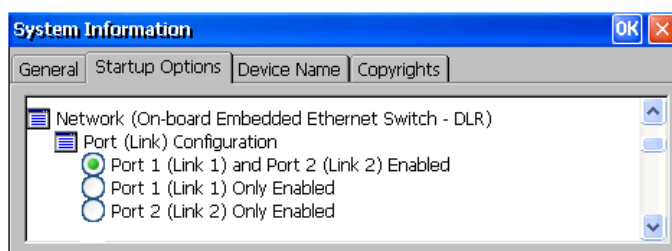


セーフモードのオプション	説明
Do not detect safe mode request at startup	<p>起動時にセーフモードの検出を無効にする。これがデフォルト値。</p>
Detect safe mode request at startup	<p>起動中にターミナルディスプレイの左下隅に小さな白いボックスを表示する。この白いボックスを押し続けるとセーフモードに入る。これにより、ロードされた FactoryTalk View ME アプリケーションを介さずに直接、構成モードに入ることができる。白いボックスを押さないと、システムは通常に起動する。</p> <p>メンテナンスモードにアクセスすることで、セーフモードに入ることもできる。<a href="#">144ページの「メンテナンスモードでの操作」</a>を参照してください。</p>

## イーサネットポートの構成

「Network (On-board Embedded Ethernet Switch - DLR)」では、そのネットワークポロジに対するターミナルのオンボード・イーサネット・スイッチを構成するオプションがあります。ターミナルメニューからイーサネットポートを構成することもできます。[54ページの「イーサネットポートの構成」](#)を参照してください。

選択を変更した後、ターミナルを再起動して変更を有効にします。



ポート（リンク）構成	説明
Port 1 (Link 1) and Port 2 (Link 2) Enabled	DLR 構成で、リンク 1 とリンク 2 のイーサネット接続を有効にする。
Port 1 (Link 1) Only Enabled	スターまたはリニア構成で、リンク 1 のイーサネット接続を有効にする。
Port 2 (Link 2) Only Enabled	スターまたはリニア構成で、リンク 2 のイーサネット接続を有効にする。

### ウォッチドッグエラー

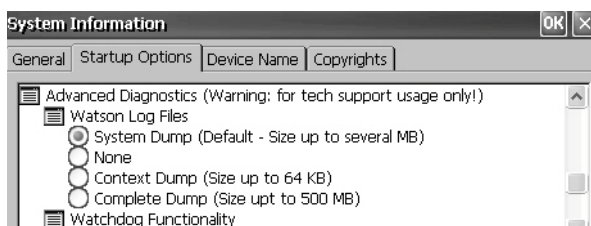
起動時にウォッチドッグエラーを表示または非表示にできます。



ウォッチドッグ・エラー・オプション	説明
Always show watchdog errors at startup	起動時に重大なウォッチドッグエラー(エラー02)を表示し、通常のブートプロセスを停止する。これがデフォルト値。 システムからメンテナンスウィンドウが起動されて、ウォッチドッグエラーが表示される。ユーザはこのウィンドウからブート処理を続行できる。詳細は、 <a href="#">144ページの「メンテナンスモードでの操作」</a> を参照してください。 エラーはシステム・イベント・ログに記録される。
Never show watchdog errors at startup	起動時にエラーを非表示にし、エラーをシステム・イベント・ログに記録する。

### 高度な診断

Advanced Diagnostics は、システムのエラーを診断して解決するための技術サポートで使用されるもので、通常のプロダクション環境で使用するためのものではありません。



## デバイス名

System Information の Device Name タブでは、デバイス名とデバイスの説明を指定することで、ネットワーク上の他のデバイスに対してユーザのターミナルを識別します。



**ヒント** デバイス名は固有のものでなければなりません。重複する名前を指定すると、競合状態になり、ネットワーク問題が発生します。

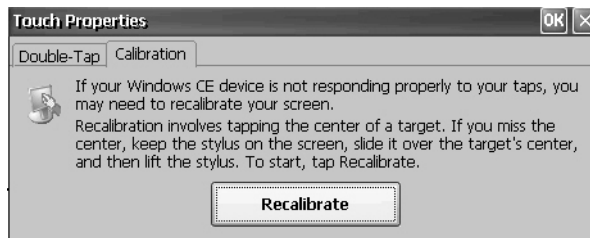
## タッチ プロパティ



Touch プロパティは、タッチスクリーンを備えた機器でのみアクセスできます。このプロパティで、タッチスクリーンのキャリブレーションとタッチスクリーンのタップ感度を設定できます。

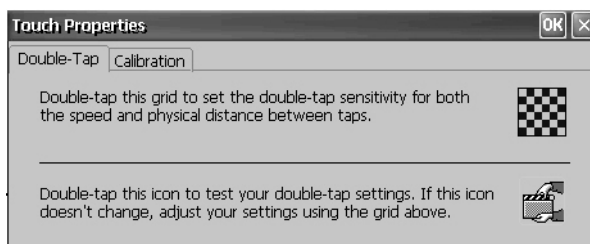
### キャリブレーション

Calibration タブでは、タップしてもデバイスが適正に応答しない場合にタッチスクリーンを再調整できます。ダイアログボックスの手順に従って、再調整を行なってください。



### ダブルタップ

Double-Tap タブでは、タッチスクリーンのダブルタップ感度の設定とテストを実施できます。



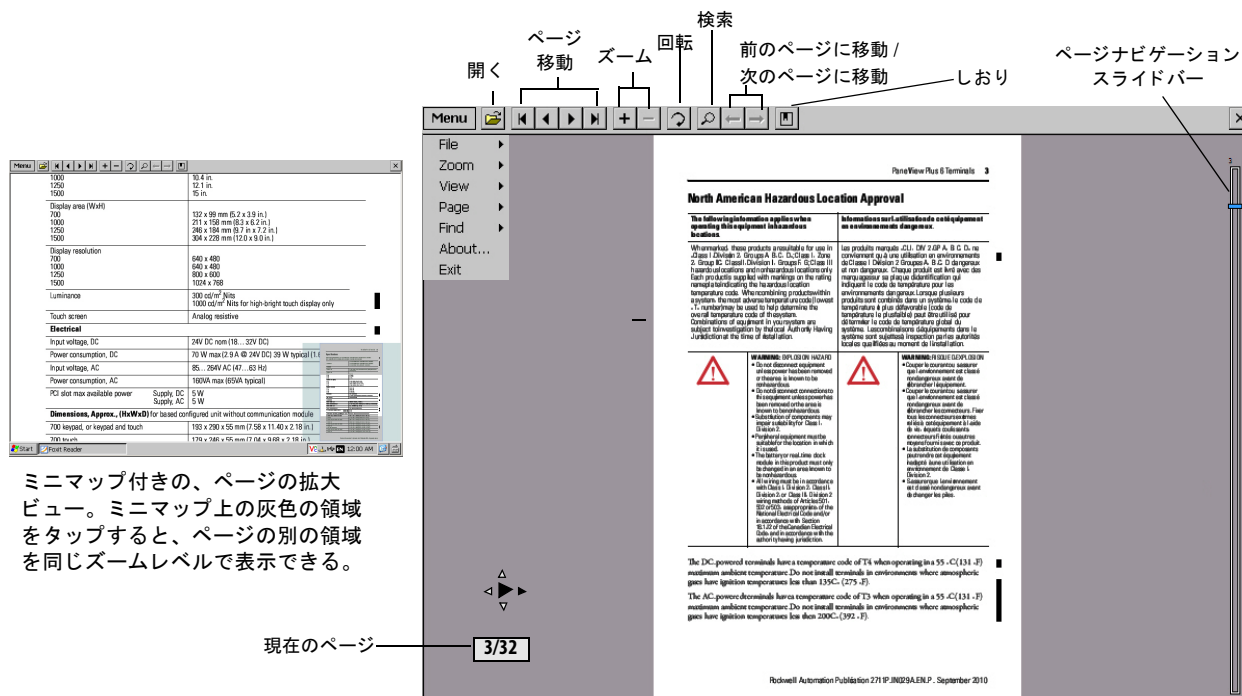
# PDF リーダ



PDF リーダには、一般的な表示機能と検索機能があります。Windows デスクトップまたはコマンドプロンプトから、PDF リーダを実行できます。

PDF ドキュメントを表示するときは、メニューまたはツールバーから機能を開始できます。オリジナルの PDF で作成された「しおり」がしおりに表示されます。

図 8 - PDF リーダのワークスペース



ミニマップ付きのページの拡大ビュー。ミニマップ上の灰色の領域をタップすると、ページの別の領域を同じズームレベルで表示できる。

タッチ・スクリーン・ターミナルではタッチまたはドラッグによって一部の表示機能を開始できます。

表 30 - タッチスクリーンでの操作

機能	操作	インジケータ
ズームインまたはズームアウト	ズームインを行なうには画面を1回タップする。 ズームアウトを行なうには画面をもう1回タップする。 Menu → View → Minimap の順に選択すると、ワークスペースの右下にページの縮小ビューが表示される。灰色の領域をタップしてビューを変更できる。	
ページの移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>次のページまたは前のページを表示するには、スタイラスまたは指を右方向 / 左方向にドラッグする。インジケータによって、ドラッグしている方向が表示される。ボックスに、現在のページ / 総ページ数が表示される。</li> <li>画面を上方向 / 下方向にドラッグして、右側にあるページ移動バーをアクティブにする。ページ移動を行なうには、スライドバーを上方向または下方向に動かす。</li> </ul>	  図 8 のページ移動バーを参照。
回転	ページを回転させるには、時計回りまたは反時計回りの回転方向にドラッグする。	

## コマンド・プロンプト・パラメータ

PDF リーダを Windows コマンドプロンプトから実行するには、Start → Programs → Command Prompt の順に選択して、[表 31](#) に示されたコマンドパラメータを実行します。

### コマンドプロンプトの構文

Foxitreader “ファイルパス/ファイル名 .pdf” パラメータパラメータ値

- ファイルパスとファイル名を二重引用符で囲んで入力し、スラッシュを使用して、ファイル・パス・ディレクトリとファイル名を区切ります。
- パラメータとファイル名、およびパラメータとオプションのパラメータ値を区切るには、スペースを使用します。

### コマンドプロンプトの例

Foxitreader “windows/desktop/example.pdf” -p 4

このコマンドプロンプトは、Foxit Reader で example.pdf の 4 ページを開きます。

表 31-コマンド・プロンプト・パラメータ

パラメータ	パラメータの機能	例	説明
-p	ページに移動	Foxitreader “ファイルパス / ファイル .pdf” -p 2	PDF ファイルのページ 2 を開く。
-zw	画面幅に合わせる	Foxitreader “ファイルパス / ファイル .pdf” -zw	PDF ファイルを開き、ページを画面幅に合わせて表示する。
-zp	画面にページ全体を表示する	Foxitreader “ファイル .pdf” -zp	PDF ファイルを開き、ページ全体を表示する。
-z	拡大 / 縮小	Foxitreader “ファイル .pdf” -z 150	PDF ファイルを開き、150% に拡大する。
複数のパラメータ	パラメータとパラメータ値の間にスペースを入力する。	Foxitreader “ファイルパス / ファイル .pdf” -p 2 -zw	PDF ファイルのページ 2 を開き、ページを画面幅に合わせて表示する。
-b	しおりに移動	Foxitreader “ファイルパス / ファイル .pdf” -b “Bookmark1”	Bookmark1 内の指定された場所に移動して PDF ファイルを開く。
-d	指定された宛先に移動	Foxitreader “ファイルパス / ファイル .pdf” -b “Destination1”	Destination1 内の指定された場所に移動して PDF ファイルを開く。
-g	メニューの File → Open コマンドおよび Open フォルダボタンを無効にする。	Foxitreader “ファイルパス / ファイル .pdf” -g	PDF ファイルを開き、メニューの File → Open コマンドと Open ボタンを灰色表示にする。

**Notes:**

## コンポーネントの取付けおよび交換

項目	参照ページ
USB ポートへの接続	116
USB プリンタのインストール	117
SD カードの挿入	119
スピーカの接続	121
バッテリーの交換	122
保護オーバーレイの取付け	124



### 注意：静電防止対策 (ESD)

この機器は、静電気の影響を受けやすいため、静電気によって内部が損傷し、通常の動作に影響が出る場合があります。この機器を取り扱うときは以下のガイドラインに従ってください。

- 接地した物体に触れて、体内の静電気を放電してください。
- 適切に接地されたリストバンドを着用してください。
- コンポーネントのボード上のコネクタまたはピンには触れないでください。
- 静電気対策が取られているワークステーションを使用してください（入手可能な場合）。



注意：コンポーネントの取付けまたは交換の前に、すべての電源を切断してください。電源を切断しないと、感電またはターミナルの損傷が発生する恐れがあります。



本機器が使用済みになった際は、分別されない一般のごみとは別に回収する必要があります。

### ヒント

サポートされているデバイスの完全なリストについては、<http://www.rockwellautomation.com/knowledgebase> にアクセスし、ナレッジベースで「PanelView Plus Hardware Compatibility List」というキーワードを入力して検索してください。

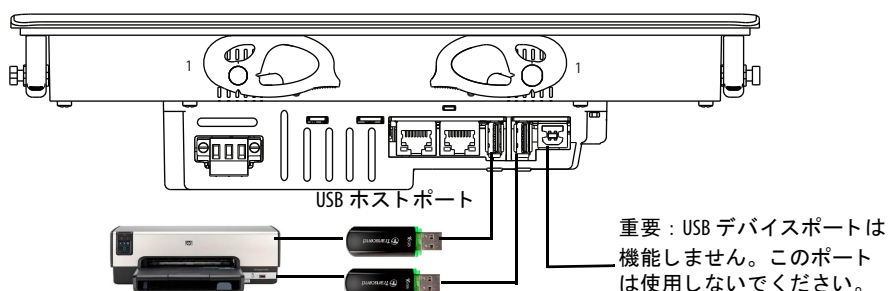
## USBポートへの接続

ターミナルは、2つの USB 2.0 (タイプ A) ホストポートを備えています。

- USBホストポートは、取り外し可能なUSBドライブとUSBプリンタをサポートしています。

**重要** 危険な領域での USB ホストポートおよび USB 周辺機器の使用については、[19ページの「USB 周辺機器に必要な回路ポートパラメータ」](#)を参照してください。

**重要** USB ホスト接続は一時的な使用を目的としています。実行時の操作には使用しないでください。



アイコンは USB ホスト接続を示します。USB ホスト接続は、DC5V で 0.5A をサポートします。接続する USB 機器は、この電源負荷を超えてはなりません。

表 32-USB コネクタのピン配列

USB ポート	USB アイコン	USB コネクタ	ピン	信号	説明
ホスト			1	VCC	+5V
			2	D-	データ -
			3	D+	データ +
			4	GND	接地



**警告**：USB ポートから給電されない USB 機器は、ターミナルと同じエンクロージャ内に配置する必要があります。USB 機器はターミナルと同じ接地システムに接続し、ガルバニ絶縁を提供する USB ハブと使用する必要があります。

USB 2.0 互換性のあるターミナルには外部電源 USB ハブだけを接続します。USB ハブにデバイスを取付ける前に、電源アダプタが接続され電源が投入されていることを確認してください。

## USB ケーブル

エラーのない伝送を実現するため、Hi-speed USB 2.0 認定ケーブルのみを使用するようにしてください。



## USBプリンタのインストール

ターミナルは、キャノン社、エプソン社、ヒューレット・パッカード社、ブラザー社などの USB プリンタ 1 台の接続に対応しています。プリンタは、適切なドライバが使用可能な場合、プラグ & プレイのインストールと手動インストールをサポートしています。プリンタは、ターミナル上の USB ポートに接続できます。

**ヒント** サポートされているプリンタについては、<http://www.rockwellautomation.com/knowledgebase> にアクセスし、ナレッジベースで「Printers Supported on PanelView Plus」というキーワードを入力して検索してください。


プリンタを構成および管理するには、デスクトップのコントロールパネルにある  Printers アプリケーションを使用します。プリンタのタイプごとのウィザードがサポートされています。

表 33-プリンタのサポート



プリンタのタイプ	説明
ローカル USB	JETCET がサポートされているプリンタを USB ホストポートに接続できる。USB ホストポートに接続されているプリンタは、リモートターミナル上のネットワークプリンタとして構成されている場合、そのリモートターミナルとの共有が可能である。
ネットワーク	ターミナルは、イーサネットポートを介してネットワークに接続されているリモートプリンタをサポートしている。この種のプリンタは、デバイス名または IP アドレスによってアドレス指定できる。
RDP /ICA	ターミナル上の RDP (Remote Desktop Protocol) セッションで実行されている Windows サーバアプリケーションに対してローカルプリンタを使用可能にすることができる。

プリンタを構成し終えたら、デスクトップアプリケーションと FactoryTalk View Machine Edition Station の構成モードからそのプリンタにアクセスできます。Terminal Settings を押して、Print Setup を選択してください。また、アプリケーションではプリンタの選択と共有を行なうこともできます。

## プラグ & プレイインストール

以下の手順に従って、Windows デスクトップからプラグ & プレイプリンタをインストールしてください。プリンタの手動インストールについては、[119 ページの「プリンタの手動インストール」](#)を参照してください。

**ヒント** この手順では、例として、ヒューレット・パッカード社の HP deskjet 5650 プリンタのプラグ & プレイのインストールを取り上げます。


1. プリンタは、ターミナル上の USB ホストポートに接続します。
2. プリンタの電源コードをコンセントに差し込んで、プリンタの電源を投入します。

Windows によって自動的にプラグ & プレイプリンタが検出され、ほとんどの場合、ユーザによる選択操作は必要ありません。

プリンタの印刷準備が完了します。

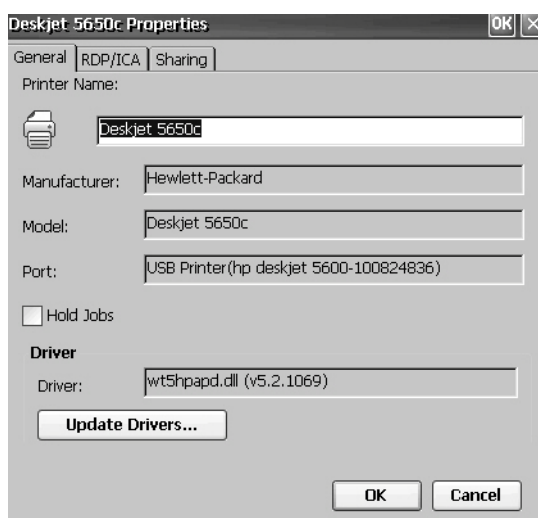
**重要** プラグ & プレイの自動インストールがプリンタでサポートされていない場合は、以下のエラーが、Hardware Monitor のシステム・イベント・ログに記録されます。

例 : JETCET PRINT was unable to auto-configure printer.To manually configure printer, go to the Printers folder from the Control Panel (JETCET PRINT はプリンタを自動構成できませんでした。プリンタを手動で構成するには、コントロールパネルから Printers フォルダにアクセスしてください。)

3. デスクトップのコントロールパネルから Printers  アプリケーションを開いてプリンタのインストールを確認します。

Deskjet 5650C プリンタのアイコンに注意してください。チェックマークは、このプリンタがデフォルトプリンタであることを示しています。

4. File メニューから、Properties を選択してプリンタのプロパティを表示します。

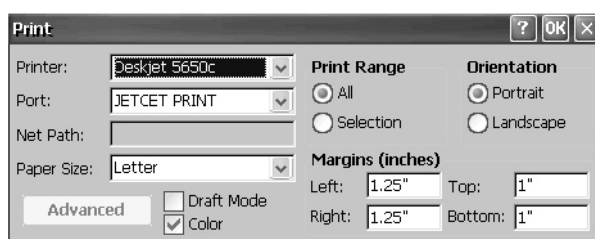


プリンタプロパティには、プリンタ名、メーカー名とモデル、印刷ドライバ、およびポート固有のパラメータが含まれます。

- ヒント**
- 新しいプリンタ構成は、電源を切って再投入する動作を経ても維持されます。
  - デスクトップのコントロールパネルを通じたプリンタ設定は、FactoryTalk View ME Station で Terminal Settings → Print Setup の順に押すことでも使用できます。


5. プリンタを右クリックし、テストページを印刷してインストールを確認します。

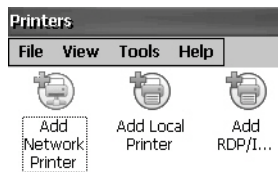
WordPad などのアプリケーションから印刷するときは、設定を調整できる Print ダイアログボックスが開きます。



## プリンタの手動インストール

以下の手順に従って、サポートされているプリンタを手動で設定してください。

1. プリンタは、ターミナルの USB ポートに接続します。
2. プリンタの電源コードをコンセントに差し込んで、プリンタの電源を投入します。
3. デスクトップのコントロールパネルから、Printers  を開きます。
4. Add Local Printer をクリックします。



5. Add Local Printer Wizard の手順に従ってプリンタを構成します。
  - a. 接続されたプリンタが USB プリンタポート上に表示されることを確認します。
  - b. JETCET プリンタのメーカー名とモデルを選択します。
  - c. デフォルトのプリンタ名をそのまま使用するか、別の名前を入力します。
  - d. テストページを印刷して、インストールされたプリンタが動作するか確認します。
  - e. ネットワーク上でプリンタを共有するかどうかを指定します。

## SD カードの挿入

SD カードをターミナルの SD カードスロットに差し込むと、格納容量を追加できます。サポートされているカードは Cat.No. 1784-SD1 および 1784-SD2 です。SD カードはホットスワップ可能です。つまり、ターミナルの電源投入および動作中に挿入および取り外すことができます。



### 警告：爆発の危険

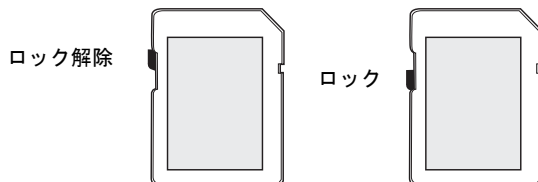
電源を投入した状態で SD カードを取り外したり、挿入したりすると、電氣的なアークが発生する場合があります。危険な環境で取付けを行なっている場合は、これによって爆発が起こる可能性があります。

電源を切断し、周辺に危険がないことを確認するまでは、SD カードを取り外したり挿入したりしないでください。

SD カードスロットには、オペレータターミナルを取付けたパネルの内側または背面からアクセスできます。

以下の手順に従って、SD カードをカードスロットに取付けてください。

1. 希望の運用に応じて SD カードがロックまたはロック解除されていることを確認します。
  - ロックが解除されている場合、ターミナルはカードのデータを読み書きできます。
  - ロックされている場合、ターミナルはカードのデータを読取ることのみ可能です。

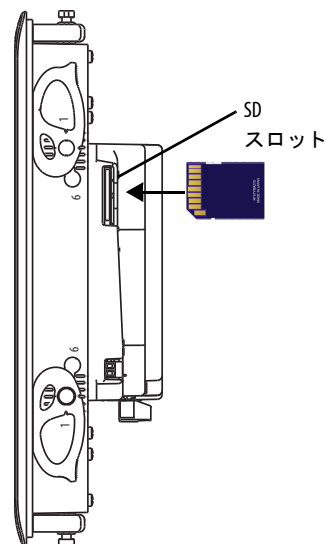


**注意:** スロットに挿入する前に SD カードを正しい向きにする。スロットにカードを無理やり押し込むと、カードやターミナルが損傷することがある。

2. カチッというまで SD カードをスロットにしっかり挿入します。

カチッと音がしたら、カードは所定の位置にロックされています。

カードを取り外すには、カードをわずかに押します。SD カードのロックが解除され、スロットから取り外すことができます。



## スピーカの接続

スピーカまたは音声アンプをターミナルに接続すると、アラームの通知、オペレータのアクションのフィードバックの提供、およびビデオ再生中の音声の出力が可能になります。

**ヒント** スピーカは Windows CE オペレーティングシステム (Windows Media Player) では機能しますが、FTView ME Station ソフトウェアではサポートされていません。

### クラス D アンプ用のスピーカの選択

スピーカのインピーダンス ( $\Omega$ )	試験周波数 (KHz)	THD+N (%)	出力 (W)
4	1	1	2.2
4	1	10	2.7
8	1	1	1.3
8	1	10	1.6



**注意:** 音声ポートは非絶縁です。以下のガイドラインに従ってください。

- 接続したスピーカは、ターミナルと同じエンクロージャ内に配置する必要があります。増幅スピーカは、ターミナルと同じ接地システムに接続する必要があります。
- 音声は、危険な領域で使用するために端子台で接続されます。ワイヤは、しっかりと接続および固定してください。

音声ポートは、クラス D アンプ出力です。4 または  $8\Omega$  のスピーカを接続したり、外部増幅スピーカを動作させるための 2 ピン端子台を備えています。

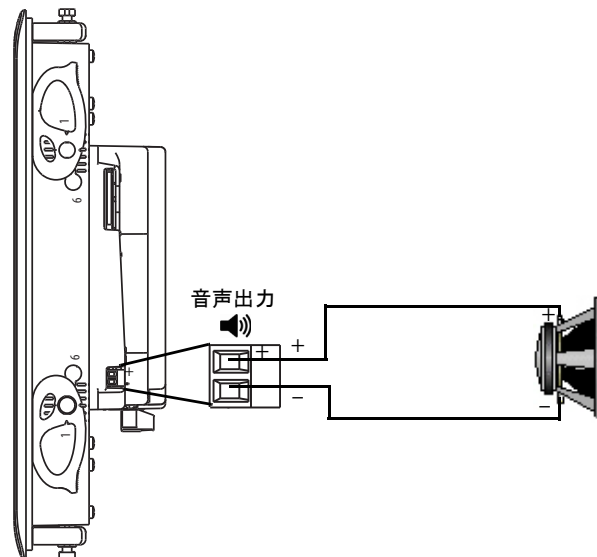


表 34- 音声ポートの配線

ワイヤタイプ	ワイヤのサイズ	剥く長さ	トルク最小~最大
より線またはソリッド Cu 90 °C (194°F)	0.05 ~ 1.3mm <sup>2</sup> 30 ~ 16 AWG	5mm (0.2 インチ)	0.22 ~ 0.25Nm (1.95 ~ 2.2 ポンドインチ)

端子台の配線には 0.4 x 2.5mm のマイナスドライバーを使用してください。ワイヤ長さは 1m (39 インチ) を超えてはなりません。

以下の一般的な手順に従って、スピーカを音声ポートに接続してください。

1. ワイヤストリッパーを使用して、ワイヤの端部分の絶縁体を約 5mm (0.2 インチ) 取り除きます。
2. 新しく露出したワイヤの一方をオペレータデバイスのプラス (+) 端子に接続し、もう一方をマイナス (-) 端子に接続します。
3. そのワイヤの反対側の露出した端部をスピーカまたは増幅スピーカのプラス (+) 端子およびマイナス (-) 端子に接続します。

## バッテリーの交換

製品には、リアルタイムクロックおよびスタティック RAM のバックアップ電源として機能するリチウムバッテリーが内蔵されています。バッテリーは製品をパネルに取付けた状態で交換できます。ロジックモジュールを取り外し、バッテリーにアクセスするには #1 プラスドライバー (#1 Phillips ドライバービット) が必要です。



この製品には、製品のライフサイクル中に交換が必要となる密閉型リチウムバッテリーが含まれています。

本製品に含まれるバッテリーが使用済みになった際は、分別されない一般のごみとは別に回収される必要があります。

バッテリーの回収とリサイクルは、環境の保護に役立つとともに、貴重な資源を再利用することで天然資源の保全に役立ちます。



**注意：**この製品内のリチウムバッテリーまたはリアル・タイム・クロック・モジュールを誤った方法で交換すると、爆発の危険があります。電源を切断し、周辺に危険がないことを確認するまでは、バッテリーまたはリアル・タイム・クロック・モジュールを交換しないでください。

必ず Cat.No. 2711P-RY2032 のバッテリーまたは同等のコイン型バッテリー CR2032 を使用してください。

リチウムバッテリーまたはリアル・タイム・クロック・モジュールを火に投げ入れたり、焼却炉に廃棄してはなりません。使用済みのバッテリーは、地域で定められた規則に従って廃棄してください。

漏れバッテリーの取り扱いと廃棄を含むリチウムバッテリーの取り扱いに関する安全情報は、『Guidelines for Handling Lithium Batteries』(Pub. No. [AG5-4](#)) を参照してください。

Perchlorate material – special handling may apply.

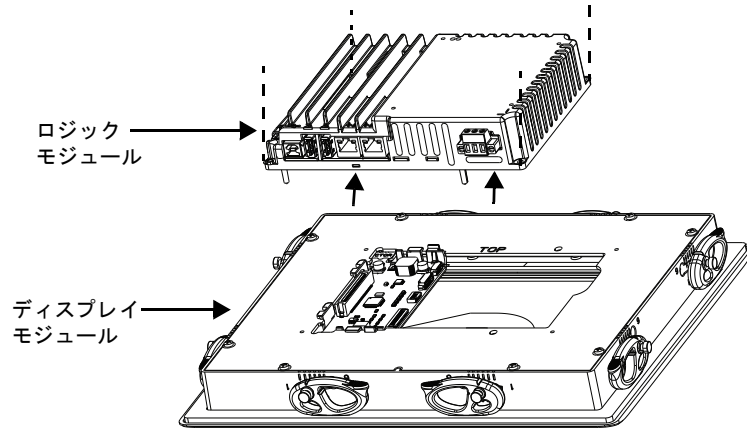
(過塩素酸物質 - 特別な取り扱いを必要とする場合があります。)

[www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate](http://www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate) を参照してください。

この過塩素酸の警告は、米国のカリフォルニア州で販売または流通された主なりチウムマンガン酸化物 (LiMnO<sub>2</sub>) 電池またはバッテリー、およびこれらの電池またはバッテリーを含む製品にのみ適用されます。

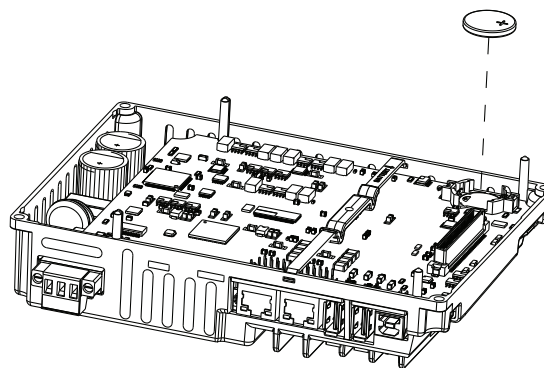
以下の手順に従って、バッテリーを交換してください。

1. ターミナルの電源を切断します。
2. ロジックモジュールをディスプレイの背面に固定しているねじを緩めます。

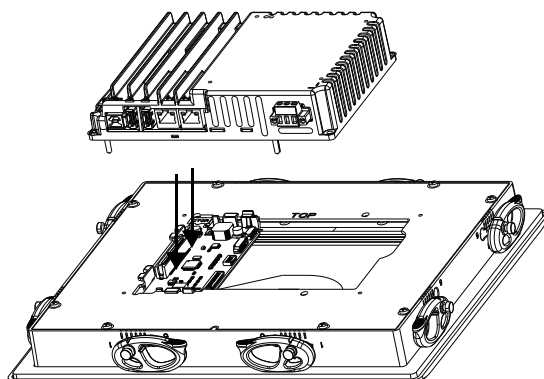


この機器は静電気 (ESD) の影響を受けやすくなっています。  
この機器を取り扱うときは ESD 防止ガイドラインに従ってください。

3. ロジックモジュールをディスプレイモジュールから注意して持ち上げて、裏返してサーキットボードが見えるようにします。
4. サーマットボード上のコイン型バッテリーの位置を確認します。



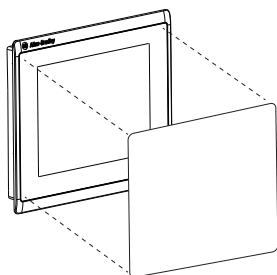
5. バッテリーの側面を持ち上げてバッテリーを外します。
6. プラス (+) 極を上向きにして新しいバッテリーを取付けます。
7. ロジックモジュールの底面にあるコネクタとディスプレイモジュールの背面にあるコネクタの位置を合わせて、ロジックモジュールを元通り取付けます。



8. ロジックモジュールを完全にはまるまで押し込みます。
9. ねじを 0.68 ~ 0.90Nm (6 ~ 8 ポンドインチ) のトルクがかかるように締めます。

## 保護オーバーレイの取付け

オーバーレイは、キズ、ほこり、指紋、および化学物質や研磨材による外的損傷からタッチスクリーンやキーを保護します。使用可能なオーバーレイについては、[16 ページの表 6](#) を参照してください。



保護オーバーレイは、アルミニウム製の外周部分内のターミナルのベゼルの表面全体を保護します。オーバーレイには保護ライナーがあり、タブを引っ張って剥がします。ライナーは、オーバーレイを取付ける準備ができるまで、剥がさないでください。

### 重要

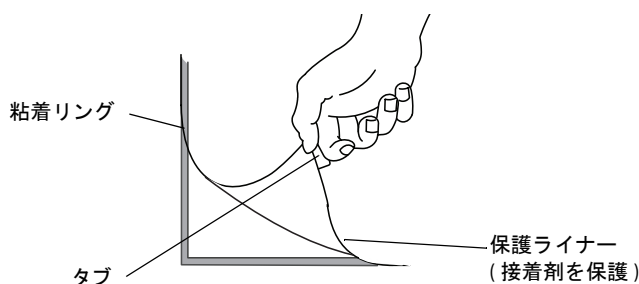
オーバーレイを取付けるときは以下のガイドラインに従って行なってください。

- 手が清潔で、乾燥していることを確認します。
- オーバーレイを取り扱う際は、指紋やほこりが付かないよう端を持ちます。オーバーレイ上にキズやほこりを見つけたら、取付ける前に取り除きます。
- 粘着リングには触れないでください。

オーバーレイを取付ける前に、柔らかい布や刺激の少ないガラス磨きスプレーがあれば、これらを使用してタッチスクリーンの表面とキーをきれいにします。指紋、油脂、またはほこりをすべて取り除きます。取り除けなかったキズはオーバーレイの下に閉じ込められます。また、油脂はオーバーレイの粘着性に影響を与えます。

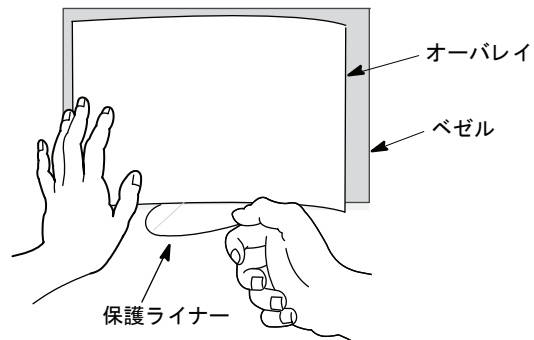
以下の手順に従って、保護オーバーレイを貼り付けてください。

1. 一方の短辺からタブを引っ張り、粘着層からライナーを部分的に剥がします。



保護ライナーの剥がした後部を、次の手順を実行するときに邪魔にならないように保持します。





2. オーバレイをベゼル上の中央に揃えて、ターミナル上に粘着面を注意して配置します。

保護ライナーがオーバーレイの残りの部分を保護している状態で、オーバーレイがきちんと中央に配置されていることを確認します。

3. 柔らかい布を使用してスクリーン上のオーバーレイを押しながら、ライナーの残りの部分をゆっくりと剥がしていきます。

オーバーレイに気泡やゆがみがなく、平面状であることを確認します。

4. 柔らかい布や指でオーバーレイの周縁部を押しつけて密着させ、接着剤内の気泡を取り除きます。

## オーバーレイの清掃

清潔な柔らかい布と、縞が残らないような刺激の少ないガラス磨きスプレーを使用して、オーバーレイを綺麗にします。Windex またはメガネクリーナーがお奨めです。油脂を含むクリーナーは使用しないでください。

## オーバーレイの除去

オーバーレイが損傷したり、交換が必要な場合、取り除きます。コーナー部を持ち上げ、オーバーレイをゆっくりと剥がします。残留する接着剤を除去するには、イソプロピルアルコールを使用してください。オーバーレイは再使用しないでください。

**Notes:**

## ファームウェアのアップデート

項目	参照ページ
ターミナルのファームウェア	127
ファームウェアファイルのダウンロード	128
ファームウェア・アップグレード・ウィザード	129
記憶装置からのターミナルファームウェアのアップグレード	129
ネットワークを介するターミナルファームウェアのアップデート	133

### ターミナルの ファームウェア

ファームウェアコンポーネントは、1つのシステムコード (SC) .img ファイル内に XIP (execute-in-place) リージョンとしてパッケージ化されています。この SC .img ファイルをターミナルの仮想ファイルシステム (VFS) にコピーすると、ターミナルの XIP リージョンが更新され、ターミナルが自動的に再起動されます。以下のファームウェアコンポーネントがアップデート時の対象になります。

- FactoryTalk View Machine Edition Station ソフトウェア
- 通信プロトコルおよびドライバ (Kepware ドライバを含む)
- Windows フォント
- Windows CE コンポーネント
- FactoryTalk コンポーネント
- ユーザによる機能拡張

以下のターミナルのコンポーネントまたは設定は、ファームウェアのアップデートの対象とはなりません。

- Windows レジストリ
- ターミナルにロードされている FactoryTalk View Machine Edition アプリケーション<sup>(1)</sup>を含むファイルシステム
- ネットワークデバイス名、DHCP 対応 / 静的<sup>(2)</sup> IP アドレス、速度、二重設定などのネットワークパラメータ
- ディスプレイ設定
- スクリーンセーバ構成
- タッチスクリーンのキャリブレーション

(1) FactoryTalk View ME アプリケーションは、ファームウェアのアップデート後に見当たらなくなる場合があります。

(2) 静的 IP アドレスは、ファームウェアのアップデート後に DHCP 対応 IP アドレスに変更される場合があります。

## ファームウェア ファイルの ダウンロード

ロックウェル・オートメーションの Web サイトから適切なファームウェア・インストール・パッケージをダウンロードします。パッケージは以下のような名前になります。

PVP7\_< ターミナルファミリー>\_x.xx-yyyymmdd.exe。この場合、

- < ターミナルファミリー> はターミナル名です。
- x.xx は、このパッケージに含まれている FactoryTalk View ME ソフトウェアのバージョンです。
- yyyymmdd は、パッケージの作成日（年、月、日）です。

このインストールパッケージの内容は以下の通りです。

- ファームウェア・アップデート・パッケージ (FUP) には、1 つの自動実行ファイルと新しいファームウェアファイルが含まれています。
- ファームウェア・アップグレード・ウィザード (FUW) バージョン 6.10 以降は、FUP の内容を使用してターミナルのファームウェアをアップデートするために使用されます。

FUP と FUW は、ダウンロード時に、コンピュータにコピーされます。

以下の手順に従って、ファームウェア・インストール・ファイルをコンピュータにダウンロードしてください。

5. <http://www.ab.com> の Quick Links リストから Product Compatibility and Download Center を選択します。
6. Get Downloads タブをクリックします。
7. Find Product Downloads をクリックします。
8. All Families プルダウンメニューから、PanelView Plus 7 Performance ターミナルを選択します。
9. ファームウェアリビジョンを選択して、Find Downloads をクリックします。
10. アップデートファイル (.exe) を FactoryTalk View Machine Edition (ME) ソフトウェアと同じドライブ上のテンポラリフォルダにダウンロード  します。
11. アップデートファイル (.exe) のインストール手順を実行します。
  - FUW は FactoryTalk View ME フォルダにインストールされます。
  - ファームウェア・アップデート・パッケージ・ファイル (.fup) は、インストール手順の間に指定されたフォルダにインストールされます。

**ヒント** FUP 名は ME\_PVP7xX\_6=8.xx-yyyymmdd です。

- yyyymmdd は、ファームウェアパッケージの作成日です。
- 8.xx は、このパッケージに含まれている ME のバージョンです。

これで、FUW の実行により、USB ドライブ /SD カードまたはネットワーク接続を使用してターミナルのファームウェアのアップデートを行なう準備が完了しました。

## ファームウェア・ アップグレード・ ウィザード

ファームウェア・アップグレード・ウィザード (FUW) は、ターミナルのファームウェアをアップデートするために使用します。ファームウェアをアップデートするために以下の2つの方法が示されます。

- FUP ファイルの内容を使用してファームウェア・アップデート・カードを作成し、そのカードをターミナルに装着することで、ファームウェアをアップデートします。

ファームウェア・アップデート・カードは USB ドライブまたは SD カード (Cat. No. 1784-SDx) のいずれかになります。

- ネットワーク直接接続を介してコンピュータに接続されているターミナルでファームウェアをアップデートします。ネットワーク接続を行なうには、RSLinx Enterprise ソフトウェア (バージョン 5.0 以降) が実行されているコンピュータが必要です。RSLinx Enterprise ソフトウェアで、アップデートするターミナルを選択します。

FUW は、FactoryTalk View Studio ソフトウェア内から、またはコンピュータの Programs メニューから実行できます。

- FactoryTalk View Studio ソフトウェアで、Tools メニューから Firmware Upgrade Wizard を選択します。
- Start → Programs → Rockwell Software → FactoryTalk View → Tools → ME Firmware Upgrade Wizard の順に選択します。

## 記憶装置からの ターミナル ファームウェアの アップグレード

記憶装置からファームウェアをアップグレードするプロセスは2つの手順で構成されています。最初に、必要なファームウェアファイルを使ってファームウェア・アップデート・カードを作成し、次に、そのカードをターゲットのターミナルに装着してファームウェアをアップデートします。

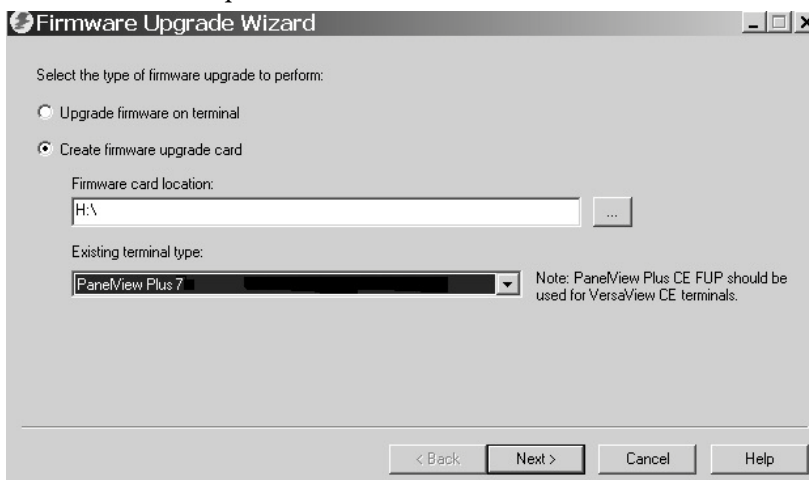
ファームウェア・アップデート・カードは USB ドライブまたは SD カードのいずれかになります。

### ファームウェア・アップデート・カードの作成

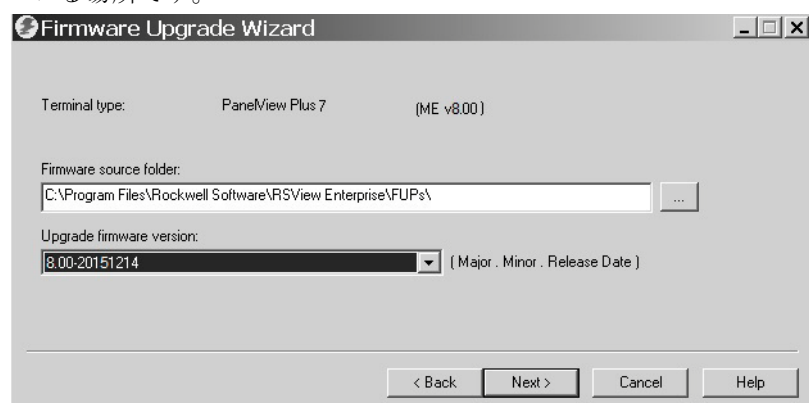
以下の手順に従って、ファームウェアファイルを USB ドライブまたは SD カードにコピーしてください。

1. USB ドライブまたは SD カードをコンピュータ上の適切なスロットに挿入します。
2. ファームウェア・アップグレード・ウィザードを実行します。
  - FactoryTalk View Studio ソフトウェアで、Tools メニューから Firmware Upgrade Wizard を選択します。
  - Start → Programs → Rockwell Software → FactoryTalk View → Tools → ME Firmware Upgrade Wizard の順に選択します。

3. 最初の Firmware Upgrade Wizard ダイアログボックスで、以下の手順を行なってください。
  - a. Create firmware update card をクリックします。



- b. コンピュータに装着されているストレージカードのルートディレクトリ (E:\ など) を参照して、ファームウェアカードの場所を選択します。  
 ファームウェアファイルはこの場所にコピーされます。また、ハードディスク上のフォルダを指定することもできます。
  - c. Existing terminal type プルダウンメニューから PanelView Plus 7 ターミナルを選択します。
  - d. Next をクリックします。
4. ここに示すダイアログボックスで、以下の手順を行なってください。
  - a. コンピュータ上のファームウェア・ソース・ファイルの場所を参照して選択します。このフォルダは、FUP がインストールされている場所です。



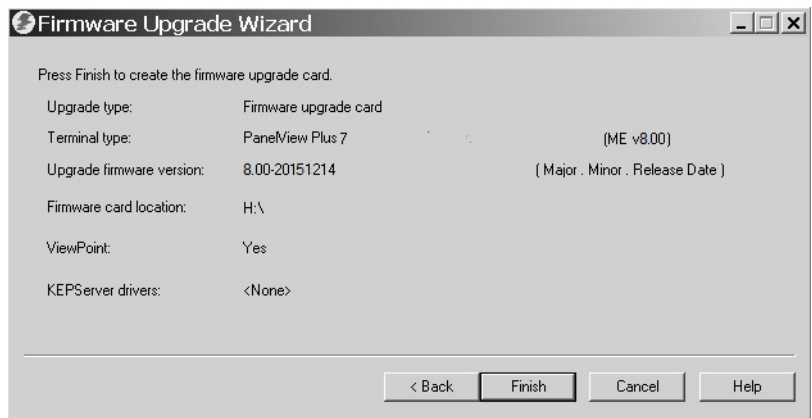
- b. アップデート用のファームウェアリビジョンを選択します。
  - c. Next をクリックします。  
 次のダイアログボックスが表示されるまでに (FUP が検索される間)、数秒かかることがあります。

- ここに示すダイアログボックスでは、オプションとして、ファームウェアに含めるKEPServerドライバを選択し、Nextをクリックします。



Kepware ドライバは、PanelView Plus 7 Performance ターミナルにすでにインストールされています。

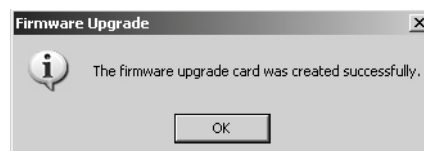
最後のダイアログボックスに、ファームウェア・アップデート・カードを作成するために選択した内容のサマリが表示されます。



- Finish をクリックして、ファームウェアファイルをファームウェア・アップデート・カードにコピーします。

ファイルが USB ドライブまたは SD カードにコピーされている間、プログレスバーが自動的に更新されます。

- ファームウェアアップデートが正常に完了したら、OK をクリックします。



**ヒント** ファームウェアファイルがハードディスクにコピーされた場合は、それらのファイルを USB ドライブまたは SD カードのルートディレクトリにコピーします。

- USB ドライブまたは SD カードをコンピュータから取り外します。
- 次のセクションに進んで、このファームウェア・アップデート・カードを使ってターミナルのファームウェアをアップデートします。

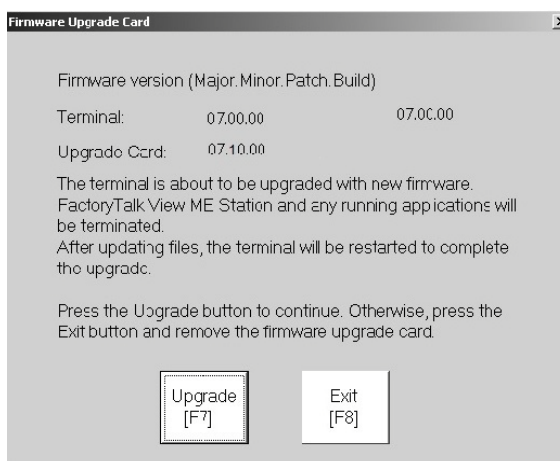
## ファームウェア・アップデート・カードを使用する ターミナルファームウェアのアップデート

以下の手順に従って、ファームウェアファイルを USB ドライブまたは SD カードからターミナルに転送してください。前のセクションで作成したファームウェア・アップデート・ドライブまたはカードを使用します。

- 
- 重要**
- ファームウェアのアップデート処理中に USB ドライブまたは SD カードを取り外したり、誤って接続を切断したりしないでください。これに従わないと、ファームウェアが破損し、ターミナルが不安定な状態になる恐れがあります。
  - ファームウェアのアップデート中はターミナルの電源を切断しないでください。
  - USB ハブは、予期しない動作をすることがあるため、使用しないようにしてください。
- 

1. USB ドライブまたは SD カードをターミナルの適切なスロットに挿入します。

ファームウェアのアップデートが自動的に開始され、ここに示すダイアログボックスが表示されます。



2. Update またはターミナルの F7 キーを押して、ファームウェアのアップデートを開始します。

ターミナルが再起動され、アップデート処理中にプログレスバーが表示されます。

アップデートが完了すると、ターミナルが再起動され、新しいファームウェアが実行されます。

3. USB ドライブまたは SD カードをターミナルから取り外します。

- 
- 重要**
- 電源損失のためファームウェアのアップデートに失敗した場合や、ファームウェア・アップデート・カードを間違っ取り外した場合は、ターミナルを工場出荷時の設定のファームウェアに戻すことができます。工場出荷時の初期設定に戻す方法については、[144 ページの「メンテナンスモードでの操作」](#)を参照してください。
-



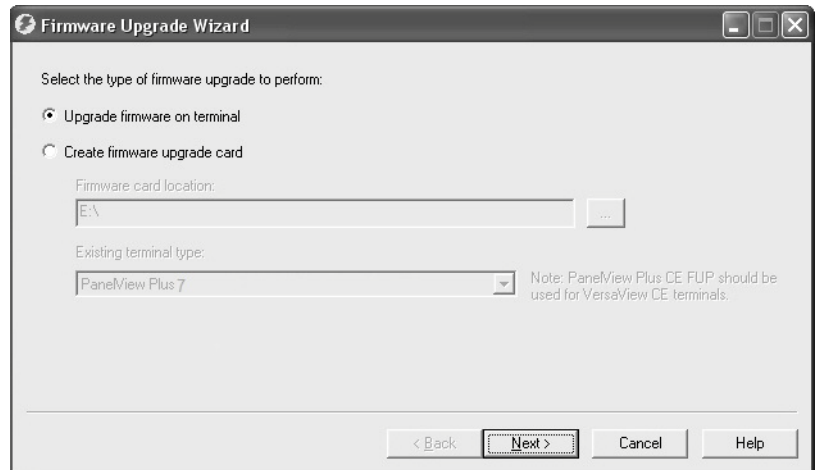
## ネットワークを介するターミナルのファームウェアのアップデート

ネットワーク直接接続を通してコンピュータに接続されているターミナルでファームウェアをアップデートすることができます。ネットワーク接続を行なうには、ファームウェア・アップグレード・ウィザード (FUW) と RSLinx Enterprise ソフトウェア (バージョン 5.0 以降) が実行されているコンピュータが必要です。

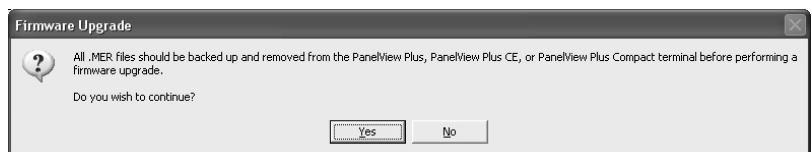
RSLinx Enterprise ソフトウェアは、ネットワーク上のターミナルを選択するために必要とされます。

以下の手順に従って、RSLinx Enterprise ソフトウェアとイーサネット通信を使用してネットワーク上でファームウェアファイルをターミナルにコピーします。

1. ファームウェア・アップグレード・ウィザードを実行します。
  - FactoryTalk View Studio ソフトウェアで、Tools メニューから Firmware Upgrade Wizard を選択します。
  - Start→Programs→Rockwell Software→FactoryTalk View→Tools→ME Firmware Upgrade Wizard の順に選択します。

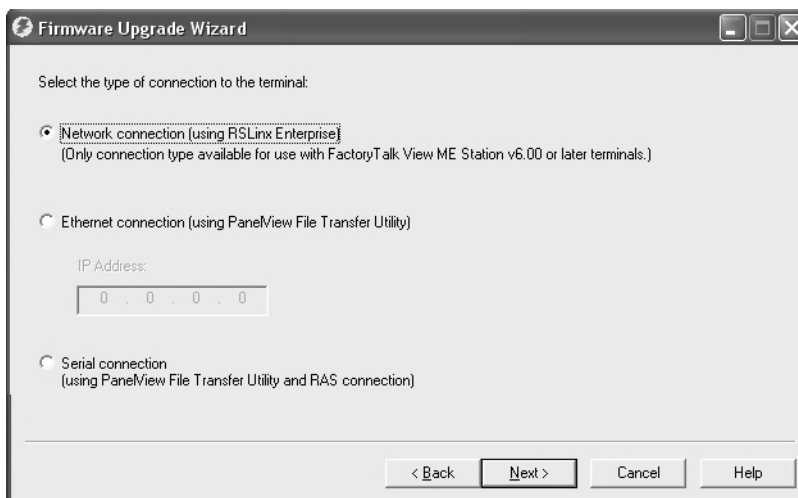


2. Update firmware on terminal を選択して Next をクリックします。
3. Yes をクリックして続行します。



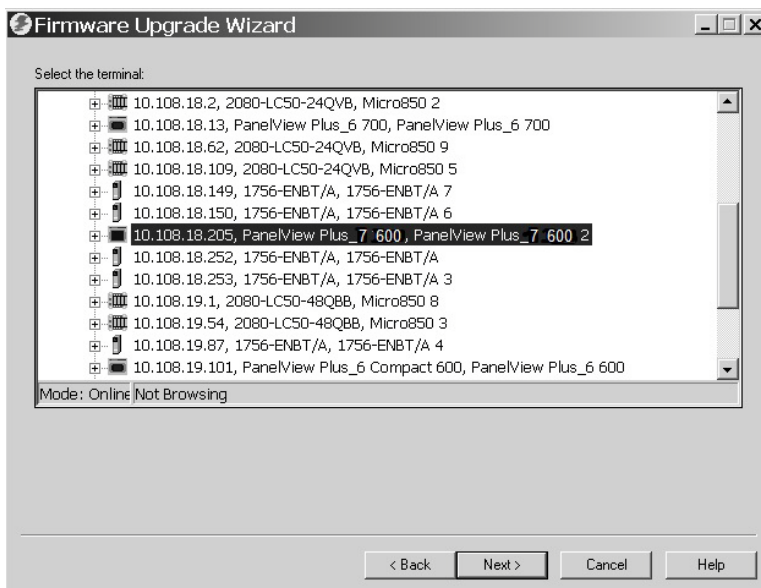
PanelView Plus 7 Performance ターミナルでファイルのバックアップを行なう必要はありません。

4. Network Connection (using RSLinx Enterprise) を選択してNextをクリックします。

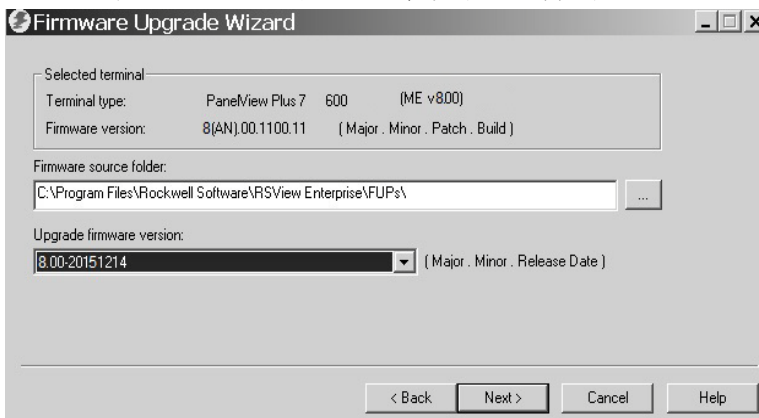


PanelView Plus 7 Performance ターミナルについて有効な選択オプションは、これだけです。

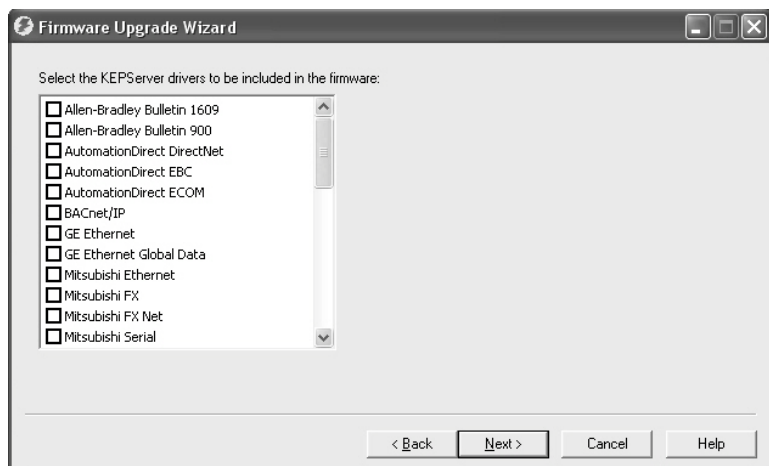
5. ファームウェアアップデートを受信するターミナルに移動して選択し、Next をクリックします。



6. ここに示すダイアログボックスで、以下の手順を行なってください。

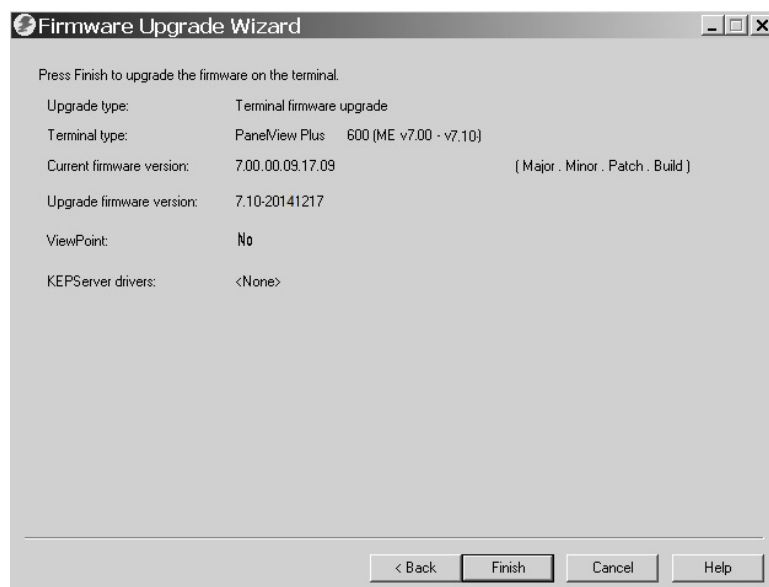


- a. コンピュータ上のファームウェア・ソース・ファイルの場所を参照して選択します。このフォルダは、FUP がインストールされている場所です。  
デフォルトの場所が表示されます。
  - b. アップデート用ファームウェアのバージョンをプルダウンメニューから選択します。
  - c. Next をクリックします。  
次のダイアログボックスが表示されるまでに（FUP が検索される間）、数秒かかることがあります。
7. ここに示すダイアログボックスでは、オプションとして、ファームウェアに含めるKEPServerドライバを選択し、Next をクリックします。



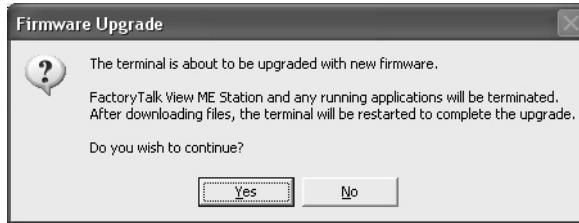
Keeware ドライバは、PanelView Plus 7 Performance ターミナルにすでにインストールされています。

最後のダイアログボックスに、ターミナルのファームウェアをアップグレードするために選択した内容のサマリが表示されます。



8. Finish をクリックして、ターミナルのファームウェアを更新します。

9. Yes をクリックして更新を続行します。



ファームウェアファイルがターミナルにコピーされている間、プログレスバーで進捗状況が示されます。

10. ファームウェアのアップデートが完了したら、OK をクリックします。



ターミナルが再起動され、新しいファームウェアが実行されます。

---

**重要** 電源損失のためファームウェアのアップデートに失敗した場合や、ファームウェア・アップデート・カードを間違っ  
て取り外した場合は、ターミナルを工場出荷時の設定の  
ファームウェアに戻すことができます。工場出荷時の初期  
設定に戻す方法については、[144ページの「メンテナンス  
モードでの操作」](#)を参照してください。

---

## トラブルシューティング

項目	参照ページ
システム情報の表示	137
ステータス インジケータ	138
ネットワークのステータス情報の表示	139
ターミナルが起動しない	140
ターミナルの断続的な再起動	140
タッチスクリーンに関する問題	141
ディスプレイに関する問題	141
イーサネットに関する問題	142
パフォーマンスが遅い	142
化学物質に対する耐性	143
ディスプレイの清掃	143
ターミナルの発送	144
メンテナンスモードでの操作	144

### システム情報の表示

FactoryTalk View ME Station ランタイムまたはコントロールパネルの Hardware Monitor からターミナルのシステム情報を表示します。

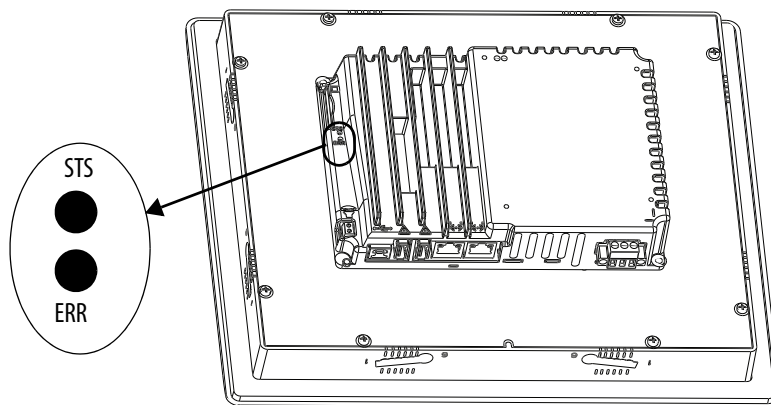
以下の手順に従って、インストールしたコンポーネントのシステム情報を表示してください。

1. FactoryTalk View ME Station ランタイムにアクセスします。
2. Terminal Settings をタップし、System Information → About FactoryTalk View ME Station を選択します。

## ステータス インジケータ

ターミナルの背面にはシステムのステータスを特定できる 2 つのインジケータがあります。

- STS インジケータ（緑色）はターミナルの電源が投入されており、実行中であることを示します。
- ERR インジケータ（赤色）はハードウェアフォルトおよびファームウェアフォルトを示します。



起動時、STS インジケータと ERR インジケータが点滅して消灯します。その後、STS インジケータが点滅して起動中の進捗状況を知らせます。この 2 つのインジケータが消灯したままのときは電源ケーブルを確認してください。

正常に起動すると、STS インジケータが点灯します。

[表 35](#) に、起動時にターミナルを停止した場合のインジケータの状態を示します。

**表 35-ターミナル起動時のフォルトインジケータの状態**

ERR (赤色)	STS (緑色)	説明	処置
点滅	消灯	回復可能なファームウェアエラー	ファームウェアを再ロードする。
		回復可能な構成エラー	ターミナルを工場出荷時の設定イメージに復元する。 <a href="#">84ページの「バックアップイメージの復元」</a> を参照してください。
点灯	点灯	致命的なハードウェアエラー	ターミナルを交換してください。
	点滅	致命的な表示ハードウェアエラー	ターミナルを交換してください。

# ネットワークのステータス情報の表示

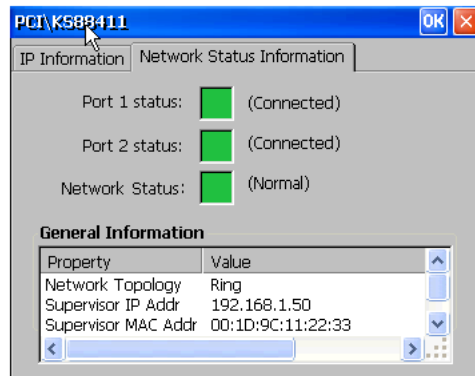


以下の手順に従って、システムトレイからネットワークステータス情報にアクセスしてください。

1. システムトレイのネットワークアイコンをダブルクリックします。



2. Network Status Information タブをクリックしてネットワークのステータスを表示します。



ステータスインジケータ	説明
Port 1 status と Port 2 status	
灰色	無効または不明。
緑色	有効で正常に動作中。
黄色	致命的ではないエラー状態が存在している。
赤色	手動での操作を必要とするエラー状態が存在している。
Network Status	
Normal (緑色)	ネットワークトポロジが Linear/Star(リニア / スター)の場合、ネットワークステータスは常に正常です。
Ring Fault (黄色)	致命的ではないエラー状態が存在している。
Loop Detected (赤色)	この値が発生するのは、Linear/Star(リニア / スター)トポロジのみ。これは、ネットワークで予期しないループが生じたときに発生する。ターミナルはこの状態を報告できないことがある(ターミナルは自身が送信したフレームを検出できないことがある)。
Partial Fault (黄色)	致命的ではないエラー状態が存在している。
Rapid Fault (赤色)	手動での操作を必要とするエラー状態が存在している。
General Information	
Network Topology	Linear/Star Ring
Supervisor IP Addr	xxx.xxx.xxx.xxx 形式 (Linear/Star トポロジでは適用されない)
Supervisor MAC Addr	xx:xx:xx:xx:xx:xx 形式 (Linear/Star トポロジでは適用されない)
Supervisor VLAN ID	8ビットの数値 (Linear/Star トポロジでは適用されない)

## ターミナルが 起動しない

ターミナルが正常に起動しない場合は、考えられる原因についての表を確認してください。

表 36-ターミナルが正常に起動しない

確認事項	操作	参照先
電力不足	デバイスが適切に給電されていることを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>DC電源の要件を確認する。</li> <li>AC電源の要件を確認する。</li> </ul>	<a href="#">30ページ</a> <a href="#">31ページ</a>
不適切な電源の配線	電源の配線が正しいか確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>配線の仕様を確認する。</li> <li>DC電源の配線を確認する。</li> <li>AC電源の配線を確認する。</li> </ul>	<a href="#">29ページ</a> <a href="#">30ページ</a> <a href="#">31ページ</a>
ステータスインジケータ	起動時にステータスインジケータを確認する。	<a href="#">138ページ</a>
進捗状況インジケータが停止している。	ターミナルが進捗状況インジケータで停止しており、アプリケーションまたは構成の画面がロードされない場合は、ファームウェアを再ロードするか工場出荷時の設定に復元する。	<a href="#">84ページ</a>
ディスプレイの接触物	ディスプレイが何かに押されていないことと、起動中にディスプレイに触れていないことを確認する。	適用しない

## ターミナルの 断続的な再起動

ターミナルが断続的に再起動する場合は、考えられる原因についての表を確認してください。

表 37-ターミナルの断続的な再起動

確認事項	操作	参照先
不適切な電源の配線	電源の配線が正しいか確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>配線の仕様を確認する。</li> <li>DC電源の配線を確認する。</li> <li>AC電源の配線を確認する。</li> </ul>	<a href="#">29ページ</a> <a href="#">30ページ</a> <a href="#">31ページ</a>
温度超過状態	プロセッサが正常なターミナル動作温度を超えていないことを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>プロセッサの温度を確認する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>システム・イベント・ログで温度超過状態について確認する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>パネルでターミナルの周囲に十分な間隔があることを確認する。</li> <li>動作温度が適切であるか確認する。</li> </ul>	<a href="#">68ページ</a> または <a href="#">89ページ</a> <a href="#">67ページ</a> または <a href="#">88ページ</a> <a href="#">21ページ</a>  <a href="#">89ページ</a>



## タッチスクリーンに関する問題

タッチスクリーンが指またはスタイラスによるタッチに対して正常に反応しない場合は、以下の表を確認します。

表 38- タッチスクリーンが反応しない

確認事項	操作	参照先
不適切なキャリブレーション	タッチポイントからずれているアクティベーションポイントを確認する。 タッチスクリーンをキャリブレーションする。	<a href="#">61ページ</a> または <a href="#">111ページ</a>
機能しないタッチスクリーン	亀裂、過度の摩耗など、タッチスクリーンの破損を確認する。破損が生じている場合は、ターミナルを交換してください。	適用しない
複数の入力素子へのタッチ	アプリケーション画面には、Machine Edition アプリケーションで構成されているグラフィック入力素子がある。これらの素子にタッチすると、予測可能な形で動作が実行される。例えば、タッチするとアプリケーションの特定の画面に移動したり、モータを起動する入力素子がある。 同時に複数の動作を実行することはできない。そのようにしようとすると、意図しない動作が実行される場合がある。 • 同時に複数の入力素子をタッチしないでください。 • ディスプレイの上で手や複数の指を休めないようにしてください。	適用しない

## ディスプレイに関する問題

ディスプレイが読取れないか、ディスプレイが突然真っ暗になる。



**注意：**ディスプレイが暗くなったりバックライトが正常に機能しなかったりすると、画面が読取りにくく、そのタッチスクリーンを使用することで危険な結果が生じる可能性があります。このような状況の場合はタッチスクリーンを使用しないでください。システムを設計する際には、タッチスクリーンが機能を失ってシステム制御を保持または変更することができなくなる可能性を考慮に入れる必要があります。タッチスクリーンだけで重要な機能を制御しないようにしてください。タッチスクリーンは非常停止ボタンの代用にするためのものではありません。

システムを設計する際は、該当するすべての規約と適切なエンジニアリング方式に従う必要があります。販売代理店は以下の項目を考慮してください。

- タッチスクリーンが読取り不能になっている可能性
- タッチスクリーンが動作しなくなっている可能性
- 予期しない通信エラーまたは遅延
- システム制御におけるオペレータのエラー
- 緊急停止機能とその他の安全操作法の適切な使用

ユーザは異常時の安全状態を実現するための方法を提供し、重要な機能に対してシステムに十分な冗長性があることを確認してください。

これらの指示に従わないと、死亡者や深刻な負傷者が出たり、装置が損傷したりする原因になる可能性があります。

表 39- ディスプレイが暗くなる

確認事項	参照先
ディスプレイの輝度設定が低い	<a href="#">59 ページ</a> または <a href="#">86 ページ</a>
スクリーンセーバの輝度レベルが低い	<a href="#">59 ページ</a> または <a href="#">86 ページ</a>
温度が動作範囲外	<a href="#">68 ページ</a> または <a href="#">89 ページ</a>

**ヒント** バックライトの寿命は、ディスプレイの輝度を低くする、スクリーンセーバを低い輝度で使用する、または低温度で動作させることによって延長します。

## イーサネットに関する問題

[表 40](#) に、イーサネットの異常を特定するためのヒントを記載します。

表 40- イーサネット接続に関する問題

確認する問題	操作
無効なイーサネット接続状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>リンクが確立されていると緑色のインジケータが点灯する。</li> <li>アクティビティが検出されると黄色のインジケータが点滅する。</li> <li>ネットワーク接続を確認する。</li> </ul>
不十分なケーブル接続	以下の項目についてイーサネットケーブルを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルがしっかりと接続されていることを確認する。</li> <li>ケーブルの折れ曲がりを確認する。</li> <li>イーサネットスイッチ接続を確認する。</li> <li>アップリンクポートを確認する。</li> </ul>
ターミナルの IP アドレスが誤っている。	<a href="#">52 ページの「ターミナルのイーサネットアドレスの設定」</a> を参照してください。 DHCP が有効な場合、ターミナルは起動後に有効な IP アドレスをネットワークから自動的に取得する。ネットワークから IP アドレスを取得できない場合は、TCP/IP プロトコルが自動的に 169.254.xxx.xxx を割り付ける。一般に、169 で始まる IP アドレスはネットワーク接続をサポートしない。
IP アドレスの競合	DHCP が有効ではなく静的 IP アドレスが指定されている場合は、IP アドレスがネットワーク上の別のデバイスのアドレスと競合していないことを確認する。

## パフォーマンスが遅い

画面の変化、テキスト表示の変化など、アプリケーションの反応に時間がかかる場合は以下の問題を確認します。

- アプリケーション画面の要素が多すぎる
- コントローラにフィードバックがプログラムされている場合、これが遅延の原因である可能性があります。
- ネットワークパフォーマンスが低速である場合やノイズが発生している場合は再試行が行なわれる可能性があります。

## 化学物質に対する耐性

ベゼル、タッチ・スクリーン・オーバーレイ、パネルのシーリングガスケットなどを含むターミナルの外表面は化学物質に対する耐性試験が行なわれています。一部の化学物質によって変色が生じる可能性があります。ターミナルの動作には影響を及ぼしません。

**ヒント** 製品の化学物質への耐性については、<http://www.rockwellautomation.com/knowledgebase> にアクセスして、ナレッジベースで「Chemical Resistance PanelView Plus」というキーワードを入力して検索してください。

**重要** 直射日光の当たるところでターミナルを操作しないでください。紫外線に直接さらされるとタッチスクリーンが変色する可能性があります。

## ディスプレイの清掃

保護オーバーレイを使用するとターミナルの寿命を延ばせることがあります。また、ディスプレイの清掃が簡単になります。[16ページの表6](#)に、オーバーレイのカタログ番号を記載しています。



**注意:** 研磨性の洗剤や溶剤はディスプレイを損傷させることがあるため使用しないでください。ごしごし磨いたり、ブラシを使用したりしないでください。

ターミナルの画面に洗剤を直接塗らないでください。洗剤がガスケットに垂れたり染み込んだりすることがあります。洗剤はきれいなスポンジまたは柔らかい布に塗って、画面を優しく拭いてほこりや汚れを取り除いてください。

以下の手順に従って、ディスプレイの画面を清掃してください。

1. 電源コードを抜いてターミナルの電源を切断します。
2. 清潔なスポンジまたは柔らかい布と、低刺激性の石けんまたは洗剤を使用して、傷が付かないようにディスプレイを清掃します。
3. セーム皮または湿ったセルローススポンジでディスプレイを拭いて、水濡れを防ぎます。

## 塗料およびグリースの拭き取り

以下の手順に従って、NEMA、UL タイプ、または IP 定格エンクロージャに適切に取付けられているベゼルの塗料やグリースを拭き取ってください。

1. イソプロピルアルコール（70% の濃度）で軽く拭きます。
2. 拭き取れなかったところには低刺激性の石けんまたは洗剤を使用します。
3. きれいな水ですすぎます。

## 機器の水洗い



**注意:** ターミナルの前面ベゼルを清掃する際は高圧洗浄機を使用しないでください。高圧洗浄機を使用するとターミナルが損傷する可能性があります。

通気式エンクロージャを清掃する際は高圧洗浄機を使用しないでください。エンクロージャが浸水し、ターミナルとその他の機器が損傷する可能性があります。

ターミナルの電源が入っていると機器を水洗いしている最中に画面のオブジェクトがアクティブな状態になる可能性があることに注意してください。

## ターミナルの発送

ターミナルを取付けた状態でエンクロージャを発送する場合は、ターミナルをしっかりと固定し、衝撃、鋭器、または研削材によって損傷しないように保護してください。



**注意:** 当社では、パネルまたはエンクロージャに取付けられた状態で発送または輸送される製品の損傷に対して責任を負いません。

## メンテナンスモードでの操作

診断および修理の目的でシステムをメンテナンスモードで起動するには、起動時にディスプレイの左下隅に表示される白色のボックスを押したままにします。

**ヒント** また、USB キーボードを接続して F1 キーを押したままにしてもメンテナンスモードのメニューにアクセスできます。

ターミナルの起動時に ME アプリケーションが実行するように設定している場合は、起動時に白色のボックスを押したままにするとターミナルがセーフモードになります。

表 41- メンテナンスモードでの操作

操作	説明
None	メンテナンスモードを終了し、通常の再起動を継続する。
Safe mode (セーフモード)	システムをセーフ動作モードで起動する。これは機能を減らした診断モードで、ソフトウェアの障害を回復させることができる。セーフモードでは、エラーの原因となった障害のあるアプリケーションや変更内容を修復できる。 <b>重要:</b> FactoryTalk View ME Station ソフトウェアは、起動時に HMI .mer アプリケーションがロードされている場合でも当該アプリケーションを実行せず、かわりに構成モードに入る。HMI アプリケーションは、次にシステムがリセットされたときに実行される。
Clear all data (全データの消去)	ターミナル上でユーザがアクセス可能なストレージおよび構成データを元の初期設定状態に復元する。現在のファームウェアリビジョンは保持される。 <b>重要:</b> すべての記憶媒体は、ファームウェアを除いて購入当時の元の状態に戻る。最新の FactoryTalk View ME イメージが保持される。ユーザによるデータの変更または追加内容はすべて失われる。
Factory default (工場出荷時の設定)	ファームウェア、レジストリ、ファイルシステム、および構成データを含む、ターミナル上のすべての記憶媒体を最初の工場出荷時の設定状態に復元する。通常、このオプションは、ファームウェアのアップデートの失敗からの復元に使用される。 <b>重要:</b> すべての記憶媒体は、購入当時の元の状態に戻る。ユーザがインストールしたファームウェアアップデートもすべて削除される。 復元方法については、 <a href="#">84 ページの「バックアップイメージの復元」</a> を参照してください。

メンテナンス操作を実行し、診断して問題を解決してください。

- **セーフモード** – アプリケーションが自動起動するのを阻止します。
- **全データの消去** – ユーザがインストールしたアプリケーション、ユーザによる構成変更、およびユーザがアクセス可能なデータを削除します。
- **工場出荷時設定** – ターミナルを初期状態に復元します。

**Notes:**

## ターミナルの常駐フォント

### TrueType フォント

以下の表に、ターミナルに事前にインストールされている TrueType フォントのリストを示します。デフォルトのシステムフォントは Tahoma です。

**ヒント** Arial Unicode MS フォントはおよそ 50,000 文字をカバーし、アラビア語、ヘブライ語、ベトナム語、タイ語、ヒンディー語（デバナーガリ文字）、他のインド系言語など、多くの非ラテン系言語およびスクリプトに対するデフォルトの言語サポートを提供しています。このフォントは、中国語、日本語、および韓国語 (CJK) もサポートしています。

フォントファイルをターミナルデスクトップ上の \Windows\Fonts フォルダにコピーすることで、システムに追加のフォントをロードできます。このフォルダにアクセスするには、ターミナルデスクトップ上の My Device アイコンを開くか、Start → Programs → Windows Explorer の順に選択します。

**重要** OpenType フォント (.otf) には多くの記号や文字が追加されていることがあるため、ファイルのサイズが大きくなる場合があります。OpenType フォントをインストールすると、アプリケーションに使用できるメモリ量が減ることがあります。そのため、TrueType フォントのみをインストールすることをお奨めします。OpenType フォントが必要な場合は、必要なフォントファミリーのみインストールしてください。

TrueType フォント (.ttf、.ttc)

フォントタイプ	フォント名	ファイル名
欧文フォント	Arial Unicode MS バージョン 1.01	arialuni.ttf
	Arial	
	Arial (サブセット 1_30)	arial_1_30.ttf
	Arial Black	arialk.ttf
	Arial Bold	arialbd.ttf
	Arial Bold Italic	arialbi.ttf
	Arial Italic	ariali.ttf
	Comic Sans MS	
	Comic Sans MS	comic.ttf
	Comic Sans MS Bold	comicbd.ttf
	Courier New	
	Courier New (サブセット 1_30)	cour_1_30.ttf
	Courier New Bold	courbd.ttf
	Courier New Bold Italic	courbi.ttf
Courier New Italic	couri.ttf	

TrueType フォント (.ttf、.ttc) ( 続き )

フォントタイプ	フォント名	ファイル名
欧文フォント	Georgia	
	Georgia	georgia.ttf
	Georgia Bold	georgiab.ttf
	Georgia Bold Italic	georgiaz.ttf
	Georgia Italic	georgiai.ttf
	Impact	impact.ttf
	Kino	kino.ttf
	Microsoft Logo	mslogo.ttf
	Symbol	symbol.ttf
	Tahoma	
	Tahoma (サブセット 1_07)	tahoma_1_07.ttf
	Tahoma Bold	tahomabd.ttf
	Times New Roman	
	Times New Roman (サブセット 1_30)	times_1_30.ttf
	Times New Roman Bold	timesbd.ttf
	Times New Roman Bold Italic	timesbi.ttf
	Times New Roman Italic	timesi.ttf
	Trebuchet MS	
	Trebuchet MS	trebuc.ttf
	Trebuchet MS Bold	trebucbd.ttf
	Trebuchet MS Bold Italic	trebucbi.ttf
	Trebuchet MS Italic	trebucit.ttf
	Verdana	
	Verdana	verdana.ttf
	Verdana Bold	verdanab.ttf
	Verdana Bold Italic	verdanaz.ttf
	Verdana Italic	verdanai.ttf
記号	Webdings	webdings.ttf
	Wingding	wingding.ttf
PanelView フォント	PV 12 x 24、PV 12 x 8	PV12x24.ttf、PV12x8.ttf
	PV 16 x 24	PV16x24.ttf
	PV 18 x 16、PV 18 x 8	PV18x16.ttf、PV18x8.ttf
	PV 24 x 32	PV24x32.ttf
	PV 32 x 40、PV 32 x 64	PV32x40.ttf、PV32x64.ttf
	PV 4 x 6	PV4x6.ttf
	PV 6 x 16、PV 6 x 24、PV 6 x 8、PV 6 x 9	PV6x16.ttf、PV6x24.ttf、PV6x8.ttf、PV6x9.ttf
	PV 8 x 16、PV 8 x 20、PV 8 x 24	PV8x16.ttf、PV8x20.ttf、PV8x24.ttf
	PV Double High	PVdouble_high.ttf
	PV Double Wide	PVdouble_wide.ttf
	PV Extra Large	PVextra_large.ttf
	PV Large	PVlarge.ttf
	PV Small	PVsmall.ttf
	PV Tiny	PVtiny.ttf
PV Very Tiny	PVvery_tiny.ttf	
東アジアのフォント	Gulim バージョン 2.21 — 韓国語	gulim.ttc
	MS Gothic バージョン 2.30 — 日本語	gulim.ttc



## 記号

.mer アプリケーション 39, 40, 43, 50

## A

ActiveX コントロール 13, 79

## D

DC 電源バス 30

DHCP[DHCP] 52

## E

ESD

防止 115

## F

FactoryTalk View ME

診断 66

ファイルの整合性チェック 66

Foxitreader 113

FTP security オプション 103

FTP サーバ

構成 102

セキュリティ 103

パラメータ 103

FUP 128

FUW 128

## I

IP アドレス

割付け 52

## K

KEPServer ドライバ 107, 131, 135

## M

ME 7

## P

PDF リーダ 112

Product Compatibility and Download Center 8

## R

RJ45 コネクタ 32

## S

SD カード

スロット 120

取付け 120

Shell オプション 109

## U

USB

ケーブル 116

ハブ 116

プリンタ 117

ホストポート 19, 116

USB シリアル・ポート・アダプタ 16

USB ポート

取付け 19

## V

VNC

構成 94

コネクションパスワード 95

サーバパラメータ 95

制御のパスワード 96

表示のみのパスワード 96

## W

Web サーバパラメータ 102

## あ

アースグラウンド

AC 32

DC 31

アクセサリ 16

アプリケーション

整合性のチェック 66

復元 82

バックアップ 82

復元 82

アラーム 68

安全上の注意

アースグラウンド 30, 31

感電 29, 31, 115

電氣的なアーク 29, 33

配線および安全に関する

ガイドライン 18

爆発の危険 29, 33

非常停止 17

## い

イーサネット

コネクタのピン配列 33

ステータスインジケータ 33

ドライバ 51

二重設定 53

リンク速度 51

イーサネットケーブル 16

イベントログ

イベント 88

エラー 88

警告 88

印刷設定 63

インジケータ

ERR 138

STS 138

## う

ウォッチドッグエラー 110

## え

エラーインジケータ 138

## お

オープンシステム 14

オープンシステムとクローズドシステム 14

## 温度

温度超過メッセージ 69

規格 T4 19

現在温度の表示 89

表示 68

## か

仮想キーボード 12

## カタログ番号

PanelView Plus 7 Performance

ターミナル 15

SD カード 16

アクセサリ 16

交換用バッテリー 16

電源 16

電源端子台 16

取付け具 16

保護オーバレイ 16

カットアウト寸法 22

## 画面

回転 87

ガルバニ絶縁 116

環境およびエンクロージャ情報 18

## き

技術サポート 70

起動オプション 14

キャリブレーション

タッチスクリーン 61, 111

## く

クライアント接続の認証 92

クローズドシステム 14, 109

## け

## ケーブル

イーサネットポート間のケーブル  
長 33

インダクタンス 20

静電容量 20

## 言語

設定 73

## こ

構成モード 14

## 構成モードへのアクセス

Goto Configuration Mode ボタン 39

HMI アプリケーションから 39

Windows デスクトップから 39

## コマンドプロンプト

Foxitreader 113

構文 113

パラメータ 113

## コントロールパネル

タッチスクリーンの  
キャリブレーション 111

## さ

## サーバ

ftp 102

アドレス 54

ファイル 106

有効 / 無効 93

## し

時刻 72

## システム

情報 137

ステータス 138

システム・イベント・ログ 67

## 資料

## 診断

構成 65

高度な 110

## す

スクリーンセーバ 59

## スタートアップ

オプション 14

構成 14

シーケンス 36

ステータスインジケータ 138

## せ

セーフモード 109, 144

静電気 115

静電気対策が取られている

ワークステーション 115

## 設定

カーソル 87

外観 86

言語 73

時刻 72

スクリーンセーバ 86

タイムゾーン 71

背景画像 85

バックライトの輝度 86

全データの消去 144

**そ**

- ソフト・キーボード・コントロール 42
- ソフトウェアバージョン
  - FactoryTalk View Machine Edition (ME) Station 13
  - FactoryTalk View Studio for Machine Edition 13
  - FactoryTalk ViewPoint 13

**た**

- ターミナルの取付け
  - 最小間隔 21
  - 周囲温度 19
  - 準備 22
  - 場所に関する注意事項 19
  - パネルに取付け 22
- ターミナルのリセット 37
- 大気発火温度 19
- タイムゾーン 71
- タッチスクリーン
  - 感度設定 62, 111
  - キャリブレーション 61, 111
  - ジェスチャ
    - タップ 12
    - ダブルタップ 12
    - ドラッグ 12
    - 長押し 12
- タッチスクリーンのキャリブレーション 111

**て**

- ディスプレイ設定コントロールパネル 85
- デスクトップ
  - 回転 87
- デスクトップアクセス
  - オープンとクローズド 14
  - 工場出荷時の設定状態 14
  - 制限 45, 46
  - パスワード設定 46
  - パスワードリセット 47
  - 無効 45
  - 有効 44
- デバイス名
  - ターミナル 56

**電源**

- AC
  - 接続 31
  - 端子台 29
  - 定格 10, 31
- DC
  - 接続 30
  - 端子台 29
  - 定格 10, 30
- PELV 30
- SELV 30
- 供給 16

**と**

- トラブルシューティング 137

**に**

- 入力パネル 80

**ね**

- ネットワーク
  - FTP サーバ 102
  - VNC サーバ 94
  - トポロジ 15
  - ファイルサーバ 106
- ネットワークトポロジ
  - スター 36
  - デバイス・レベル・リング 34
  - リニア 35

**は**

- ハードウェア仕様
  - SD カードスロット 10
  - USB デバイスポート 10
  - USB ホストポート 10
  - 音声出力 10
  - ステータスインジケータ 10
  - 取付けスロット 10
  - イーサネットポート 10
- 配線および安全に関するガイドライン 18
- 爆発の危険 29, 119, 122
  - 安全上の注意 19
- バックアップイメージ 84
- バックアップ電源 122
- バッテリー
  - 警告 108
  - 交換 123
  - 状態 89
  - 電圧 68
  - 電圧の表示 89
  - バックアップ電源 122
  - リチウム 122

**ひ**

- 日付
  - 設定
    - 日付 72
- ヒューズ定格 18

**ふ**

- ブートオプション 109
- ファームウェア
  - アップグレードの失敗 136
- ファームウェアのアップグレード
  - 記憶装置の使用 129
  - ネットワークを介する 133
  - ファームウェア・アップグレード・ウィザード 129

ファイルサーバ  
構成 106  
フォルトインジケータ  
ハードウェア 138  
ファームウェア 138  
フォント 147  
プリンタ 117  
ブレーカ定格 18  
分岐回路 18

## ほ

保護オーバーレイ  
カタログ番号 16  
除去 125  
清掃 125  
取付け 124  
ボタンのスタイル 109

## め

メンテナンスモード 144

## ゆ

ユーザアカウント 92

## ら

ラダーロジック 7

## り

リチウムバッテリー  
取扱い 108  
リリースノート 8

## ろ

ログ  
アプリケーションファイル 66  
ランタイムファイル 66



## 当社のサポートサービス

ロックウェル・オートメーションでは、Web に製品の使用を支援するための技術情報を提供しています。<http://www.rockwellautomation.com/support> には、テクニカルノート、アプリケーションノート、サンプルコード、ソフトウェア・サービス・パックへのリンクがあります。また、当社のサポートセンター (<https://rockwellautomation.custhelp.com/>) にアクセスして、ソフトウェアアップデート、サポート用のチャットやフォーラム、技術的な情報、FAQ などが利用でき、製品のアップデート通知を申し込むこともできます。

さらに、設置、構成、およびトラブルシューティングのために複数のサポートプログラムもご用意しています。詳細は、代理店またはロックウェル・オートメーションの支店に問い合わせるか、または <http://www.rockwellautomation.com/services/online-phone> をご覧ください。

## 設置支援

設置から 24 時間以内に問題が起こったときは、まず本書に記載された情報を確認してください。製品の起動と動作の初期支援のための特別なカスタマサポート番号にご連絡いただくこともできます。

米国またはカナダ	1.440.646.3434
米国またはカナダ以外	弊社の Web サイト : <a href="http://www.rockwellautomation.com/rockwellautomation/support/overview.page">http://www.rockwellautomation.com/rockwellautomation/support/overview.page</a> の <a href="#">Worldwide Locator</a> にアクセスするか、お近くのロックウェル・オートメーションの代理店までお問い合わせください。

## 製品の返品

ロックウェル・オートメーションでは、製造工場からの出荷時に製品が完全に動作することをテストしていますが、製品が機能せず返品する必要があるときには、以下のように手続きを行なってください。

米国	代理店に連絡してください。返品手続きを行なうには、代理店にカスタマサポートのケース番号を知らせる必要があります (ケース番号は上記の電話番号にお問い合わせください)。
米国以外	返品手続きについては、お近くのロックウェル・オートメーションの支店にお問い合わせください。

## マニュアルに関するご意見やご要望

お客様のコメントはより良いマニュアル作りに役立ちます。マニュアルの改善についてご提案があれば、フォーム (Pub. No. [RA-DU002](#) (<http://www.rockwellautomation.com/literature/> で入手可能)) にご意見を記入してお送りください。

ロックウェル・オートメーションは、以下の Web サイトで最新の製品環境情報を公開しています。  
<http://www.rockwellautomation.com/rockwellautomation/about-us/sustainability-ethics/product-environmental-compliance.page>

[www.rockwellautomation.com](http://www.rockwellautomation.com)

### Power, Control and Information Solutions Headquarters

Americas: Rockwell Automation, 1201 South Second Street, Milwaukee, WI 53204-2496 USA, Tel: (1) 414.382.2000, Fax: (1) 414.382.4444  
Europe/Middle East/Africa: Rockwell Automation NV, Pegasus Park, De Kleetlaan 12a, 1831 Diegem, Belgium, Tel: (32) 2 663 0600, Fax: (32) 2 663 0640  
Asia Pacific: Rockwell Automation, Level 14, Core F, Cyberport 3, 100 Cyberport Road, Hong Kong, Tel: (852) 2887 4788, Fax: (852) 2508 1846

ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社  
本社営業部 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-17 Tel (03) 3206-2786 Fax (03) 3206-2796  
関西支店 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-14 Tel (06) 6397-1020 Fax (06) 6397-1090  
中部支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1-6-5 Tel (052) 222-7060 Fax (052) 222-7065